
SEWB+/REPORT MANAGER
ドキュメント作成支援
使用の手引

手引書

3020-3-720-80

HITACHI

対象製品

P-2651-FB14 S E W B + / R E P O R T M A N A G E R 02-13

(適用 OS : Windows 95, Windows 98, Windows Me, Windows NT 4.0, Windows 2000,
Windows XP, Windows Server 2003)

輸出時の注意

本製品を輸出される場合には、外国為替及び外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制を御確認の上、必要な手続きをお取りください。

なお、御不明な場合は、弊社担当営業にお問い合わせください。

商標類

Microsoft は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

Microsoft Excel は、米国 Microsoft Corp.の商品名称です。

Windows は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

Windows NT は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の登録商標です。

Windows Server は、米国およびその他の国における米国 Microsoft Corp.の商標です。

発行

平成 8 年 7 月 (第 1 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 (廃版)
平成 9 年 2 月 (第 2 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 1 0 (廃版)
平成 9 年 5 月 (第 3 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 2 0 (廃版)
平成 9 年 1 1 月 (第 4 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 3 0 (廃版)
平成 1 0 年 4 月 (第 5 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 4 0 (廃版)
平成 1 0 年 7 月 (第 6 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 5 0 (廃版)
平成 1 1 年 2 月 (第 7 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 6 0 (廃版)
平成 1 1 年 1 1 月 (第 8 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 7 0 (廃版)
平成 1 7 年 9 月 (第 9 版)	3 0 2 0 - 3 - 7 2 0 - 8 0

著作権

All Rights Reserved, Copyright (C) 1996,2005, Hitachi, Ltd.

変更内容

変更内容 (3020-3-720-80) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-13

追加・変更内容	変更箇所
レコード定義仕様書印刷機能に関する記述を追加した。	1.1, 1.2.3, 4, 付録 A.3, 付録 B(1), 付録 D
データ定義仕様書のレコード構造の記述を変更した。	1.2.2, 3.2, 3.3, 付録 A.2
CSVファイル名称基準を変更した。	付録 B(2)

変更内容 (3020-3-720-80) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-12

追加・変更内容	変更箇所
インパクトレポートの階層表示欄の記述を変更した。	1.2.6, 7.2, 付録 A.11
付録 E としてエラーログファイルを追加した。	付録 E

変更内容 (3020-3-720-80) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-11

追加・変更内容	変更箇所
プログラム処理概要図のマップ定義情報印刷機能に関する記述を追加した。	2.2.1(1)(a)

変更内容 (3020-3-720-80) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-08

追加・変更内容	変更箇所
インターフェース定義のIDL定義情報印刷機能に関する記述を追加した。	1.2.1(2)(c), 2.2.1(1), 2.3.1, 付録 A.1(3)

変更内容 (3020-3-720-80) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-07

追加・変更内容	変更箇所
ドキュメント一覧表の更新日付欄の記述を変更した。	8.2.7

単なる誤字・脱字などは、お断りなく訂正しました。

変更内容 (3020-3-720-70) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-06

追加・変更内容
XML定義情報印刷機能に関する記述を追加した。
論理設計図印刷機能に関する記述を追加した。
インターフェース定義の出力フォーマットを変更した。
REPORT MANAGER メイン画面に関する記述を追加した。

変更内容 (3020-3-720-70) SEWB+ / REPORT MANAGER 02-05

追加・変更内容
プログラム処理概要図のパラメタ欄へのXMLファイル名出力機能を追加した。

変更内容 (3020-3-720-60) S E W B + / R E P O R T M A N A G E R 02-04

追加・変更内容

インターフェース定義情報印刷機能に関する記述を追加した。

インパクトレポートの CSV 出力機能に関する記述を追加した。

REPORT MANAGER メイン画面・印刷設定画面に関する記述を追加した。

REPOSITORY-BROWSER の関連ブラウザ画面を変更した。

付録 B として CSV ファイル出力時のファイル名基準を追加した。

付録 C としてコマンドライン起動パラメーター一覧を追加した。

付録 D として EUR ファイル名称を追加した。

変更内容 (3020-3-720-50) S E W B + / R E P O R T M A N A G E R 02-03

追加・変更内容

レコードレイアウト印刷機能に関する記述を追加した。

コード表印刷機能に関する記述を追加した。

REPORT MANAGER メイン画面・印刷設定画面に関する記述を追加した。

部品定義印刷機能に関する記述を追加した。

データ項目仕様書印刷機能に関する記述を追加した。

CONSTRUCTION の定義画面を変更した。

変更内容 (3020-3-720-30) S E W B + / R E P O R T M A N A G E R 02-01

追加・変更内容

REPORT MANAGER メイン画面・印刷設定画面に関する記述を追加した。

プログラム処理概要図のチェック / 編集条件表印刷機能に関する記述を追加した。

データ定義仕様書印刷機能に関する記述を追加した。

データ項目辞書の結合項目構成一覧表印刷機能に関する記述を追加した。

CSV ファイル出力に関する記述を追加した。

変更内容 (3020-3-720-20) S E W B + / R E P O R T M A N A G E R 02-00

追加・変更内容

データ項目辞書印刷機能に関する記述を追加した。

業務ルール印刷機能に関する記述を追加した。

ドキュメント印刷機能に関する記述を追加した。

CSV 出力形式に関する記述を追加した。

変更内容 (3020-3-720-10) S E W B + / R E P O R T - M A N A G E R 01-01

追加・変更内容

インパクトレポート出力機能に関する記述を追加した。

EUR で印刷する方式に関する記述を追加した。

プログラム定義の「追加処理」を「ユーザ処理」に変更した。

メイン画面のレイアウト変更に伴い、記述を変更した。

はじめに

このマニュアルは、次に示すプログラムプロダクトの機能と使用方法について説明したものです。

P-2651-FB14 S E W B + / R E P O R T M A N A G E R

対象読者

このマニュアルは、アプリケーションプログラムを作成する際に SEWB+で定義した情報を印刷する方を対象としています。また、SEWB+/CONSTRUCTION で提供するプログラム定義・プログラム生成の基本仕様、および SEWB+/REPOSITORY-BROWSER が提供するリポジトリブラウザ・関連ブラウザの機能を理解していることを前提としています。

マニュアルの構成

このマニュアルは、次に示す章と付録から構成されています。

- 第 1 章 概要
REPORT MANAGER の概要、機能および特長、および REPORT MANAGER の位置付けについて説明しています。
- 第 2 章 プログラム処理概要図
プログラム処理概要図を印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 3 章 データ定義仕様書
データ定義仕様書を印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 4 章 レコード定義仕様書
レコード定義仕様書を印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 5 章 コード表
コード表を印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 6 章 論理設計図
論理設計図からオブジェクト定義情報とオペレーション詳細情報を印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 7 章 インパクトレポート
インパクトレポートを印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。
- 第 8 章 リポジトリ登録情報
リポジトリに登録されている各種情報を、データ項目一覧表、データ項目仕様書、結合項目構成一覧表、レコードレイアウト、業務ルール一覧表、業務ルール仕様書、ドキ

はじめに

コメント一覧表として印刷する操作手順および印刷方式について説明しています。

- 付録 A CSV 出力形式
- 付録 B CSV ファイル出力時のファイル名称基準
- 付録 C コマンドライン起動パラメータ一覧
- 付録 D EUR ファイル名称
- 付録 E エラーログファイル

関連マニュアル

このマニュアルの関連マニュアルを次に示します。必要に応じてお読みください。

- SEWB+ クライアントサーバシステム開発ガイド (3020-3-844)
- SEWB+ / CONSTRUCTION アプリケーション開発ガイド (3020-3-700)
- SEWB+ / BATCH - FRAMEWORK
バッチシステム向けアプリケーションフレームワーク・部品 使用の手引 (3020-3-711)
- SEWB+ / REPOSITORY 運用ガイド (3020-3-697)
- SEWB+ / REPOSITORY 辞書設計ガイド (3020-3-698)
- SEWB+ / CODE - DESIGN コード設計支援 使用の手引 (3020-3-721)

マニュアル体系

SEWB+ クライアントサーバシステム開発ガイド	概 (3020-3-844)
《リポジトリ管理》	
SEWB+/REPOSITORY 運用ガイド	解手 (3020-3-697)
SEWB+/REPOSITORY 辞書設計ガイド	手 (3020-3-698)
Groupmax Object Server Version 6 システム管理者ガイド	解手 (3020-3-B56)
SEWB+/STANDARD-DICTIONARY 標準データ項目辞書 使用の手引	手 (3020-3-719)
《オブジェクト指向分析・設計》	
SEWB+ オブジェクト指向分析・設計支援 使用の手引	手操 (3020-3-581)
《分散オブジェクト設計支援》	
SEWB+/CS - DESIGN ユーザーズガイド	手操 (3020-3-770)
《クライアントサーバシステム設計支援》	
SEWB+/OLTP DEFINER ユーザーズガイド	手操 (3020-3-909)
《アプリケーション開発》	
SEWB+/CONSTRUCTION アプリケーション開発ガイド	手文 (3020-3-700)
SEWB+/RECORD DEFINER ユーザーズガイド	手操 (3020-3-E41)
SEWB+/REPORT MANAGER ドキュメント作成支援 使用の手引	手 (3020-3-720)
SEWB+/CODE-ANALYZER ユーザーズガイド	手操 (3020-3-820)
SEWB+/CODE-DESIGN コード設計支援 使用の手引	手 (3020-3-721)
SEWB+ パッケージ向けアプリケーションフレームワーク・部品 使用の手引	手 (3020-3-711)
SEWB+/STANDARD-SUBROUTINE 標準サブルーチン 使用の手引	手 (3020-3-725)
SEWB+ COBOL 構造化エディタ 使用の手引き	手 (3020-3-811)

記号 概：概説書
 解：解説書
 手：手引書
 文：文法書
 操：操作書

はじめに

このマニュアルでの表記

このマニュアルでは、製品名を次のように表記しています。

表記		製品名	
Windows	Windows Server 2003	Windows Server 2003 Standard	Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Standard Edition Operating System
		Windows Server 2003 Enterprise	Microsoft(R) Windows Server(TM) 2003, Enterprise Edition Operating System
	Windows XP	Windows XP Home Edition	Microsoft(R) Windows(R) XP Home Edition Operating System
		Windows XP Professional	Microsoft(R) Windows(R) XP Professional Operating System
	Windows 2000	Windows 2000 Professional	Microsoft(R) Windows(R) 2000 Professional Operating System
		Windows 2000 Server	Microsoft(R) Windows(R) 2000 Server Operating System
		Windows 2000 Datacenter Server	Microsoft(R) Windows(R) 2000 Datacenter Server Operating System
	Windows NT 4.0	Windows NT 4.0 Workstation	Microsoft(R) Windows NT(R) Workstation Operating System Version 4.0
		Windows NT 4.0 Server	Microsoft(R) Windows NT(R) Server Network Operating System Version 4.0
	Windows Me		Microsoft(R) Windows(R) Millennium Edition Operating System
	Windows 98		Microsoft(R) Windows(R) 98 Operating System
	Windows 95		Microsoft(R) Windows(R) 95 Operating System

常用漢字以外の漢字の使用について

このマニュアルでは、常用漢字を使用することを基本としていますが、次に示す用語については、常用漢字以外の漢字を使用しています。

全て（すべて） 貼り付け（はりつけ） 必須（ひつす）

KB（キロバイト）などの単位表記について

1KB（キロバイト），1MB（メガバイト），1GB（ギガバイト），1TB（テラバイト）はそれぞれ 1,024 バイト，1,024² バイト，1,024³ バイト，1,024⁴ バイトです。

目次

1	概要	1
1.1	概要	2
1.2	特長	5
1.2.1	プログラム処理概要図	5
1.2.2	データ定義仕様書	12
1.2.3	レコード定義仕様書	13
1.2.4	コード表	14
1.2.5	論理設計図	15
1.2.6	インパクトレポート	17
1.2.7	データ項目一覧表	18
1.2.8	データ項目仕様書	19
1.2.9	結合項目構成一覧表	20
1.2.10	レコードレイアウト	21
1.2.11	業務ルール一覧表	22
1.2.12	業務ルール仕様書	23
1.2.13	ドキュメント一覧表	24
2	プログラム処理概要図	25
2.1	操作手順	26
2.1.1	操作の流れ	26
2.1.2	操作方法	27
2.1.3	環境設定	34
2.2	印刷方式	35
2.2.1	E U R による印刷	35
2.2.2	E x c e l による印刷	50
2.3	印刷例	54
2.3.1	サンプルデータによる標準印刷例	54
2.3.2	サンプルデータによる非標準印刷例	73
3	データ定義仕様書	77
3.1	操作手順	78
3.1.1	操作の流れ	78
3.1.2	操作方法	79
3.2	印刷方式	81
3.3	印刷例	84
4	レコード定義仕様書	87
4.1	操作手順	88
4.1.1	操作の流れ	88

目次

4.1.2 操作方法	89
4.2 印刷方式	91
4.3 印刷例	93

5 コード表	95
5.1 操作手順	96
5.1.1 操作の流れ	96
5.1.2 操作方法	97
5.2 印刷方式	99
5.3 印刷例	102

6 論理設計図	105
6.1 操作手順	106
6.1.1 操作の流れ	106
6.1.2 操作方法	107
6.2 印刷方式	110
6.3 印刷例	113

7 インパクトレポート	117
7.1 操作手順	118
7.1.1 操作の流れ	118
7.1.2 操作方法	119
7.2 印刷方式	121
7.3 印刷例	124

8 リポジトリ登録情報	127
8.1 操作手順	128
8.1.1 操作の流れ	128
8.1.2 操作方法	129
8.2 印刷方式	133
8.2.1 データ項目一覧表	133
8.2.2 データ項目仕様書	135
8.2.3 結合項目構成一覧表	137
8.2.4 レコードレイアウト	138
8.2.5 業務ルール一覧表	139
8.2.6 業務ルール仕様書	141
8.2.7 ドキュメント一覧表	142
8.3 印刷例	143

付 録	147
付録 A CSV 出力形式	148
A.1 プログラム処理概要図	148

A.2 データ定義仕様書	158
A.3 レコード定義仕様書	159
A.4 コード表	160
A.5 論理設計図	161
A.6 データ項目一覧表	163
A.7 データ項目仕様書	164
A.8 結合項目構成一覧表	165
A.9 業務ルール一覧表	166
A.10 業務ルール仕様書	167
A.11 ドキュメント一覧表	168
A.12 インパクトレポート	169
付録 B CSV ファイル出力時のファイル名称基準	170
付録 C コマンドライン起動パラメータ一覧	174
付録 D EUR ファイル名称	175
付録 E エラーログファイル	176

索引

図表目次



図 1.1-1	プログラム処理概要図・データ定義仕様書・レコード定義仕様書・コード表・論理設計図出力の概念図	3
図 1.1-2	インパクトレポート出力の概念図	3
図 1.1-3	リポジトリ登録情報出力の概念図	4
図 1.2-1	プログラム処理概要図（1 頁目）	5
図 1.2-2	プログラム処理概要図（XML 定義）	6
図 1.2-3	プログラム処理概要図（インターフェース定義）	7
図 1.2-4	プログラム処理概要図（部品定義）	7
図 1.2-5	プログラム処理概要図（ユーザ処理）	8
図 1.2-6	プログラム処理概要図（チェック / 編集条件表）	9
図 1.2-7	プログラム処理概要図（メモ）	10
図 1.2-8	プログラム処理概要図（別紙）	10
図 1.2-9	データ定義仕様書	12
図 1.2-10	レコード定義仕様書	13
図 1.2-11	コード表	14
図 1.2-12	オブジェクト定義情報	15
図 1.2-13	オペレーション詳細情報	16
図 1.2-14	インパクトレポート	17
図 1.2-15	データ項目一覧表	18
図 1.2-16	データ項目仕様書	19
図 1.2-17	結合項目構成一覧表	20
図 1.2-18	レコードレイアウト	21
図 1.2-19	業務ルール一覧表	22
図 1.2-20	業務ルール仕様書	23
図 1.2-21	ドキュメント一覧表	24
図 2.1-1	プログラム処理概要図印刷の操作の流れ	26
図 2.1-2	REPORT MANAGER メイン画面	27
図 2.1-3	ファイルの選択	29
図 2.1-4	印刷プレビュー画面	30
図 2.1-5	情報取得中ダイアログ	31
図 2.1-6	プログラム処理概要図印刷例	32
図 2.1-7	エラーダイアログ	33
図 2.2-1	プログラム処理概要図の標準印刷レイアウト	35
図 2.2-2	入出力項目構成記号	36
図 2.2-3	IO区分と概念図との対応	36
図 2.2-4	XML 定義情報の標準印刷レイアウト	38
図 2.2-5	インターフェース定義情報の標準印刷レイアウト（オペレーション情報）	39
図 2.2-6	インターフェース定義情報の標準印刷レイアウト（インターフェース情報）	39
図 2.2-7	部品定義情報の標準印刷レイアウト	40

図 2.2-8 ユーザ処理情報の標準印刷レイアウト	41
図 2.2-9 チェック / 編集条件表の標準印刷レイアウト	42
図 2.2-10 メモ情報の標準印刷レイアウト	43
図 2.2-11 非標準印刷のプログラム処理概要図	48
図 2.2-12 非標準印刷のプログラム処理概要図(別紙)	49
図 2.2-13 Excel による標準印刷(プログラム処理概要図)	50
図 2.2-14 Excel による標準印刷(ユーザ処理)	51
図 2.2-15 Excel による標準印刷(ユーザ処理・メモ)	51
図 2.2-16 Excel による非標準印刷	53
図 2.3-1 CONSTRUCTION 定義例 1 (サインタブ)	54
図 2.3-2 CONSTRUCTION 定義例 1 (入出力タブ)	55
図 2.3-3 CONSTRUCTION 定義例 1 (入力ファイル詳細)	55
図 2.3-4 CONSTRUCTION 定義例 1 (出力ファイル詳細)	56
図 2.3-5 CONSTRUCTION 定義例 1 (パラメータタブ)	56
図 2.3-6 CONSTRUCTION 定義例 1 (XML 定義詳細)	57
図 2.3-7 CONSTRUCTION 定義例 1 (インターフェースタブ)	57
図 2.3-8 CONSTRUCTION 定義例 1 (インターフェース定義詳細)	58
図 2.3-9 CONSTRUCTION 定義例 1 (部品タブ)	58
図 2.3-10 CONSTRUCTION 定義例 1 (部品定義詳細)	59
図 2.3-11 CONSTRUCTION 定義例 1 (ユーザ処理タブ)	59
図 2.3-12 CONSTRUCTION 定義例 1 (メモタブ)	60
図 2.3-13 REPORT MANAGER メイン画面	61
図 2.3-14 プログラム処理概要図印刷結果 1	62
図 2.3-15 XML 定義情報印刷結果 1	62
図 2.3-16 インターフェース定義情報(インターフェース情報)印刷結果 1	63
図 2.3-17 インターフェース定義情報(オペレーション情報)印刷結果 1	63
図 2.3-18 部品定義情報印刷結果 1	64
図 2.3-19 追加コーディング情報印刷結果 1	64
図 2.3-20 追加コーディング情報印刷結果 1(続き)	65
図 2.3-21 メモ情報印刷結果 1	65
図 2.3-22 CONSTRUCTION 定義例 2 (サインタブ)	66
図 2.3-23 CONSTRUCTION 定義例 2 (入出力タブ)	67
図 2.3-24 CONSTRUCTION 定義例 2 (交通費ファイル詳細)	67
図 2.3-25 CONSTRUCTION 定義例 2 (人事情報マスタファイル指定)	68
図 2.3-26 CONSTRUCTION 定義例 2 (人事情報マスタファイル詳細)	68
図 2.3-27 CONSTRUCTION 定義例 2 (交通費補助ファイル詳細)	69
図 2.3-28 CONSTRUCTION 定義例 2 (パラメータタブ)	69
図 2.3-29 CONSTRUCTION 定義例 2 (インターフェースタブ)	70
図 2.3-30 CONSTRUCTION 定義例 2 (部品タブ)	70
図 2.3-31 REPORT MANAGER メイン画面	71
図 2.3-32 プログラム処理概要図印刷結果 2	72
図 2.3-33 プログラム処理概要図印刷結果 2(次頁)	72
図 2.3-34 REPORT MANAGER メイン画面	73
図 2.3-35 プログラム処理概要図印刷結果 3	74

目次

図 2.3-36	追加コーディング情報印刷結果 3	74
図 2.3-37	追加コーディング情報印刷結果 3 (続き)	75
図 3.1-1	データ定義仕様書印刷の操作の流れ	78
図 3.1-2	REPORT MANAGER メイン画面	79
図 3.2-1	データ定義仕様書印刷結果	81
図 3.3-1	REPORT MANAGER メイン画面	84
図 3.3-2	データ定義ファイル	85
図 3.3-3	データ定義仕様書印刷結果	85
図 4.1-1	レコード定義仕様書印刷の操作の流れ	88
図 4.1-2	REPORT MANAGER メイン画面	89
図 4.2-1	レコード定義仕様書印刷結果	91
図 4.3-1	REPORT MANAGER メイン画面	93
図 4.3-2	レコード定義ファイル	94
図 4.3-3	レコード定義仕様書印刷結果	94
図 5.1-1	コード表印刷の操作の流れ	96
図 5.1-2	REPORT MANAGER メイン画面	97
図 5.2-1	印刷条件設定画面	99
図 5.2-2	固定キー形式	100
図 5.2-3	可変キー形式	101
図 5.3-1	CODE-DESIGN で定義したコード表	102
図 5.3-2	コード表 (固定キー形式) 印刷例	103
図 5.3-3	コード表 (可変キー形式) 印刷例	104
図 6.1-1	論理設計図情報印刷の操作の流れ	106
図 6.1-2	REPORT MANAGER メイン画面	107
図 6.1-3	論理設計図情報 印刷設定画面	108
図 6.2-1	オブジェクト定義情報	110
図 6.2-2	オペレーション詳細情報	112
図 6.3-1	CS-DESIGN で定義した論理設計図	113
図 6.3-2	オブジェクト定義情報 印刷例	114
図 6.3-3	オペレーション詳細情報 印刷例 1	114
図 6.3-4	オペレーション詳細情報 印刷例 2	115
図 7.1-1	インパクトレポート印刷の操作の流れ	118
図 7.1-2	関連ブラウザ画面	119
図 7.1-3	インパクトレポート印刷設定画面	120
図 7.1-4	インパクトレポート印刷例	120
図 7.2-1	インパクトレポート出力結果	121
図 7.3-1	関連ブラウザ表示例	124
図 7.3-2	インパクトレポート印刷設定画面	125
図 7.3-3	インパクトレポート印刷例	125
図 8.1-1	リポジトリ登録情報印刷の操作の流れ	128
図 8.1-2	REPOSITORY-BROWSER 画面例	130
図 8.1-3	REPORT MANAGER 印刷設定画面	131
図 8.2-1	データ項目名によるデータ項目一覧表例	133
図 8.2-2	標準名称によるデータ項目一覧表例	134

図 8.2-3	データ項目仕様書例	135
図 8.2-4	結合項目構成一覧表	137
図 8.2-5	レコードレイアウト	138
図 8.2-6	業務ルール名による業務ルール一覧表例	139
図 8.2-7	標準名称による業務ルール一覧表例	140
図 8.2-8	業務ルール仕様書	141
図 8.2-9	ドキュメント一覧表	142
図 8.3-1	データ項目一覧表印刷例	143
図 8.3-2	データ項目仕様書印刷例	144
図 8.3-3	結合項目構成一覧表印刷例	144
図 8.3-4	レコードレイアウト印刷例	145
図 8.3-5	業務ルール一覧表印刷例	145
図 8.3-6	業務ルール仕様書印刷例	146
図 8.3-7	ドキュメント一覧表印刷例	146

表

表 1.1-1	REPORT MANAGER の概要	2
表 2.2-1	プログラム処理概要図と CONSTRUCTION との対応	44
表 2.2-2	チェック/編集条件表と CONSTRUCTION, REPOSITORY との対応	46
表 2.2-3	入出力項目と BATCH-FRAMEWORK との対応	46
表 3.2-1	各種定義情報	82
表 3.2-2	辞書の表示内容	82
表 3.2-3	サブ属性の表示内容	83
表 7.2-1	インパクトレポートと REPOSITORY-BROWSER 「関連ブラウザ」との対応	123
表 8.1-1	印刷対象となるオブジェクト一覧	129
表 8.2-1	データ項目仕様書の印刷内容	136
表 8.2-2	業務ルール仕様書内容	141
表 8.2-3	ドキュメント一覧表内容	142

1 概要

この章では、SEWB+/REPORT MANAGER の機能の概要と特長について説明します。

1.1 概要

1.2 特長

1.1 概要

SEWB+/REPORT MANAGER（以下 REPORT MANAGER と略します）は、SEWB+で作成した各種の情報を印刷します。

REPORT MANAGER の概要を表 1.1-1に、それぞれの出力機能の概念図を図 1.1-1 ~ 図 1.1-3に示します。

表 1.1-1 REPORT MANAGER の概要

項番	印刷対象	出力情報	対象製品と機能	起動
1	プログラム 処理概要図	プログラム定義で設定したプログラム名称, XML定義情報, インターフェース定義情報, 入出力定義情報, パラメタ定義情報, 部品定義情報, 選択した業務ルール等のプログラム情報を印刷する。注1, 注2	SEWB+/CONSTRUCTION プログラム定義	REPORT MANAGER プログラム定義ファイル
2	データ定義 仕様書	データ定義で設定したプログラムで使用する外部情報の名称やレコード構造を印刷する。注2	SEWB+/CONSTRUCTION データ定義	REPORT MANAGER データ定義ファイル
3	レコード定義 仕様書	レコード定義で設定したプログラムで使用するレコード構造を印刷する。注2	SEWB+/RECORD DEFINER	REPORT MANAGER レコード定義ファイル
3	コード表	コード設計支援で定義したコード表を印刷する。注2	SEWB+/CODE-DESIGN	REPORT MANAGER コード定義ファイル
4	論理設計図	CS-DESIGN で作成した論理設計図を印刷する。注2	SEWB+/CS-DESIGN	REPORT MANAGER 論理設計図ファイル
5	インパクト レポート	REPOSITORY-BROWSER の関連ブラウザで表示した情報を印刷。起点オブジェクトから影響を受ける関連、影響を与える関連を全て印刷する。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER 関連ブラウザ	REPOSITORY-BROWSER 関連ブラウザ インパクトレポート
6	データ項目 一覧表	指定したデータ項目に属する全てのデータ項目を一覧表として出力。データ項目辞書に登録した基本属性が出力される。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ データ項目
7	データ項目 仕様書	指定したデータ項目の定義情報を全て出力。国語別, 言語別に出力できる。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ データ項目
8	結合項目 構成一覧表	指定した結合項目を上位とする項目の構成を全て印刷する。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ データ項目
9	レコード レイアウト	RECORD EDITOR で表示したレコードレイアウトを印刷する。注3	SEWB+/RECORD EDITOR	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ データ項目
10	業務ルール 一覧表	指定した業務ルールに属する全ての業務ルールを一覧表として出力。業務ルール辞書に登録した基本属性が出力される。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ 業務ルール
11	業務ルール 仕様書	指定した業務ルールの定義情報を全て出力。国語別, 言語別に出力できる。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ 業務ルール
12	ドキュメント 一覧表	指定したドキュメントに属する全てのデータ項目を一覧表として出力。ドキュメント辞書に登録した基本属性が出力される。注2	SEWB+/REPOSITORY- BROWSER	REPOSITORY-BROWSER リポジトリブラウザ ドキュメント

注1) 出力方法として「Excel」と「EUR」との2通りから選ぶことができます。

注2) 出力方法として「印刷」と「CSV ファイル出力」との2通りから選ぶことができます。REPORT MANAGER による印刷の形式をカスタマイズする場合や、独自の情報を付加したい場合は「CSV ファイル出力」で出力した CSV ファイルを修正し、CSV ファイルをサポートしている他のアプリケーションから印刷して下さい。

注3) 出力方法は EUR による印刷のみ対象となります。CSV ファイル出力はサポートしていません。

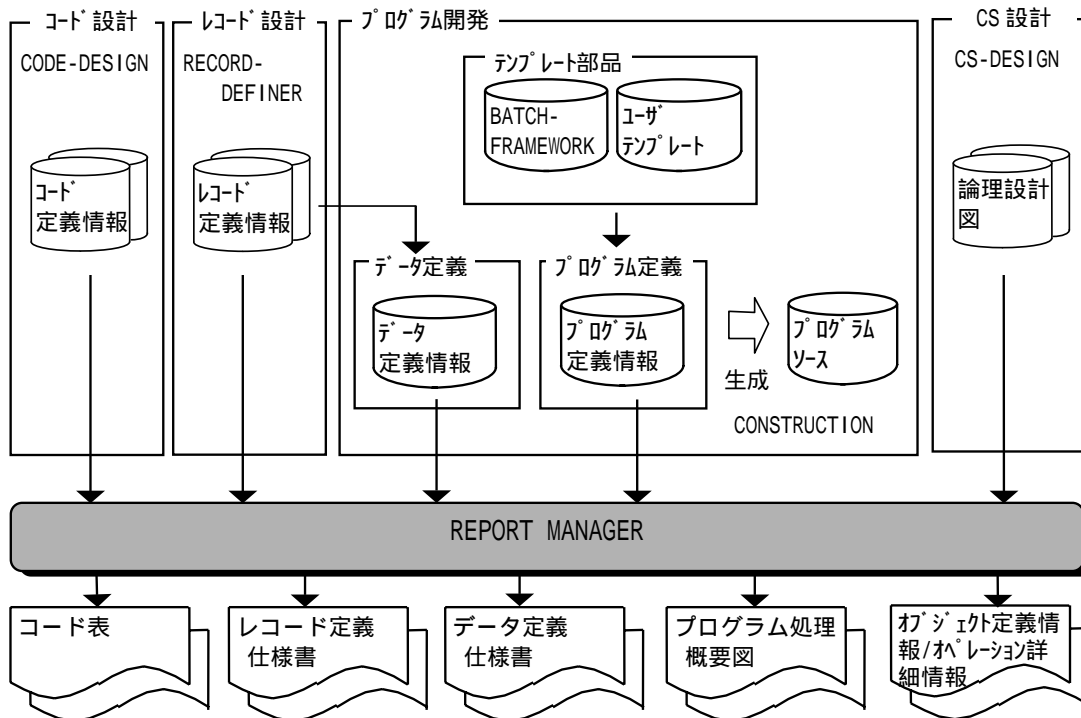


図 1.1-1 プログラム処理概要図・データ定義仕様書・レコード定義仕様書・コード表・論理設計図出力の概念図

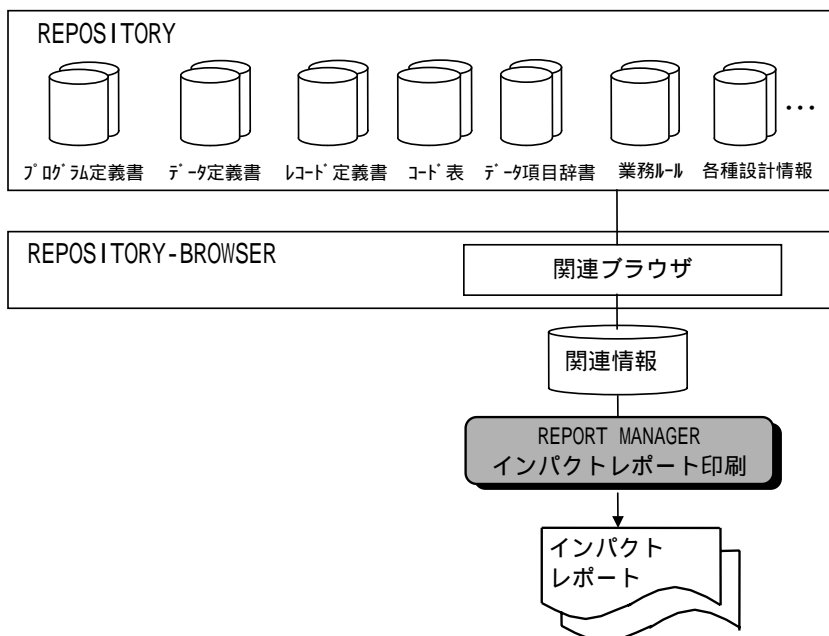


図 1.1-2 インパクトレポート出力の概念図

1. 概要

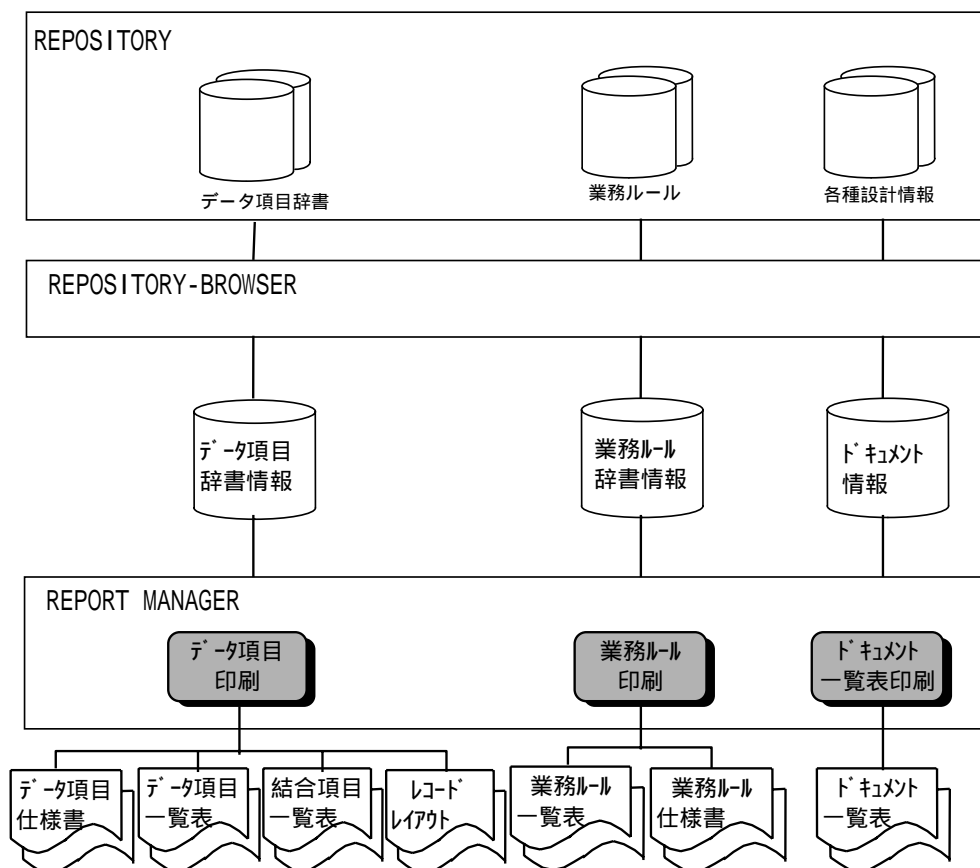


図 1.1-3 リポジトリ登録情報出力の概念図

1.2 特長

1.2.1 プログラム処理概要図

(1) 特長

REPORT MANAGER で印刷するプログラム処理概要図は次のような特長があります。

- ・プログラム定義情報をそのまま印刷
CONSTRUCTION で定義した情報を全て出力します。
- ・入出力定義に基づく処理概念図を自動生成
入出力定義で定義した入出力項目の種別に基づいたシンボルが印刷され、それぞれのシンボルに矢印を付け、入出力を表します。
- ・ユーザ処理編成を追加コーディングの内容と対応付けて印刷
プログラム定義のユーザ処理で編成のリフォーム後に表示されるユーザ処理編成とユーザ処理編成上のUOCに対して記述した追加コーディングを対応して印刷します。
- ・サブシステム単位に複数のプログラム仕様定義を印刷できる
複数指定による印刷が可能ですので、サブシステム単位に使用するプログラム仕様書を一括して印刷することができます。
- ・選択した業務ルールを適用項目と合わせて一覧表として印刷
業務ルールを関連する入力項目、出力項目と対応付けて印刷します。

(2) 印刷内容

(a) プログラム処理概要図 (1 頁目)

ワークシート		プログラム処理概要図				作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1	
サブシステム名		プログラム名称				ア 09 5410	国語別	言語	テンプレートの名称	
出金管理		旅費集計				TRAVEL01	日本語	COBOL	レコードの集計	
処理概念図					概要					
					旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。					
入出力定義										
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	CO-句	外部装置名	NEXT	接続語	接続語	キー
1	入力ファイル	FILE	I	旅費申請情報ファイル	BSINP01	ST001	S	BSINP01		ST001-01
2	出力ファイル	FILE	O	個人別旅費支給ファイル	BSOUT01	ST001	S	BSOUT01		
パラメタ										
項番	指示項目	値		説明						
1	プログラム概要	旅費集計		プログラムの概要も記述する。						
2	プログラム1名	TRAVEL01		プログラムの概要も記述する。						
3	プログラム接続フラグ	なし		プログラムの概要も記述する。						
4	旅費集計表名	旅費集計表名.znl		プログラムの概要も記述する。						

(次頁に続く)

図 1.2-1 プログラム処理概要図 (1 頁目)

1. 概要

- 1) プログラム概要
 作成者，印刷日付，頁数，サブシステム名，プログラム名称，プログラムID，使用言語，テンプレート名称を印刷します。また，ステップ数，承認欄は空白となります。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを頁の左上・右下に印刷します。
- 2) 処理概念図
 入出力定義情報をプログラム処理概念図で印刷します。
- 3) 概要
 プログラム概要を印刷します。
- 4) 入出力定義
 入出力項目定義情報（入出力項目，データ定義種別，IO区分等）を印刷します。なお，これらの印刷内容は，CONSTRUCTION 上における定義内容および，使用するテンプレートに依存しています。詳細は，「2.2 印刷方式」を参照して下さい。
- 5) パラメタ
 パラメタ定義情報（指示項目名とその値等）を印刷します。なお，これらの印刷内容は CONSTRUCTION 上における定義内容および，使用するテンプレートに依存しています。詳細は，「2.2 印刷方式」を参照して下さい。

(b) プログラム処理概要図（XML定義）

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)			作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P.2
XML定義							
XMLファイル名 旅費集計業務.xml							
指示パラメタ				指示パラメタ			
項番	指示項目	値		指示項目	値		
1	集計	個人					

(次頁に続く)

図 1.2-2 プログラム処理概要図（XML定義）

- 1) プログラムID等
 作成者，印刷日付，頁数，プログラムIDを印刷します。ヘッダ・フッタは左上・右下に印刷します。
- 2) XML定義情報
 XMLファイル名，指示項目とその値を印刷します。

(c) プログラム処理概要図 (インターフェース定義)

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 3
インターフェース定義						
インターフェース項目	インターフェース					
インターフェース名	ExpensesSum					
オペレーション名						
論理設計図	旅費集計.dal					
IDLファイル	FareTotal.idl					
オブジェクト名	ExpensesSum					
モジュール	FareTotalMod					
日本語名	旅費集計					
ベースインターフェース						
インターフェースパラメタ						
項番	指示項目	値	指示項目	値		

(次頁に続く)

図 1.2-3 プログラム処理概要図 (インターフェース定義)

1) プログラムID等

作成者, 印刷日付, 頁数, プログラムIDを印刷します。ヘッダ・フッタは左上・右下に印刷します。

2) インターフェース定義

インターフェース定義情報 (インターフェース項目名, インターフェース名, オペレーション名, 論理設計図名, 指示項目名とその値等) を印刷します。

(d) プログラム処理概要図 (部品定義)

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 5
部品定義						
展開部品名 文字列操作						
コメント						
項番	ファイル名	プロシジャ名	引数	値		
1	文字列操作.esr	SUB_STRING_LEFT	I_ITEM	行先名前		
			O_ITEM	行先名上		
			TTL LENG	20		
2	文字列操作.esr	SUB_STRING_RIGHT	OP LENG	10		
			I_ITEM	行先名後		
			O_ITEM	行先名下		
			TTL LENG	20		
			OP LENG	10		

(次頁に続く)

図 1.2-4 プログラム処理概要図 (部品定義)

- 1) プログラムID等
作成者, 印刷日付, 頁数, プログラムIDを印刷します。ヘッダ・フッタは左上・右下に印刷します。
- 2) 入出力定義
1枚目の入出力項目に収まらなかった定義情報が印刷されます。
- 3) パラメタ
1枚目のパラメタに収まらなかった定義情報が印刷されます。

1 . 概要

1.2.2 データ定義仕様書

(1) 特長

CONSTRUCTION のデータ定義で定義した情報を印刷します。データ定義では、入出力ファイル、OPEN/TP1 用のメッセージ、及び RDB を定義することができ、名称やキー項目等を必要に応じて定義を行います。また、データ定義で使用するレコード構造として最上位結合項目またはレコード定義を指定します。

REPORT MANAGER では、データ定義で定義した項目名称やキー項目等の定義情報とレコード構造として指定した結合項目またはレコード定義の構成図、自動計算したレコード長や、各項目のレコード上の位置を印刷することができます。

(2) 印刷内容

ワークシート		データ定義仕様書				作成承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1	
サブシステム名			名称			データ定義ファイル名				
国語種別	言語種別	定義種別	ファイル名			ファイル編成		レコード長		
日本語	COBOL又は00COBOL	ファイル	SHOKIN-FILE			職員データファイル.csd		85		
項番	標準名称	レベル	データ項目名	タイプ	桁数	小数	反復	辞書	位置	サブ属性
1	職員データ	1	SHOKIN-DATA		3			辞書項目	1	
2	職員番号	2	SHOKIN-NO		3			辞書項目	1	
3	職員名称	2	SHOKIN-NAME		20			辞書項目	9	
4	勤務先コード	2	KUJIKUJIN-CODE		2			辞書項目	9	
5	勤務先名称	2	KUJIKUJIN-NAME		2			辞書項目	9	
6	所属内勤部名称	2	BANGI-KENJUKU		3			辞書項目	24	
7	基本給	2	KUJIKUJIN-BASIC		3			辞書項目	20	
8	勤務手当	2	KUJIKUJIN-ALLOW		3			辞書項目	21	

図 1.2-9 データ定義仕様書

- 1) データ定義情報
作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。
- 2) 印刷対象設定情報
データ定義名称，データ定義ファイル(.csd)名称，国語種別，言語種別は印刷設定画面で設定した情報をそのまま印刷します。この出力情報は定義したデータ定義の種別により異なります。
- 3) レコード構造
データ定義でレコード構造として設定した最上位結合項目またはレコード定義の構成を印刷します。出力する情報は，指定された言語種別に該当する標準名称，レベル，データ項目名称，タイプ，桁数，小数，反復，辞書，位置，サブ属性です。

1.2.3 レコード定義仕様書

(1) 特長

RECORD DEFINER のレコード定義で定義した情報を印刷します。レコード定義では、REPOSITORY のデータ項目辞書を活用してレコード構造を定義します。また、データ項目辞書に登録されていないデータ項目をレコードの構成要素として使用できます。

REPORT MANAGER では、レコード定義で定義したレコード構造の構成図、自動計算したレコード長さ、各項目のレコード上の位置を印刷することができます。

(2) 印刷内容

ワークシート		レコード定義仕様書				作成	印刷日付	P.1		
						承認	2005/ 9/ 6			
サブシステム名		国語種別	言語種別	レコード定義ファイル名			レコード長			
		日本語	COBOL又は100COBOL	交通費補助マスタ.csc			143			
項番	標準名称	レベル	データ項目名	タイプ	桁数	小数	反復	辞書	位置	サブ属性
1	消費申請コード	1	CONTRNO		9				1	
2	消費コード	1	CONTRCD		9				2	
3	区	2	KAN		9				3	
4	日	2	DATE		9				4	
5	月	2	MON		9				5	
6	年	2	YEAR		9				6	
7	消費	2	CONTR		9				7	
8	消費	2	CONTR		9				8	
9	消費	2	CONTR		9				9	
10	消費	2	CONTR		9				10	
11	消費	2	CONTR		9				11	
12	消費	2	CONTR		9				12	
13	消費	2	CONTR		9				13	
14	消費	2	CONTR		9				14	
15	消費	2	CONTR		9				15	
16	消費	2	CONTR		9				16	
17	消費	2	CONTR		9				17	
18	消費	2	CONTR		9				18	
19	消費	2	CONTR		9				19	
20	消費	2	CONTR		9				20	
21	消費	2	CONTR		9				21	
22	消費	2	CONTR		9				22	
23	消費	2	CONTR		9				23	
24	消費	2	CONTR		9				24	
25	消費	2	CONTR		9				25	
26	消費	2	CONTR		9				26	
27	消費	2	CONTR		9				27	
28	消費	2	CONTR		9				28	
29	消費	2	CONTR		9				29	
30	消費	2	CONTR		9				30	
31	消費	2	CONTR		9				31	
32	消費	2	CONTR		9				32	
33	消費	2	CONTR		9				33	
34	消費	2	CONTR		9				34	
35	消費	2	CONTR		9				35	
36	消費	2	CONTR		9				36	
37	消費	2	CONTR		9				37	
38	消費	2	CONTR		9				38	
39	消費	2	CONTR		9				39	
40	消費	2	CONTR		9				40	
41	消費	2	CONTR		9				41	
42	消費	2	CONTR		9				42	
43	消費	2	CONTR		9				43	
44	消費	2	CONTR		9				44	
45	消費	2	CONTR		9				45	
46	消費	2	CONTR		9				46	
47	消費	2	CONTR		9				47	
48	消費	2	CONTR		9				48	
49	消費	2	CONTR		9				49	
50	消費	2	CONTR		9				50	
51	消費	2	CONTR		9				51	
52	消費	2	CONTR		9				52	
53	消費	2	CONTR		9				53	
54	消費	2	CONTR		9				54	
55	消費	2	CONTR		9				55	
56	消費	2	CONTR		9				56	
57	消費	2	CONTR		9				57	
58	消費	2	CONTR		9				58	
59	消費	2	CONTR		9				59	
60	消費	2	CONTR		9				60	
61	消費	2	CONTR		9				61	
62	消費	2	CONTR		9				62	
63	消費	2	CONTR		9				63	
64	消費	2	CONTR		9				64	
65	消費	2	CONTR		9				65	
66	消費	2	CONTR		9				66	
67	消費	2	CONTR		9				67	
68	消費	2	CONTR		9				68	
69	消費	2	CONTR		9				69	
70	消費	2	CONTR		9				70	
71	消費	2	CONTR		9				71	
72	消費	2	CONTR		9				72	
73	消費	2	CONTR		9				73	
74	消費	2	CONTR		9				74	
75	消費	2	CONTR		9				75	
76	消費	2	CONTR		9				76	
77	消費	2	CONTR		9				77	
78	消費	2	CONTR		9				78	
79	消費	2	CONTR		9				79	
80	消費	2	CONTR		9				80	
81	消費	2	CONTR		9				81	
82	消費	2	CONTR		9				82	
83	消費	2	CONTR		9				83	
84	消費	2	CONTR		9				84	
85	消費	2	CONTR		9				85	
86	消費	2	CONTR		9				86	
87	消費	2	CONTR		9				87	
88	消費	2	CONTR		9				88	
89	消費	2	CONTR		9				89	
90	消費	2	CONTR		9				90	
91	消費	2	CONTR		9				91	
92	消費	2	CONTR		9				92	
93	消費	2	CONTR		9				93	
94	消費	2	CONTR		9				94	
95	消費	2	CONTR		9				95	
96	消費	2	CONTR		9				96	
97	消費	2	CONTR		9				97	
98	消費	2	CONTR		9				98	
99	消費	2	CONTR		9				99	
100	消費	2	CONTR		9				100	

図 1.2-10 レコード定義仕様書

- レコード定義情報
作成者、承認者、印刷日付、ページを印刷します。作成者、承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを、頁の左上・右下に印刷します。
- 印刷対象設定情報
国語種別、言語種別、レコード定義ファイル(.csc)名称は印刷設定画面で設定した情報をそのまま印刷します。
- レコード構造
レコード定義で設定したレコード構造の構成を印刷します。出力する情報は、指定された言語種別に該当する標準名称、レベル、データ項目名称、タイプ、桁数、小数、反復、辞書、位置、サブ属性です。

1. 概要

1.2.4 コード表

(1) 特長

CODE-DESIGN の名称指定画面およびコード表編集画面で定義した情報を印刷します。
CODE-DESIGN で定義した画面と同じイメージで印刷できます。

(2) 印刷内容

ワークシート	コード表		作成	日立 太郎	印刷日付	P. 1/6
			承認		2005年 8月31日	
コードブック日本語名称	都道府県コードブック		コメント			
コードブック記号名称	TDFKTBL		都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。			
ブック日本語名称	都道府県コード変換ブック					
ブック記号名称	TDFKSUB					
ブック日本語名称	都道府県コード変換ブック					
ブック記号名称	TDFKINF					
	1		2			
日本語項目名	都道府県コード		都道府県名			
記号項目名	TDFK-CD		TDFK-NM			
フィールド	X		N			
フィールド長	2		5			
1	01	北海道				
2	02	青森県				
3	03	岩手県				
4	04	宮城県				
5	05	秋田県				
6	06	山形県				
7	07	福島県				
8	08	茨城県				
9	09	栃木県				
10	10	群馬県				
11	11	埼玉県				
12	12	千葉県				
13	13	東京都				
14	14	神奈川県				
15	15	新潟県				
16	16	富山県				
17	17	石川県				
18	18	福井県				
19	19	山梨県				
20	20	長野県				
21	21	岐阜県				
22	22	静岡県				
23	23	愛知県				
24	24	三重県				
25	25	滋賀県				
26	26	京都府				
27	27	大阪府				
28	28	兵庫県				
29	29	奈良県				
30	30	和歌山県				

図 1.2-11 コード表

1) コード表情報

作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。承認者は空白で出力されます。
印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。

2) 見出し

CODE-DESIGN の名称指定画面で設定した名称及びコメントをそのまま印刷します。

3) データ

CODE-DESIGN のコード表編集画面で定義した情報を画面と同じイメージで印刷します。
1～4行目まではコードの項目属性を，5行目以降は項目に対するデータを表します。

1.2.5 論理設計図

(1) 特長

CS-DESIGN で作成した論理設計図ファイルを元に、論理設計図で作成したオブジェクト定義情報、およびオブジェクトに定義されているオペレーション詳細情報を印刷します。

(2) 印刷内容

(a) オブジェクト定義情報

ワークシート		オブジェクト定義情報		作成 承認	印刷日付 2006/ 8/31	P. 1
オブジェクト番号	00001	オブジェクト名	ExpensesDB	経費DB	オブジェクト日本語名	
インタフェース名	ExpensesDB	インタフェース日本語名	経費DB			
ベースインタフェース						
I D Lファイル名	FareDB.idl					
属性	属性名		日本語名		型	モード
	NAME	氏名	string (50)	読み書き		
	DEPT	所属	string (50)	読み書き		
	DEPDM	出発日	DEPDM_at	読み書き		
	DEPTIME	出発時刻	DEPTIME_at	読み書き		
	ARRDM	到着日	ARRDM_at	読み書き		
	ARRTIME	到着時刻	ARRTIME_at	読み書き		
	EXPENSE	経費	unsigned long	読み書き		
	TRIPID	旅程先	string (50)	読み書き		
	BUSINESS	用件	string (50)	読み書き		
オペレーション	オペレーション		日本語名			
	long INACCOUNT(ARRTIME_at, ARRTIME, ARRYDM_at, ARRYDM, DEPTIME_at, DEPTIME, DEPDM_at, DEPDM) string(255) TOTALACCOUNT(ARRTIME_at, ARRTIME, ARRYDM_at, ARRYDM, DEPTIME_at, DEPTIME, DEPDM)				日当計算 総計計算	
オブジェクト関連	呼び出し元オブジェクト		呼び出し先オブジェクト		コメント	
	番号	オブジェクト名	番号	オブジェクト名		

図 1.2-12 オブジェクト定義情報

1) 概要

オブジェクトの概要として、オブジェクト番号、オブジェクト名、オブジェクト日本語名、インターフェース名、インターフェース日本語名、ベースインターフェース名、I D Lファイル名を印刷します。

2) 属性

オブジェクトに定義されている属性の属性名、日本語名、型、アクセスモードを印刷します。

3) オペレーション

オブジェクトに定義されているオペレーション、日本語名を印刷します。

4) オブジェクト関連

他のオブジェクトとの関連情報として、印刷対象オブジェクトの呼び出し元オブジェクトのオブジェクト番号とオブジェクト名、および呼び出し先オブジェクトのオブジェクト番号とオブジェクト名を印刷します。

1. 概要

(b) オペレーション詳細情報

ワークシート	オペレーション詳細情報		作成 承認	印刷日付	P. 1
オペレーション	long DAMCOUNT	(ARRTIME_ar ARRTIME, ARRYMD_ar ARRYMD, DEPTIME_ar DEPTIME, DEPYMD_ar DEPYMD, string <50> TRIPPTO)		2005/ 8/31	
定義オブジェクト番号	00001	定義オブジェクト名 ExpensesDB			
オペレーション名	DAMCOUNT				
日本語名	日当計算				
戻り値の型	long				
引数	名称	日本語名	型	入出力	
	ARRTIME	到着時刻	ARRTIME_ar	in	
	ARRYMD	到着日	ARRYMD_ar	in	
	DEPTIME	出発時刻	DEPTIME_ar	in	
	DEPYMD	出発日	DEPYMD_ar	in	
	TRIPPTO	出発先	string(50)	in	
コメント	日当を計算する。 ただし最大1万円まで。		ユーザ例外		
	プロパティ名	コメント			
リクエスト・コンテキスト					

図 1.2-13 オペレーション詳細情報

1) 概要

オペレーション詳細情報の概要として、オペレーション、定義オブジェクト番号、定義オブジェクト名、オペレーション名、オペレーションの日本語名、戻り値の型を印刷します。

2) 引数

オペレーションの引数として定義した項目の名称、日本語名、型、入出力を印刷します。

3) コメント

オペレーションに定義されたコメントを印刷します。

4) ユーザ例外

オペレーションに定義されたユーザ例外を印刷します。

5) リクエスト・コンテキスト

オペレーションに定義されたリクエストコンテキストを印刷します。

1.2.6 インパクトレポート

(1) 特長

REPORT MANAGER で印刷するインパクトレポートは、REPOSITORY-BROWSER が提供する関連ブラウザで表示した情報をそのまま印刷できます。

関連ブラウザでは注目するオブジェクトを起点として、関連付けられたオブジェクトをツリー形式で表示しています。表示オプションで関連するレベルを1～9の範囲で変更することができます。また、全レベル表示により最下層まで表示することもできます。

REPORT MANAGER では画面で表示されたレベルに関わらず、20階層を上限として印刷し、明示的に階層表示を行います。これにより、オブジェクトの関連がよりわかりやすいドキュメントになっています。

(2) 印刷内容

ワークシート		インパクトレポート			作成	印刷日付	P. 1
					承認	2005/08/31	
インパクト起点オブジェクト		SVOKIN-DATA			表示方向	すべて	
インパクト起点詳細情報		計算			表示関連種別	すべて	
インパクト起点種別		データ項目			オブジェクト種別	すべて	
更新日時		2005/02/23 19:16:10					
項番	方向	階層表示	影響対象名称	種別	影響対象詳細情報	関連種別	
1	●		SVOKIN-DATA	データ項目	子章		
2	→	F0	KUYO-DATA	データ項目	子章	結合	
3	→	F1	TEST_TISYO	データ項目	子章	結合	
4	→	F2	TEST_TISYO	データ項目	子章	結合	
5	→	F3	職員データファイル.cad	ドキュメント	子章V詳細設計 善Vデータ仕録部	図書参照	
1	●		SVOKIN-DATA	データ項目	子章		
2	→	F0	RENJI-KSM-TIKAN	データ項目	子章	結合	
3	→	F0	KIHON-KVU	データ項目	子章	結合	
4	→	F0	KUROYO-HYO-CD	データ項目	子章	結合	
5	→	F0	KUROYO-KBN	データ項目	子章	結合	
6	→	F0	SRM-TEATE	データ項目	子章	結合	
7	→	F0	SHOKIN-NAME	データ項目	子章	結合	
8	→	F0	SHOKIN-NO	データ項目	子章	結合	

図 1.2-14 インパクトレポート

1) インパクトレポート情報

作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。作成者，承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。

2) 起点オブジェクト情報

オブジェクト名称，オブジェクトの格納先，オブジェクト種別，更新日時を印刷します。

3) 関連の絞り込み情報

起点からの表示方向，表示関連種別，関連対象オブジェクト種別を印刷します。

4) 関連情報

関連方向，階層，影響対象オブジェクト名称，種別，影響対象オブジェクトの格納先，関連種別を印刷します。

1 . 概要

1.2.7 データ項目一覧表

(1) 特長

選択されたオブジェクト（辞書フォルダ，データ項目など）に属する全てのデータ項目情報を印刷します。1つのデータ項目に関しては，データ項目名称・標準名称などの基本属性のみを印刷します。

REPOSITORY-BROWSER の画面と同様なツリーイメージで印刷されるため，データ項目間の継承関係を把握できます。

(2) 印刷内容

ワークシート		データ項目一覧表					作成	印刷日付	P. 1
辞書フォルダ名	予算						承認	2005/ 8/31	
国語別	日本語								
更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時	更新日時
辞書フォルダ名	予算	名前	分類	桁数	小数部桁数	語数	標準名称	フリガナ	更新日時
1		ESTP000							2005/02/23 16:18:27
2		ENGL_KSM_LIRAN							2005/02/23 16:18:27
3		KAMC_SAME		60					2005/02/23 17:23:10
4		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
5		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
6		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
7		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
8		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
9		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
10		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
11		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
12		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
13		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
14		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
15		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
16		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
17		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
18		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
19		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
20		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
21		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
22		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
23		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
24		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
25		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
26		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
27		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
28		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
29		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
30		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
31		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
32		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
33		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
34		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
35		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
36		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
37		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
38		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
39		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
40		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
41		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
42		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
43		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
44		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
45		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
46		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
47		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
48		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
49		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10
50		ENGL		2					2005/02/23 17:23:10

図 1.2-15 データ項目一覧表

- 1) データ項目一覧表情報
作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。作成者，承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。
- 2) 印刷対象設定情報
選択したデータ項目辞書が属する辞書フォルダ名称を印刷します。国語別は REPOSITORY-BROWSER で設定した国語別を印刷します。
- 3) データ項目情報
データ項目名，分類，桁数，小数部桁数，反復回数，標準名称，フリガナ，更新日時を印刷します。

1.2.8 データ項目仕様書

(1) 特長

REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集で定義した情報をデータ項目単位に印刷します。対象言語を印刷時に選択することができます。印刷される国語別は、印刷実行時に REPOSITORY-BROWSER 上で設定されていた表示方法に従います。

(2) 印刷内容

ワークシート	データ項目仕様書		作成 承認	印刷日付 2005/ 8/31	P. 1
基本属性	データ項目名	SR001A-NO			
	語書フォルダ名	子集			
	親データ項目名				
	データ項目種別	単項目			
	国語別	日本語			
	標準名称	職員番号			
	フリガナ	ジョブ番号			
	分類	英数字文字列データ			
	位数	8			
	小数部桁数				
反復回数					
対象言語	COROL又はCORCOROL				
言語別詳細属性	名前				
	タイプ	X 英数字項目			
	フリー定義又は取りうる値				
	編集文字列				
付加情報	初期値				
	フリガナ				
	フィールド1		コメント		
	フィールド2				
	フィールド3				
	フィールド4				
	フィールド5				
	フィールド6				
	フィールド7				
	フィールド8				
	フィールド9				
フィールド10					
フィールド11					
フィールド12					
フィールド13					
フィールド14					
フィールド15					
フィールド16					
フィールド17					
フィールド18					
フィールド19					
フィールド20					

図 1.2-16 データ項目仕様書

1) データ項目仕様書情報

作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。作成者，承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。

2) 基本属性情報

データ項目の名称，属性，付加情報を印刷します。

3) 言語別詳細情報

CONSTRUCTION によるプログラム生成時に使用する情報を印刷します。

4) 付加情報

ユーザの自由な目的で使用される付加的な情報です。「フィールド1」～「フィールドn」，各国語別のコメントを印刷します。

1 . 概要

1.2.9 結合項目構成一覧表

(1) 特長

REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集で結合項目として定義したデータ項目の構成情報を一覧として印刷します。

項目の構成がツリー構造で展開され、指定された言語の言語別詳細属性と合わせて印刷されます。

(2) 印刷内容

ワークシート		結合項目構成一覧表				作成		印刷日付		P. 1	
辞書フォルダ 予算		結合項目名 SYOKIN-DATA				承認		2005 / 8 / 31			
						最上位		国語		日本語	
								言語		JBOLE又はJBOCBOLE	
		基本情報				言語別情報					
順番	データ項目名	標準名称	桁数	小数	反復	名前	タイプ	編集文字列	更新日時		
1	SYOKIN-DATA	積立データ							2005/02/23 19:16:10		
2	SYOKIN-WO	積立番号	1				X		2005/02/23 17:28:09		
3	SYOKIN-SHOE	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:11		
4	SYOKIN-BOU-CI	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:09		
5	SYOKIN-BOU	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
6	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
7	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
8	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
9	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
10	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
11	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
12	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
13	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
14	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
15	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
16	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
17	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
18	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
19	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
20	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
21	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
22	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
23	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
24	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
25	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
26	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
27	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
28	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
29	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		
30	SYOKIN-BOU-TR	積立区分	1				X		2005/02/23 17:28:10		

図 1.2-17 結合項目構成一覧表

1) 結合項目構成一覧表情報

作成者、承認者、印刷日付、ページを印刷します。作成者、承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを、頁の左上・右下に印刷します。

2) 印刷対象設定情報

選択した結合項目が属する辞書フォルダ名称及び項目名称を印刷します。また、REPOSITORY-BROWSER で設定した国語別及び印刷設定画面で設定した対象言語を印刷します。

3) 結合項目構成

印刷対象として指定されたデータ項目の構成項目の一覧をツリー形式で印刷します。データ項目辞書の基本属性より取得したデータ項目名、標準名称、桁数、小数、反復、及び指定された言語の言語別詳細属性より取得した名前、タイプ、編集文字列、更新日時が構成情報となります。

1 . 概要

1.2.11 業務ルール一覧表

(1) 特長

選択されたオブジェクト（辞書フォルダ，業務ルール管理アイコンなど）に属する全ての業務ルール情報を印刷します。1つの業務ルールに関しては，業務ルールの属性，および適用項目情報のみ印刷します。

印刷される国語別は，印刷実行時に REPOSITORY-BROWSER 上で設定されていた表示方法に従います。

(2) 印刷内容

ワークシート		業務ルール一覧表		作成	印刷日付	P. 1
辞書フォルダ名	計算			承認	2005 / 8 / 31	
項番	名前	業務ルール名	種別	適用データ項目	適用条件	更新日時
1	全額 (国) チェック (数字文字列チェック)	全額 (国) チェック (数字文字列チェック)	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
2	全額 (国) 形式編集	全額 (国) 形式編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
3	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
4	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
5	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	全額 (国) 数字文字列 - 数値編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
6	全額 (国) 形式編集	全額 (国) 形式編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
7	全額 (国) 形式編集	全額 (国) 形式編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50
8	全額 (国) 形式編集	全額 (国) 形式編集	印刷	全額 (国)	全額 (国)	2005/02/23 17:20:50

図 1.2-19 業務ルール一覧表

- 1) 業務ルール一覧表情報
作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。作成者，承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，頁の左上・右下に印刷します。
- 2) 印刷対象設定情報
選択した業務ルールが属する辞書フォルダ名称を印刷します。国語別は REPOSITORY-BROWSER で設定した国語別を印刷します。
- 3) 業務ルール情報
業務ルール名，標準名称，ルール種別，適用データ項目名，適用条件，更新日時を印刷します。

1. 概要

1.2.13 ドキュメント一覧表

(1) 特長

REPOSITORY に格納された各種設計情報のドキュメント一覧を印刷します。

ドキュメントフォルダを起点としてそのフォルダに属するドキュメント情報を一覧表として印刷します。

(2) 印刷内容

ワークシート		ドキュメント一覧表				作成	印刷日付	P. 1
フォルダ名	予算	名前	バージョン名	ドキュメント種別	所有者	更新日時	コメント	
1		● 設計						7/20/2006
2		● 設計						
3		● RSTW01.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
4		● RSTW02.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
5		● RSTW03.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
6		● RSTW04.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
7		● RSTW05.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
8		● RSTW06.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
9		● RSTW07.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
10		● RSTW08.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:22		
11		● RSTW09.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:27		
12		● RSTW10.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:24		
13		● RSTW11.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:24		
14		● 部品設計書			2005/08/10	2005/08/10 14:00:32		
15		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:31		
16		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:32		
17		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:32		
18		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:31		
19		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:31		
20		● 全日設計書.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
21		● 全日設計書.xls		Excelシート	2005/08/10	2005/08/10 14:00:35		
22		● 部品設計書			2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
23		● 部品設計書 doc		Word文書	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
24		● MRS011.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
25		● MRS012.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
26		● MRS013.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
27		● MRS014.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
28		● MRS015.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
29		● MRS016.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
30		● MRS017.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
31		● MRS018.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
32		● MRS019.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
33		● MRS020.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
34		● MRS021.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
35		● MRS022.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
36		● MRS023.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
37		● MRS024.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
38		● MRS025.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
39		● MRS026.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
40		● MRS027.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
41		● MRS028.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
42		● MRS029.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
43		● MRS030.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
44		● MRS031.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
45		● MRS032.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
46		● MRS033.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
47		● MRS034.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
48		● MRS035.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
49		● MRS036.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
50		● MRS037.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
51		● MRS038.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
52		● MRS039.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
53		● MRS040.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
54		● MRS041.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
55		● MRS042.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
56		● MRS043.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
57		● MRS044.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
58		● MRS045.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
59		● MRS046.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
60		● MRS047.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
61		● MRS048.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
62		● MRS049.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
63		● MRS050.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
64		● MRS051.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
65		● MRS052.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
66		● MRS053.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
67		● MRS054.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
68		● MRS055.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
69		● MRS056.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
70		● MRS057.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
71		● MRS058.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
72		● MRS059.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
73		● MRS060.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
74		● MRS061.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
75		● MRS062.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
76		● MRS063.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
77		● MRS064.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
78		● MRS065.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
79		● MRS066.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
80		● MRS067.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
81		● MRS068.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
82		● MRS069.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
83		● MRS070.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
84		● MRS071.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
85		● MRS072.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
86		● MRS073.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
87		● MRS074.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
88		● MRS075.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
89		● MRS076.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
90		● MRS077.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
91		● MRS078.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
92		● MRS079.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
93		● MRS080.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
94		● MRS081.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
95		● MRS082.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
96		● MRS083.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
97		● MRS084.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
98		● MRS085.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
99		● MRS086.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		
100		● MRS087.cad		SRB-710図表	2005/08/10	2005/08/10 14:00:34		

図 1.2-21 ドキュメント一覧表

1) ドキュメント一覧表情報

作成者，承認者，印刷日付，ページを印刷します。作成者，承認者は空白で出力されます。印刷設定画面で設定したヘッダ・フッタを，ページの左上・右下に印刷します。

2) 印刷対象設定情報

指定したドキュメントフォルダ名称を印刷します。

3) ドキュメント情報

ドキュメント名，バージョン名，ドキュメント種別，所有者，更新日時，コメントを印刷します。

2 プログラム処理概要図

REPORT MANAGER は、CONSTRUCTION が作成したプログラム定義ファイルを元に、プログラム処理概要図の印刷を行います。

この章では、REPORT MANAGER を用いてプログラム処理概要図の印刷を行う際の操作手順および、印刷方式について説明します。

2.1 操作手順

2.2 印刷方式

2.3 印刷例

2.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてプログラム処理概要図の印刷を行う操作の手順を説明します。

2.1.1 操作の流れ

プログラム処理概要図の印刷を行う操作の流れを図 2.1-1に示します。

REPORT MANAGER を起動することにより印刷設定画面が表示されます。この画面で印刷ファイル等各種情報を設定し、プレビュー等で確認した後、印刷を実行します。

プログラム処理概要図は Excel を用いて印刷する方式と E U R（エンドユーザ帳票作成機能）を用いて印刷する方式があります。どちらも CONSTRUCTION で定義した情報を出力しますが、フォーマットが若干異なります。

また印刷プレビューは、Excel を使用した時のみの対応となります。

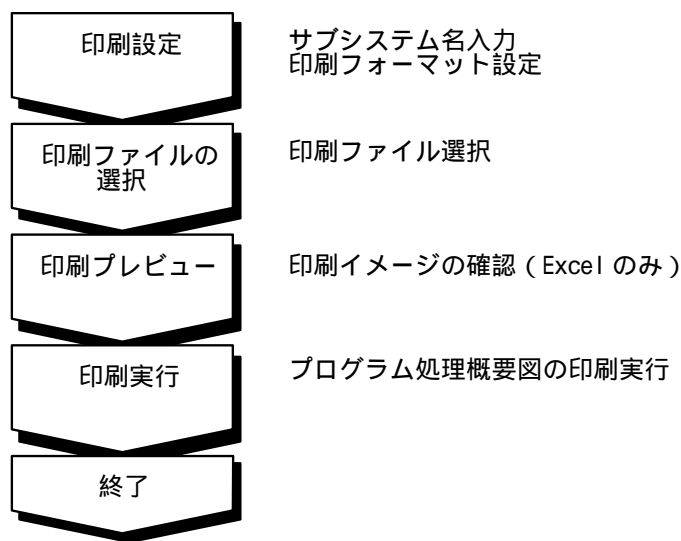


図 2.1-1 プログラム処理概要図印刷の操作の流れ

2.1.2 操作方法

(1) REPORT MANAGER の起動

REPORT MANAGER はスタートメニューもしくはフォルダ中のアイコンから起動します。

スタートメニューもしくはフォルダ中の REPORT MANAGER のアイコンをダブルクリックして起動すると、REPORT MANAGER メイン画面が表示されます。

(2) 印刷設定

サブシステム名の入力や印刷フォーマットの設定を行います。

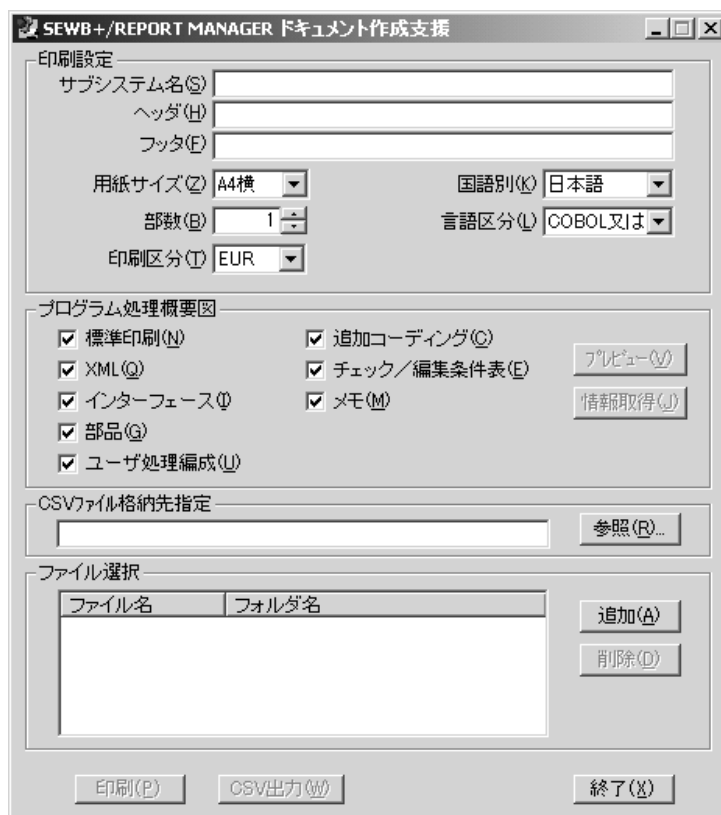


図 2.1-2 REPORT MANAGER メイン画面

- ・サブシステム名、ヘッダ、フッタ
サブシステム名、ヘッダ・フッタを入力して下さい。本入力欄に入力した名称がそのままプログラム処理概要図に出力されます。ヘッダ・フッタは処理概要図の左上と右下にそれぞれ印刷されます。

2. プログラム処理概要図

- ・用紙サイズ, 印刷部数
用紙サイズ, 印刷部数を設定して下さい。
- ・印刷区分
印刷を Excel で行うか, EUR で行うか設定します。どちらも印刷する情報は同じですが, 若干フォーマットが異なります。詳細は「2.2 印刷方式」を参照して下さい。
- ・国語別・言語区分
設定した国語別・言語区分に従い, プログラム処理概要図を出力します。
- ・標準印刷チェックボックス
本チェックボックスをチェックすると, BATCH-FRAMEWORK 対応の標準フォーマットで印刷を行います。詳細は, 「2.2 印刷方式」を参照して下さい。
- ・XML, インターフェース, 部品, ユーザ処理編成, 追加コーディング, チェック/
編集条件表, メモチェックボックス
チェックボックスをチェックすることにより, 該当するドキュメントを印刷します。
印刷する必要がないものは, 未チェックの状態に設定して下さい。
XML, インターフェース, 部品, チェック/編集条件表, メモについてはデータが存在しない場合, チェックボックスをチェックしても何も出力されません。

(3) 印刷ファイルの選択

印刷対象のプログラム定義ファイルを選択します。印刷対象は複数選択することができます。この場合、サブシステム名の設定内容が全てのプログラム処理概要図のサブシステム名の欄に印刷されます。

REPORT MANAGER メイン画面の[追加]ボタン押下によりファイル選択画面が表示されます。



図 2.1-3 ファイルの選択

印刷対象のファイルを選択し、「開く」ボタンを押して下さい。ファイル名の一覧に追加されます。

2. プログラム処理概要図

(4) 印刷プレビュー

プログラム処理概要図を印刷する前に、あらかじめ画面上で印刷内容の確認を行いたい場合、REPORT MANAGER メイン画面の[プレビュー]を押下することにより印刷プレビュー画面が表示されます。

本機能は印刷区分を Excel にした時のみ実行可能です。EUR の場合はプレビューボタンが不活性になり使用することはできません。

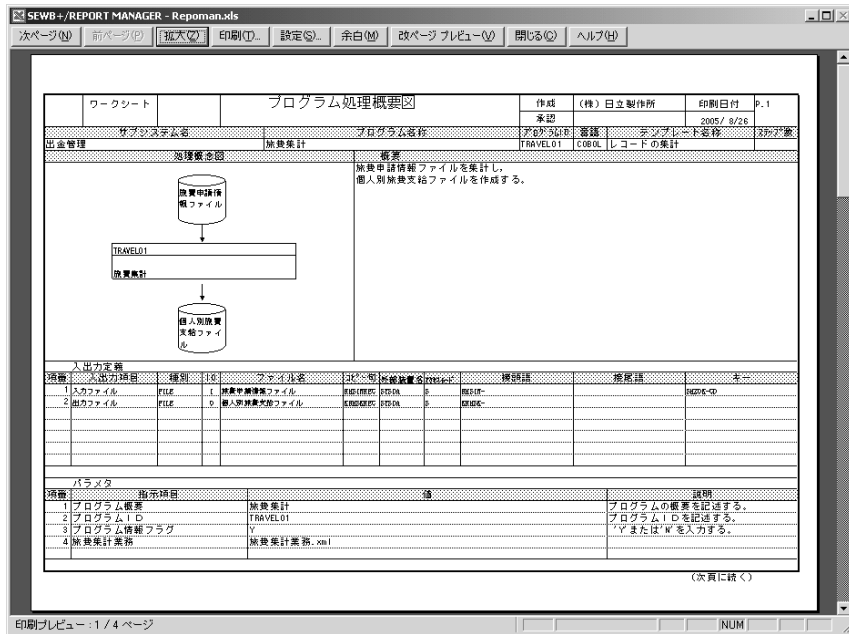


図 2.1-4 印刷プレビュー画面

印刷プレビュー画面の[閉じる]を押下することにより REPORT MANAGER メイン画面に戻ります。

(5) 情報取得

REPORT MANAGER を起動したままの状態では、印刷対象のファイルの修正を行った場合に、REPORT MANAGER メイン画面の[情報取得]を押下する必要があります。

[情報取得]を押下すると、印刷対象として選択されている各ファイルの情報を再度読み込みます。

例えば、プレビューで印刷イメージを確認した結果、プログラム仕様定義の内容を修正する必要があることが判明し、REPORT MANAGER を立ちあげたままの状態では CONSTRUCTION を起動し、修正を行ったとします。この場合、[情報取得]を必ず押下して下さい。押下しない場合、CONSTRUCTION による修正内容が印刷結果に反映されません。

本機能も印刷方式を Excel とした時のみ有効です。EUR の場合は常に最新の CONSTRUCTION の定義情報を印刷します。プレビューボタンと同様に情報取得ボタンは不活性となります。

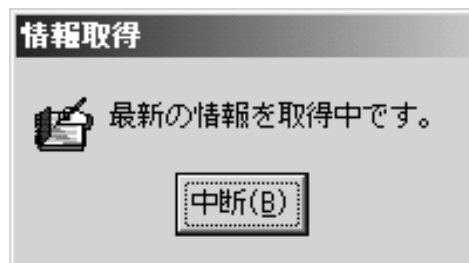


図 2.1-5 情報取得中ダイアログ

(7) エラーダイアログ確認

選択した印刷対象ファイル中に印刷が行えないものがある場合、そのファイル名と理由を一覧ダイアログに表示します。

ここでは、印刷が行えるファイルのみの印刷を行うか、印刷を中止するか選択します。

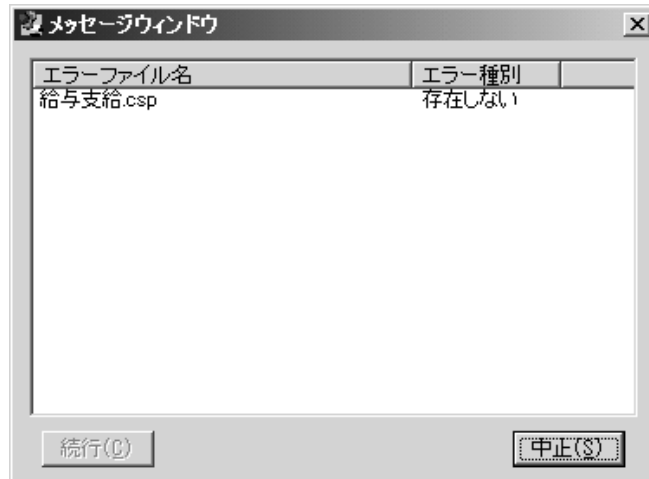


図 2.1-7 エラーダイアログ

- ・印刷続行
印刷を行えるファイルのみ印刷を行う場合は、[続行]を押下します。
- ・印刷中止
印刷を中止して REPORT MANAGER メイン画面に戻る場合は、[中止]を押下します。

(8) CSV 出力

プログラム定義ファイルの情報を帳票形式でCSVファイルに出力します。

CSVファイル格納先指定で、格納先を指定し、CSV出力ボタンを押下します。

(9) 終了

REPORT MANAGER メイン画面の[終了]を押下することにより REPORT MANAGER を終了します。

2 . プログラム処理概要図

2.1.3 環境設定

REPORT MANAGER でプログラム処理概要図を印刷する際、プログラム定義ファイルを読み込みます。この時、プログラム定義中で入出力項目設定を行っている場合、データ定義ファイルの探索パスを設定する必要が有ります。CONSTRUCTION が提供している環境設定ダイアログを用いて環境設定を行って下さい。

操作方法および設定内容については、CONSTRUCTION のマニュアルを参照して下さい。

2.2 印刷方式

REPORT MANAGER では、EUR による印刷と Excel による印刷の 2 通りを提供しています。本節ではそれぞれの印刷内容及びレイアウトを説明します。

2.2.1 EUR による印刷

REPORT MANAGER の印刷方式には、標準印刷と非標準印刷があります。それぞれの方式について説明します。

(1) 標準印刷

BATCH-FRAMEWORK の標準テンプレートに対応した印刷方式です。入出力定義情報を入力項目毎に 1 行ずつ印刷するため、見やすいプログラム処理概要図を印刷することができます。

(a) 標準印刷レイアウト

- ・プログラム概要図の標準印刷レイアウト

標準印刷を使用した場合のプログラム処理概要図の出力結果を図 2.2-1 に示します。

ワークシート		プログラム処理概要図				作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 1
サブシステム名		プログラム名称				アット 3110	国語別 言語	テンプレートの名称	2ページ 数
出金管理		旅費集計				TRAVEL01	日本語	COBOL	レコードの集計
処理概念図					概要				
					旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。				
入出力定義									
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	3110 外部装置名	99999999	接続語	接続語	キー
1	入力ファイル	FILE	I	旅費申請情報ファイル	TRAVEL01	3110	COBOL		3006 CB
2	出力ファイル	FILE	O	個人別旅費支給ファイル	TRAVEL01	3110	COBOL		
パラメタ									
項番	指示項目	値			説明				
1	プログラム種別	旅費集計			プログラムの概要を記述する。				
2	プログラムID	TRAVEL01			プログラムのIDを記述する。				
3	プログラム接続フラグ	I			プログラムの接続フラグを記述する。				
4	旅費集計対象	旅費集計対象 001			旅費集計対象のIDを記述する。				

(次頁に続く)

図 2.2-1 プログラム処理概要図の標準印刷レイアウト

2. プログラム処理概要図

1) プログラム概要

作成者，印刷日付，頁数，サブシステム名，プログラム名称，プログラムID，使用言語，テンプレート名称を印刷します。ステップ数，承認欄は空白となります。

REPORT MANAGER メイン画面で設定したヘッダ，フッタはそれぞれ左上，右下に印刷します。

2) 処理概念図

各入出力項目に設定されたデータ定義種別およびI/O区分から，プログラムの入出力処理の概念図を印刷します。

処理概念図で使用される構成記号を図 2.2-2に示します。

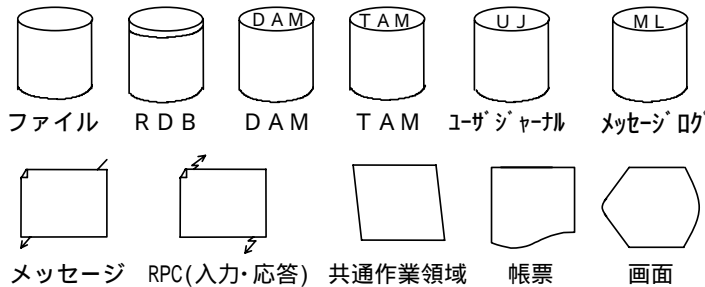


図 2.2-2 入出力項目構成記号

各入出力項目のI/O区分の値と概念図における位置との対応を図 2.2-3に示します。

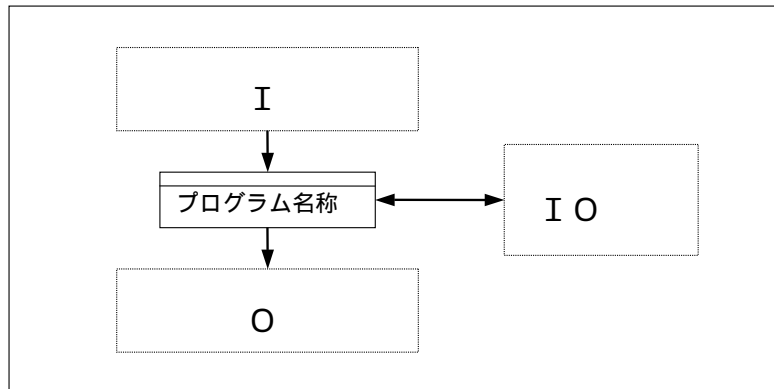


図 2.2-3 I/O区分と概念図との対応

入出力項目のI/O区分がI, O, IO以外の値の場合，その入出力項目は概念図には出力されません。

3) 概要

処理の概要を印刷します。

4) 入出力定義

プログラムで使用する入出力項目の定義内容を印刷します。

標準印刷の入出力定義部は、入出力項目、種別、I O、ファイル名、コピー句、外部装置名、アクセスモード、接頭語、接尾語、キーの10情報からなり、この10情報を1入出力項目毎1行、最大7行まで印刷します。

標準印刷指定時に上記10情報以外の入出力情報があった場合、その情報は印刷されません。

入出力定義情報が無い場合、7行の空欄を出力します。

入出力定義が1頁に入らない場合、入出力定義部右下に「以降別紙参照」と印刷し、以降の入出力定義を別紙に続けて印刷します。

5) パラメタ

プログラム内で使用する、入出力以外の指示項目に関する情報を印刷します。

パラメタ定義は、指示項目名、値、説明からなり、1項目1行、最大5行まで印刷します。

パラメタ定義情報が無い場合、5行の空欄を出力します。

パラメタ定義が1頁に入りきらない場合、パラメタ定義部右下に「以降別紙参照」と印刷し、以降のパラメタ定義を別紙に続けて印刷します。

2. プログラム処理概要図

- XML定義情報の標準印刷レイアウト
XMLファイル名，指示パラメタの指示項目名とその値，および指示パラメタに対する指示パラメタの指示項目名とその値を印刷します。

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 2
XML定義						
XMLファイル名 旅費集計業務.xml						
指示パラメタ						
項番	指示項目	値	指示項目	値		
1	集計	個人				

(次頁に続く)

図 2.2-4 XML定義情報の標準印刷レイアウト

・インターフェース定義情報の標準印刷レイアウト

定義されているインターフェース項目の種類により、オペレーション情報とインターフェース情報のどちらか、または両方を印刷します。

オペレーション情報では、インターフェース名、オペレーション名、論理設計図名、IDLファイル名、オブジェクト名、オペレーションの日本語名、戻り値の型、コメントを出力します。

インターフェース情報では、インターフェース名、論理設計図名、IDLファイル名、オブジェクト名、モジュール名、モジュールの日本語名、ベースインターフェース名を出力します。

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 4
インターフェース定義						
インターフェース項目	オペレーション					
インターフェース名	ExpensesDB					
オペレーション名	BAMOUNT					
論理設計図	旅費集計.dal					
IDLファイル	FareBR.idl					
オブジェクト名	ExpensesDB					
日本語名	日当計算					
戻り値の型	long					
コメント	日当を計算する。ただし最大1万円まで。					
インターフェースパラメタ						
項番	指示項目	値	指示項目	指示パラメタ		

(次頁に続く)

図 2.2-5 インターフェース定義情報の標準印刷レイアウト (オペレーション情報)

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 3
インターフェース定義						
インターフェース項目	インターフェース					
インターフェース名	ExpensesSum					
オペレーション名						
論理設計図	旅費集計.dal					
IDLファイル	FareTotal.idl					
オブジェクト名	ExpensesSum					
モジュール	FareTotalMod					
日本語名	旅費集計					
ベースインターフェース						
インターフェースパラメタ						
項番	指示項目	値	指示項目	指示パラメタ		

(次頁に続く)

図 2.2-6 インターフェース定義情報の標準印刷レイアウト (インターフェース情報)

2. プログラム処理概要図

- 部品定義情報の標準印刷レイアウト

プログラム生成時に生成ソースプログラム中に展開する展開部品名，それらの部品の格納されている部品ファイル名，展開するプロシジャ名，プロシジャに引き渡す引数と値を印刷します。

部品定義情報は，プログラム定義ファイルに部品定義情報が定義されている場合のみ出力します。

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 5
部品定義						
展開部品名 文字列操作						
コメント						
項番	ファイル名	プロシジャ名	引数	値		
1	文字列操作. csr	SUB_STRING_LEFT	I_ITEM	行先名前		
			D_ITEM	行先名上		
			TTL LENG	20		
			OP LENG	10		
2	文字列操作. csr	SUB_STRING_RIGHT	I_ITEM	行先名取		
			D_ITEM	行先名下		
			TTL LENG	20		
			OP LENG	10		

(次頁に続く)

図 2.2-7 部品定義情報の標準印刷レイアウト

・ ユーザ処理情報の標準印刷レイアウト

ユーザ処理編成および追加コーディングは、REPORT MANAGER メイン画面で、ユーザ処理編成チェックボックスをチェックした場合のみ印刷を行います。追加コーディングチェックボックスを未チェックにするとユーザ処理編成のみを出力します。

ユーザ処理は必ず 2 頁目以降に印刷します。

追加コーディング記述のある UOC 定義部は で表示し、記述の無い UOC 定義部は で表示します。また、業務ルールを選択したルール部は で表示し、選択していないルール部は で表示します。

編成のリフォーム前、または処理編成の記述がテンプレートにない場合、ユーザ処理編成は出力しません。

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 6
ユーザ処理					
ユーザ処理編成		追加コーディング			
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>作業領域_UOC >メイン処理 >準備処理 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>準備処理_UOC >入力処理 >レコード集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> >集計前処理 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>集計前処理_UOC >集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> >集計処理 <ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/>集計処理前_UOC <input checked="" type="checkbox"/>集計処理_UOC 		<pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE MOVE 'ERR' TO KAIWA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) MOVE 'EZ011' TO ERR-CD(ERR-IF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-I TO O-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-I TO O-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-I TO O-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE </pre>			

(次頁に続く)

図 2.2-8 ユーザ処理情報の標準印刷レイアウト

- ・メモ情報の標準印刷レイアウト
定義されたメモの内容を印刷します。メモはチェック / 編集条件表の次頁に出力されます。

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 8
メモ					
仕様変更履歴 ・出力ファイル名を「個人別旅費ファイル」から 「個人別旅費支給ファイル」に変更(1996. 6. 1)					

図 2.2-10 メモ情報の標準印刷レイアウト

2. プログラム処理概要図

(b) プログラム処理概要図とCONSTRUCTION, REPOSITORYとの対応
 プログラム処理概要図と CONSTRUCTION, REPOSITORY との対応を表 2.2-1, 表 2.2-2
 に示します。

表 2.2-1 プログラム処理概要図と CONSTRUCTION との対応

項番	項目	プログラム処理概要図 項目名	CONSTRUCTIONにおける データ項目名		備考
			タブ名	項目名	
1	大見出し	作成	サイン	作成者	
2		承認	-	-	空白
3		印刷日付	-	-	システム日付
4		P.	-	-	プログラム内でカウント
5	プログラム定義	サブシステム名	-	-	印刷メイン画面より入力
6		プログラム名称	サイン	名称	
7		プログラムID	パラメタ	プログラムID	
8		言語	サイン	言語	テンプレートより取得
9		テンプレートの名称	-	-	テンプレート名称
10		ステップ数	-	-	空白
11	概要	概要	サイン	概要	
12	入出力定義	入出力項目	入出力	入出力項目	
13		種別	入出力	種別	
14		IO	入出力	区分	
15		ファイル名	入出力	ファイル名	(*1)
16		コピー句	入出力	コピーメンバ名	
17		外部装置名	入出力	外部装置名	
18		アクセスモード	入出力	アクセスモード	
19		接頭語	入出力	接頭語	
20		接尾語	入出力	接尾語	
21		キー	入出力	マッチングキー	(またはロードキー, 集計キー)
22	パラメタ	指示項目	パラメタ	指示項目	
23		値	パラメタ	値	
24		説明	パラメタ	説明	
25	XML定義	XMLファイル名	パラメタ	指示項目	
26		指示項目	パラメタ	指示項目	指示パラメタ
27		値	パラメタ	値	指示パラメタ
28		指示項目	パラメタ	指示項目	指示パラメタ
29		値	パラメタ	値	指示パラメタ
30	インターフェース	インターフェース項目	インターフェース	インターフェース項目	テンプレートより取得
31		IDLファイル	インターフェース	IDLファイル名	
32		インターフェース名	インターフェース	インターフェース名	
33		オペレーション名	インターフェース	オペレーション名	

(次ページへ続く)

(続き)

34	インターフェース	論理設計図	インターフェース	論理設計図	
35		オブジェクト名	インターフェース	-	論理設計図より取得
36		日本語名	インターフェース	-	論理設計図より取得
37		モジュール	インターフェース	-	論理設計図より取得(*2)
38		ベースインターフェース	インターフェース	-	論理設計図より取得(*2)
39		戻り値の型	インターフェース	-	論理設計図より取得(*3)
40		コメント	インターフェース	-	論理設計図より取得(*3)
41		指示項目	インターフェース	指示項目	インターフェースパラメタ
42		値	インターフェース	値	インターフェースパラメタ
43		指示項目	インターフェース	指示項目	指示パラメタ
44		値	インターフェース	値	指示パラメタ
45	部品	展開部品項目	部品	展開部品項目	
46		ファイル名	部品	ファイル名	
47		プロシジャ名	部品	プロシジャ名	
48		引数	部品	引数	
49		値	部品	値	
50	ユーザ処理	ユーザ処理編成	ユーザ処理	ユーザ処理編成	
51		追加コーディング	ユーザ処理	追加コーディング	
52	メモ	メモ	メモ		
53	ヘッダ	ヘッダ	-	-	印刷メイン画面より入力
54	フッタ	フッタ	-	-	印刷メイン画面より入力

(*1) : 標準印刷の場合、データ定義ファイルにおいて定義してあるファイル名を出力します。
非標準印刷の場合、データ定義ファイル名をそのまま出力します。

(*2) : インターフェース項目が「インターフェース」の場合に出力します。

(*3) : インターフェース項目が「オペレーション」の場合に出力します。

2. プログラム処理概要図

表 2.2-2 チェック/編集条件表と CONSTRUCTION , REPOSITORY との対応

項番	項目	CONSTRUCTIONにおける データ項目名		REPOSITORY 項目名	備考
		タブ名	項目名		
1	セクション名	ユーザ処理	ユーザ処理編成		
2	入力項目	ユーザ処理	業務ルール展開設定 適用項目	標準名称	
3	タイプ			言語別詳細属性タイプ	
4	長さ			基本属性 - 桁数	
5	業務ルール名称	ユーザ処理	業務ルール展開設定		
6	出力項目	ユーザ処理	業務ルール展開設定 適用項目	標準名称	
7	タイプ			言語別詳細属性タイプ	
8	長さ			基本属性 - 桁数	

標準印刷の入出力項目は BATCH-FRAMEWORK の標準テンプレート中入出力項目の定義に対応しています。このため、BATCH-FRAMEWORK 使用時には標準印刷を用いることをおすすめます。

表 2.2-3に入出力項目と BATCH-FRAMEWORK のテンプレート中の定義項目との対応を示します。

表 2.2-3 入出力項目と BATCH-FRAMEWORK との対応

項番	入出力項目名	BATCH-FRAMEWORK定義項目名
1	入出力項目	インターフェース名称
2	種別	A T T R
3	I O	I O
4	ファイル名	ファイル名
5	コピー句	コピーメンバ名
6	外部装置名	外部装置名
7	アクセスモード	アクセスモード
8	接頭語	接頭語
9	接尾語	接尾語
10	キー	マッチングキー またはレコードキー名 または集計キー(*)

(*) : これらのキー項目が1つの入出力項目中に複数存在する場合、以下の規則に従います。

- ・ マッチングキーとレコードキー名とが1つの入出力項目に定義してある場合
アクセスモード = Rならレコードキー名の内容を出力します。
アクセスモード Rならマッチングキーの内容を出力します。
- ・ 上記以外の全ての場合
テンプレート中に最初に定義されている項目の内容を印刷します。

2. プログラム処理概要図

(2) 非標準印刷

BATCH-FRAMEWORK の標準テンプレートを使用していない場合、標準印刷では入出力定義情報の全てを印刷することはできません。この場合、非標準印刷を使用します。

非標準印刷を用いることで、入出力定義情報の全てを印刷できます。

(a) 非標準印刷レイアウト

非標準印刷を使用した場合のプログラム処理概要図の出力結果を図 2.2-11に示します。

ワークシート	プログラム処理概要図				作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1
	サブシステム名	プログラム名称		プログラムID	国語	言語	テンプレートの名称	ページ 数
出金管理	処理概念図	旅費集計		TRAVEL01	日本語	COBOL	レコードの集計	
<pre> graph TD A[RISINF1.csd] --> B[TRAVEL01 旅費集計] B --> C[KRISKFL.csd] </pre>				概要 旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。				
入出力定義								
項番	入出力項目	種別	ID	ファイル名	コメント名			
1	入力ファイル	FILE	1	RISINF1.csd	RISINBFC			
	外部装置名	アクセスコード		接続語	集計キー			
	SYMA	S			RISOK-03			
2	出力項目	種別	ID	ファイル名	コメント名			
	出力ファイル	FILE	0	KRISKFL.csd	KRISBFC			
	外部装置名	アクセスコード		接続語				
	SYMA	S						
パラメタ								
項番	指示項目	値		説明				
1	プログラム名	旅費集計		プログラムの概要を記述する。				
2	プログラムのID	TRAVEL01		プログラムのIDを記述する。				
3	プログラムの接続プログラム	S		プログラムの接続プログラムを記述する。				
4	旅費集計書名	旅費集計書名.tbl		旅費集計書の出力先を記述する。				

(次頁に続く)

図 2.2-11 非標準印刷のプログラム処理概要図

1) プログラム概要

標準印刷と同様です。

2) 処理概念図

標準印刷と同様です。

3) 概要

標準印刷と同様です。

4) 入出力定義

プログラムで使用する入出力項目の定義内容を印刷します。定義された順番に全ての情報を左から出力します。1行中に最大5定義情報印刷することができます。

5) パラメタ

標準印刷と同様です。

2. プログラム処理概要図

2.2.2 Excelによる印刷

EURによる印刷フォーマットとほぼ同じです。

ただし以下のドキュメントについてはExcelによる印刷はできません。

- ・XML定義
- ・インターフェース定義
- ・部品定義
- ・チェック/編集条件表

(1) 標準印刷レイアウト

EURによる印刷とほぼ同様なレイアウトです。EURで出力するヘッダ情報とフッタ情報がありません。また、ユーザ処理の余白はメモとして出力しています。

ワークシート		プログラム処理概要図				作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1	
サブシステム名		プログラム名称				プログラムID	言語	テンプレート名称	実行回数	
出金管理		処理概念図	旅費集計			TRAVEL01	COBOL	レコードの集計		
			概要 旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。							
入出力定義										
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	ユーザ	外部装置名	接続名	接続語	接続語	キー
1	入力ファイル	FILE	I	旅費申請情報ファイル	BRISMBDC	SYSTEM	S	BRISV-		SIDOC_CD
2	出力ファイル	FILE	O	個人別旅費支給ファイル	BRISMBDC	SYSTEM	S	BRISK-		
パラメタ										
項番	指示項目	値	説明							
1	プログラム概要	旅費集計	プログラムの概要を記述する。							
2	プログラムID	TRAVEL01	プログラムIDを記述する。							
3	プログラム情報フラグ	Y	"Y"または"N"を入力する。							
4	旅費集計業務	旅費集計業務.xml								

(次頁に続く)

図 2.2-13 Excelによる標準印刷(プログラム処理概要図)

2. プログラム処理概要図

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 3
ユーザ処理					
ユーザ処理編成					
<ul style="list-style-type: none"> ■集計処理_UOC 	追加コーディング <pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE 'ERR' TO KAIWA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) MOVE 'EZ011' TO ERR-CD(ERR-IF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-I TO O-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-MM-I TO O-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-I TO O-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE 'ERR' TO KAIWA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-SYRY-YY-WA' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) MOVE 'EZ011' TO ERR-CD(ERR-IF-COUNT) END-IF END-IF MOVE 34 TO O-CHK-LEN MOVE M-NOKI-NAIYO-I TO O-CHK-AREA </pre>				
○集計処理_RULE	(次頁に続く)				

図 2.2-14 Excel による標準印刷 (ユーザ処理)

ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 4
ユーザ処理					
ユーザ処理編成					
<ul style="list-style-type: none"> □集計処理後_UOC ↳入力処理 ↳集計後処理 ↳集計後処理_UOC ↳出力処理 ↳終了処理 ↳終了処理_UOC 	追加コーディング				
メモ					
仕様変更履歴 ・出力ファイル名を「個人別旅費ファイル」から 「個人別旅費支給ファイル」に変更(1996.6.1)					

図 2.2-15 Excel による標準印刷 (ユーザ処理・メモ)

2. プログラム処理概要図

(a) 改頁規則

標準印刷時のプログラム処理概要図改頁規則について説明します。

1) 入出力定義

1 頁目には 7 行，別紙には 3 6 行出力します。

2) パラメタについて

1 頁目には 5 行，別紙では入出力定義に続いて出力します。1 頁あたりの最大行数は入出力定義とあわせて 3 6 行です。ただし，パラメタ出力開始位置が頁の最終行の場合，その次頁からの出力となります。

3) ユーザ処理の各 U O C 項目について

ユーザ処理の改頁は以下の規則に従います。

- ・ 1 つの U O C 定義内容が頁内に収まる場合，そのまま続けて出力します。
- ・ 1 つの U O C 定義内容が頁内に収まりきらず，かつ 3 6 行以下の場合，次頁の先頭から出力します。
- ・ 1 つの U O C 定義内容が頁内に収まりきらず，かつ 3 7 行以上の場合，現在の頁に続けて出力します。

4) メモについて

メモの内容が頁内に収まらない場合，次の頁に続けて出力します。

(2) 非標準印刷レイアウト

EURによる印刷とほぼ同様なレイアウトですが、入出力定義の1行目を5項目、2行目以降を4項目として出力しています。

ワークシート		プログラム処理概要図			作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1
サブシステム名		プログラム名			承認	言語	2005/ 8/29	テンプレート名
出金管理		旅費振計			TRAVEL01	COBOL	レコードの集計	2行2 数
<p>処理概念図</p> <pre> graph TD A[RISINF1.cs] --> B[TRAVEL01 旅費集計] B --> C[RISINF1.cs] </pre>				<p>概要</p> <p>旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。</p>				
入出力定義								
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	コピーメンバ名			
1	入力ファイル	FILE	I	RISINF1.esd	RISINBEC			
	外部装置名	アクセスモード		接続語	接続語			
	SYSBA	S		RISIN-				
	SHIZOK-CD	集計キー						
パラメタ								
以降別紙参照								
項番	指示項目	値			説明			
1	プログラム概要	旅費集計			プログラムの概要を記述する。			
2	プログラムID	TRAVEL01			プログラムIDを記述する。			
3	プログラム情報フラグ	Y			"Y"または"N"を入力する。			
4	旅費集計業務	旅費集計業務.xml						

図 2.2-16 Excel による非標準印刷

(a) 改頁規則

非標準印刷時のプログラム処理概要図改頁規則について説明します。

1) 入出力定義について

入出力定義の改頁は以下の規則に従います。

- ・ 1 頁目で 1 番目の項目が頁内に収まらない場合、別紙として項番 1 から再度出力します。
- ・ 1 頁目で、2 番目の項目が頁内に収まらない場合、1 頁目には項番 2 の内容は出力せず、別紙として項番 2 を最初から出力します。
- ・ 別紙で、1 つの項番の内容が頁内に収まらず、かつ 3 6 行以内の場合、改頁して次の頁の先頭から出力します。
- ・ 別紙で、1 つの項番の内容が頁内に収まらず、かつ 3 7 行以上の場合、現在の頁にそのまま続けて出力します。

2) パラメタ、ユーザ処理、メモについて

標準印刷と同様です。

2.3 印刷例

この節では、REPORT MANAGER によるプログラム処理概要図の印刷例を示します。ここで示す印刷例はすべて E U R による印刷結果です。

2.3.1 サンプルデータによる標準印刷例

BATCH-FRAMEWORK の標準テンプレートを使用した標準印刷の出力例を示します。

(1) 標準印刷例 1

以下のサンプルによる印刷結果について例をあげて説明します。

- ・標準印刷
- ・XML 定義情報あり
- ・ユーザ処理・メモ印刷を行う。
- ・ユーザ処理あり（集計処理_UOC に 3 5 行の追加コーディング）
- ・メモ記述あり
- ・入出力項目数 2
- ・サブシステム名指定「出金管理」
- ・ヘッダ指定「出金管理」
- ・フッタ指定「TRAVEL01」

(a) CONSTRUCTION定義

BATCH-FRAMEWORK の標準テンプレートを使用した CONSTRUCTION による定義例を示します。



図 2.3-1 CONSTRUCTION 定義例 1 (サインタブ)

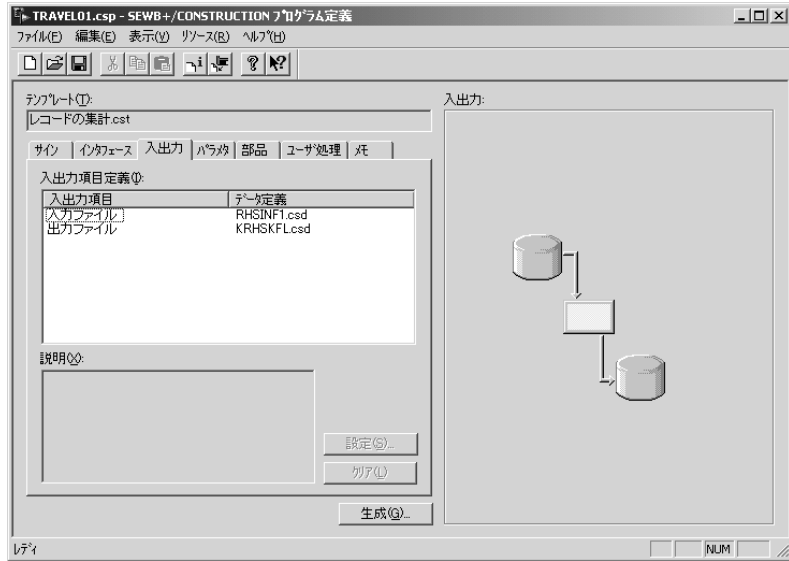


図 2.3-2 CONSTRUCTION 定義例 1 (入出力タブ)



図 2.3-3 CONSTRUCTION 定義例 1 (入力ファイル詳細)

2. プログラム処理概要図



図 2.3-4 CONSTRUCTION 定義例 1 (出力ファイル詳細)

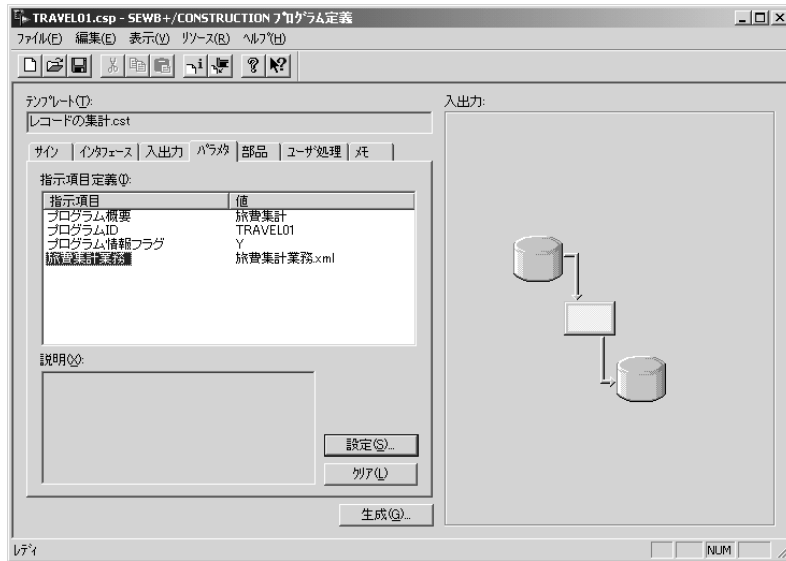


図 2.3-5 CONSTRUCTION 定義例 1 (パラメータタブ)

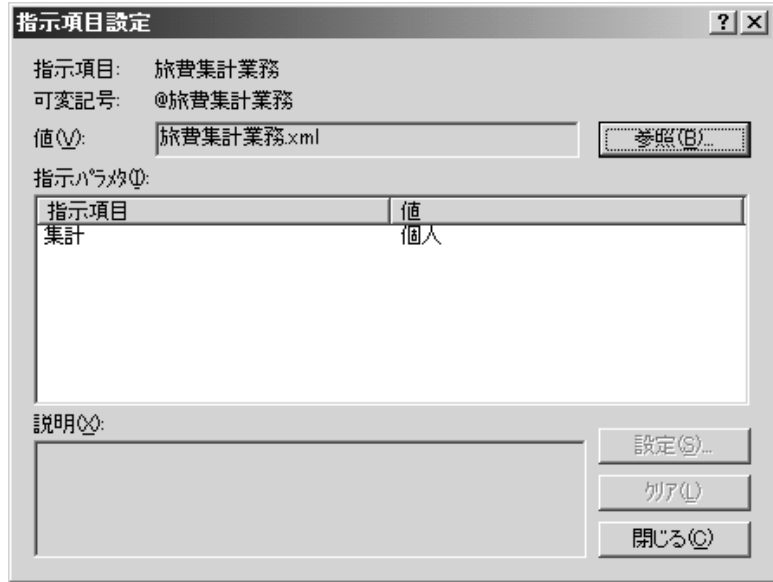


図 2.3-6 CONSTRUCTION 定義例 1 (XML 定義詳細)

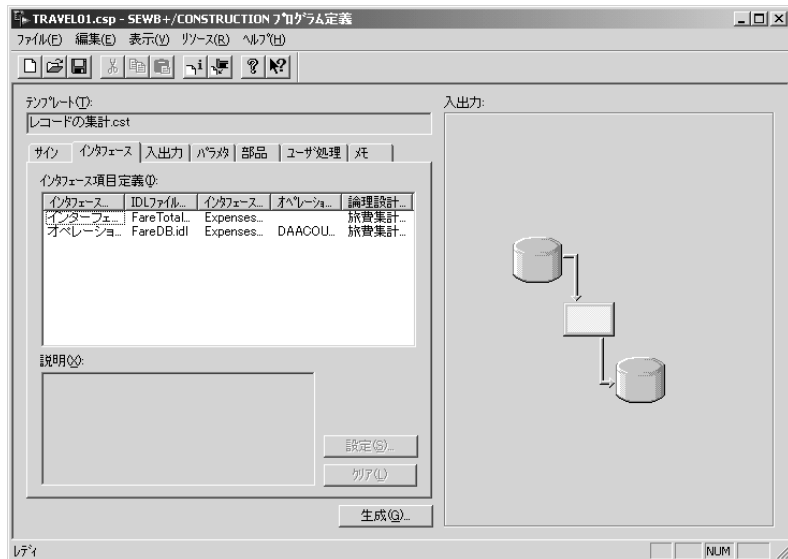


図 2.3-7 CONSTRUCTION 定義例 1 (インターフェースタブ)

2. プログラム処理概要図



図 2.3-8 CONSTRUCTION 定義例 1 (インターフェース定義詳細)

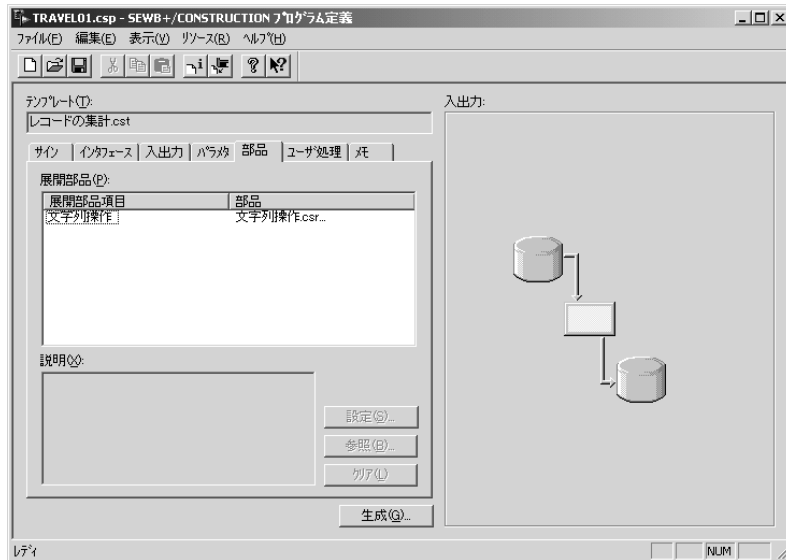


図 2.3-9 CONSTRUCTION 定義例 1 (部品タブ)

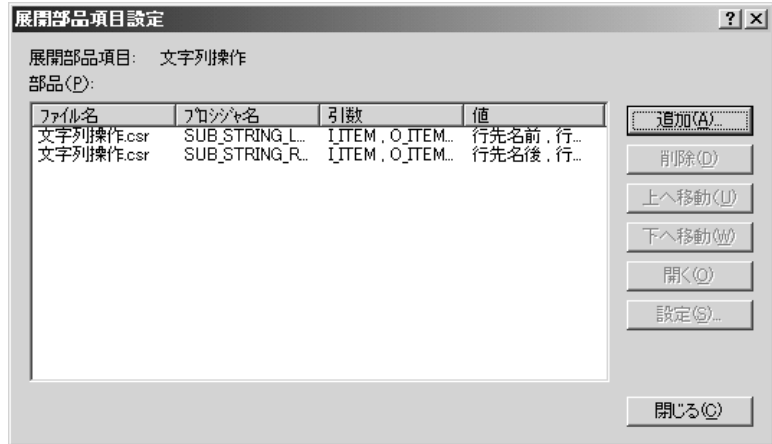


図 2.3-10 CONSTRUCTION 定義例 1 (部品定義詳細)



図 2.3-11 CONSTRUCTION 定義例 1 (ユーザー処理タブ)

2. プログラム処理概要図

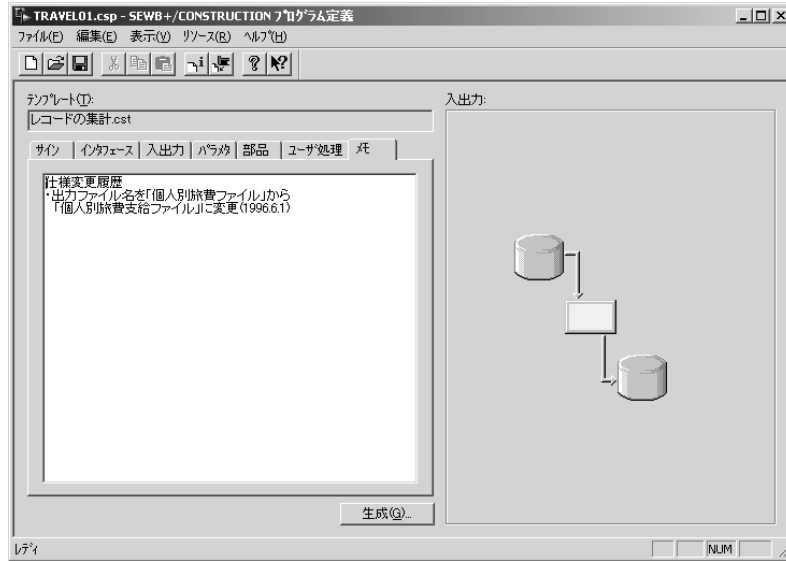


図 2.3-12 CONSTRUCTION 定義例 1 (メモタブ)

(b) REPORT MANAGER設定画面

印刷設定

サブシステム名(S) 出金管理
 ヘッダ(H) 出金管理
 フッタ(F) TRAVEL01

用紙サイズ(Z) A4横 国語別(K) 日本語
 部数(B) 1 言語区分(L) COBOL又は
 印刷区分(T) EUR

プログラム処理概要図

標準印刷(N) 追加コーディング(O)
 XML(Q) チェック/編集条件表(E)
 インターフェースΦ メモ(M)
 部品(G)
 ユーザ処理編成(U)

CSVファイル格納先指定

ファイル選択

ファイル名	フォルダ名
TRAVEL01.csp	E#OSYS#

図 2.3-13 REPORT MANAGER メイン画面

2. プログラム処理概要図

(c) 印刷結果

出金管理		プログラム処理概要図				作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1																					
ワークシート						承認		2005/ 8/29																						
サブシステム名		プログラム名称				ア 07 5410	国語別	言語	テンプレートの名称	行数																				
出金管理		旅費集計				TRAVEL01	日本語	COBOL	レコードの集計																					
処理概念図 					概要 旅費申請情報ファイルを集計し、個人別旅費支給ファイルを作成する。																									
入出力定義																														
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	217-句	外部装置名	ワークシート	接続語	接続語	キー																				
1	入力ファイル	FILE	I	旅費申請情報ファイル	MSISMR2	SYSDA	3	MSISN		SI00K-CD																				
2	出力ファイル	FILE	O	個人別旅費支給ファイル	MSISMR2	SYSDA	3	MSISN																						
パラメタ <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>指示項目</th> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プログラム概要</td> <td>旅費集計</td> <td>プログラムの概要を記述する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>ワークシート名</td> <td>TRAVEL01</td> <td>プログラムのワークシート名。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プログラムの接続フラグ</td> <td>0</td> <td>プログラムの接続フラグ。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>旅費集計業務</td> <td>旅費集計業務.xml</td> <td>プログラムの業務名。</td> </tr> </tbody> </table>											項番	指示項目	値	説明	1	プログラム概要	旅費集計	プログラムの概要を記述する。	2	ワークシート名	TRAVEL01	プログラムのワークシート名。	3	プログラムの接続フラグ	0	プログラムの接続フラグ。	4	旅費集計業務	旅費集計業務.xml	プログラムの業務名。
項番	指示項目	値	説明																											
1	プログラム概要	旅費集計	プログラムの概要を記述する。																											
2	ワークシート名	TRAVEL01	プログラムのワークシート名。																											
3	プログラムの接続フラグ	0	プログラムの接続フラグ。																											
4	旅費集計業務	旅費集計業務.xml	プログラムの業務名。																											
(次頁に続く)																														

TRAVEL01

図 2.3-14 プログラム処理概要図印刷結果 1

出金管理		プログラム処理概要図				作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 2
ワークシート		(TRAVEL01)				承認		2005/ 8/29	
XML定義									
XMLファイル名		旅費集計業務.xml							
指示パラメタ									
項番	指示項目	値	指示項目	値					
1	集計	個人							
(次頁に続く)									

TRAVEL01

図 2.3-15 XML定義情報印刷結果 1

2. プログラム処理概要図

出金管理		ワークシート		プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 3
インターフェース定義									
インターフェース項目	インターフェース								
インターフェース名	ExpensesSum								
オペレーション名									
論理設計図	旅費集計.dal								
IDLファイル	FareTotal.idl								
オブジェクト名	ExpensesSum								
モジュール	FareTotalMod								
日本語名	旅費集計								
ベースインターフェース									
インターフェースパラメタ									
項番	指示項目	値	指示項目	指示パラメタ	値				
(次頁に続く)									

図 2.3-16 インターフェース定義情報 (インターフェース情報) 印刷結果 1

出金管理		ワークシート		プログラム処理概要図 (TRAVEL01)		作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付 2005/ 8/29	P. 4
インターフェース定義									
インターフェース項目	オペレーション								
インターフェース名	ExpensesDB								
オペレーション名	DAMOUNT								
論理設計図	旅費集計.dal								
IDLファイル	FareDB.idl								
オブジェクト名	ExpensesDB								
日本語名	日当計算								
戻り値の型	long								
コメント	日当を計算する。ただし最大1万円まで。								
インターフェースパラメタ									
項番	指示項目	値	指示項目	指示パラメタ	値				
(次頁に続く)									

図 2.3-17 インターフェース定義情報 (オペレーション情報) 印刷結果 1

2. プログラム処理概要図

出倉管理		ワークシート		プログラム処理概要図		作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 5
				(TRAVELO1)		承認		2005/ 8/29	
部品定義									
展開部品名 文字列操作									
コメント									
項番	ファイル名	プロシジャ名	引数	値					
1	文字列操作. csr	SUB_STRING_LEFT	I_ITEM	行先名前					
			O_ITEM	行先名上					
			TTL LENG	20					
2	文字列操作. csr	SUB_STRING_RIGHT	OP LENG	10					
			I_ITEM	行先名後					
			O_ITEM	行先名下					
			TTL LENG	20					
			OP LENG	10					

(次頁に続く)

TRAVELO1

図 2.3-18 部品定義情報印刷結果 1

出倉管理		ワークシート		プログラム処理概要図		作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 6
				(TRAVELO1)		承認		2005/ 8/29	
ユーザ処理									
ユーザ処理編成									
<ul style="list-style-type: none"> <input type="checkbox"/> 作業領域 UOC > <input type="checkbox"/> メイン処理 <ul style="list-style-type: none"> > <input type="checkbox"/> 準備処理 > <input type="checkbox"/> 準備処理 UOC > <input type="checkbox"/> 入力処理 > <input type="checkbox"/> レコード集計処理コントロール > <input type="checkbox"/> 集計前処理 > <input type="checkbox"/> 集計前処理 UOC > <input type="checkbox"/> 集計処理コントロール > <input type="checkbox"/> 集計処理 > <input type="checkbox"/> 集計処理前 UOC > <input checked="" type="checkbox"/> 集計処理 UOC 					追加コーディング				
					<pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE MOVE 'ERR' TO KAIMA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) MOVE 'EZ011' TO ERR-CD(ERR-IF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-I TO O-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-MM-I TO O-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-I TO O-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE </pre>				

(次頁に続く)

TRAVELO1

図 2.3-19 追加コーディング情報印刷結果 1

2. プログラム処理概要図

出倉管理		ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 7
ユーザ処理				承認		2005/ 8/29	
ユーザ処理編成		追加コーディング					
<ul style="list-style-type: none"> ○集計処理_RULE □集計処理後_UOC >入力処理 >集計後処理 □集計後処理_UOC >出力処理 >終了処理 □終了処理_UOC 		<pre> MOVE 'ERR' TO KAIWA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-SYRY-YA' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) MOVE 'EZ011' TO ERR-CD(ERR-IF-COUNT) END-IF END-IF MOVE 34 TO O-CHK-LEN MOVE M-NOKI-NAIYO-I TO O-CHK-AREA </pre>					
(次頁に続く)		TRAVEL01					

図 2.3-20 追加コーディング情報印刷結果 1 (続き)

出倉管理		ワークシート	プログラム処理概要図 (TRAVEL01)	作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 8
メモ				承認		2005/ 8/29	
仕様変更履歴 ・出力ファイル名を「個人別旅費ファイル」から 「個人別旅費支給ファイル」に変更(1996. 6. 1)							
		TRAVEL01					

図 2.3-21 メモ情報印刷結果 1

2. プログラム処理概要図

(2) 標準印刷例 2

以下のサンプルによる印刷結果について例をあげて説明します。

- ・標準印刷
- ・XML定義なし
- ・インターフェース定義なし
- ・部品定義なし
- ・ユーザ処理・メモ・チェック / 編集条件表印刷を行わない。
- ・入出力項目数 9 (別紙有り)
- ・サブシステム名指定「出金管理」

(a) CONSTRUCTION定義



図 2.3-22 CONSTRUCTION 定義例 2 (サインタブ)

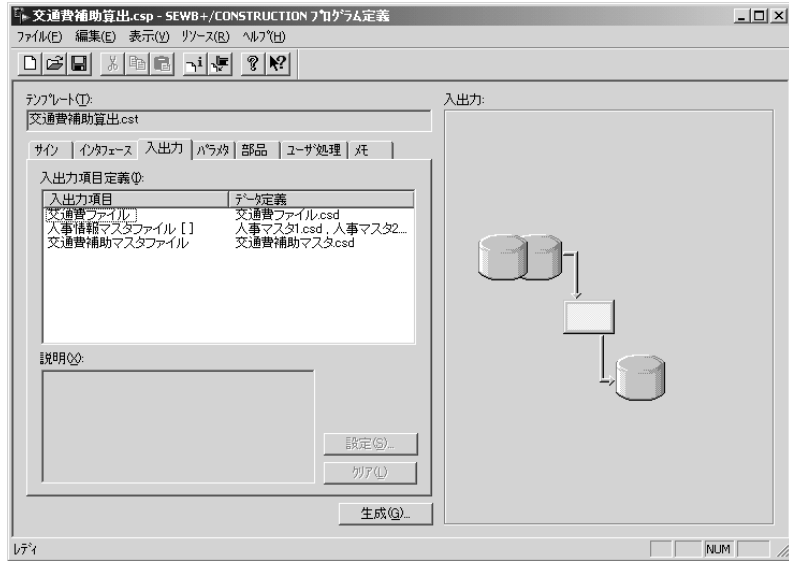


図 2.3-23 CONSTRUCTION 定義例 2 (入出力タブ)

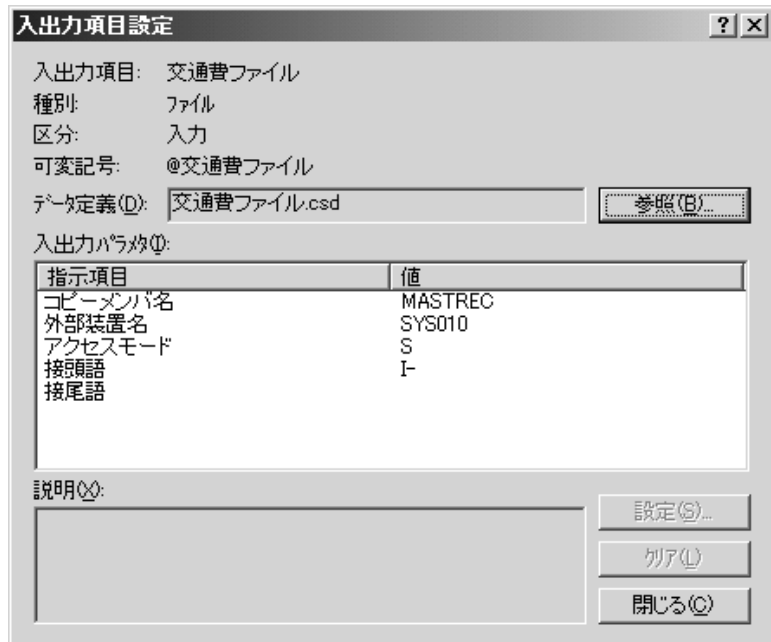


図 2.3-24 CONSTRUCTION 定義例 2 (交通費ファイル詳細)

2. プログラム処理概要図



図 2.3-25 CONSTRUCTION 定義例 2 (人事情報マスタファイル指定)

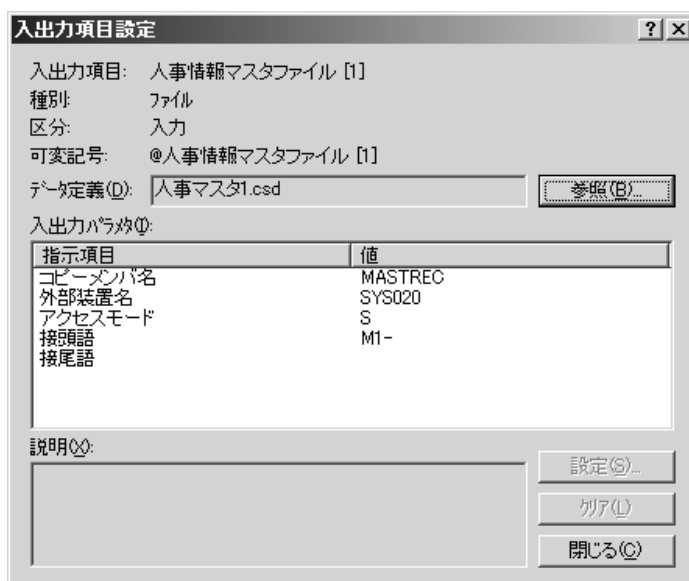


図 2.3-26 CONSTRUCTION 定義例 2 (人事情報マスタファイル詳細)

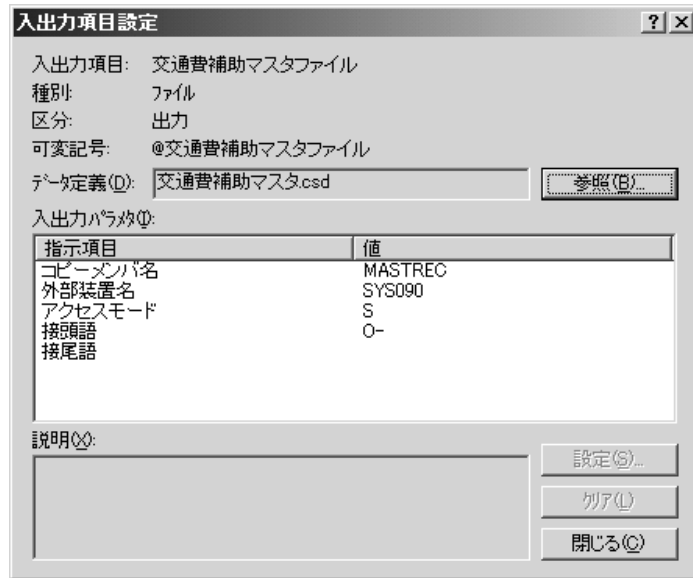


図 2.3-27 CONSTRUCTION 定義例 2 (交通費補助ファイル詳細)

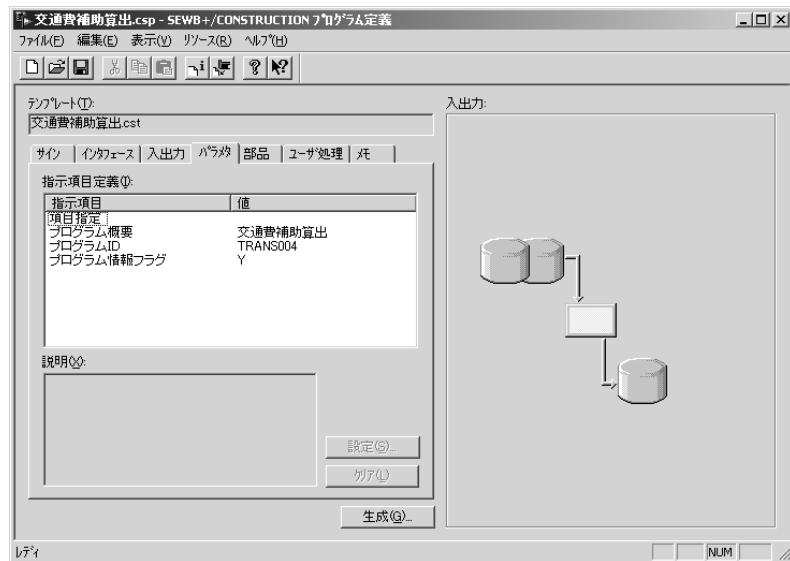


図 2.3-28 CONSTRUCTION 定義例 2 (パラメタタブ)

2. プログラム処理概要図

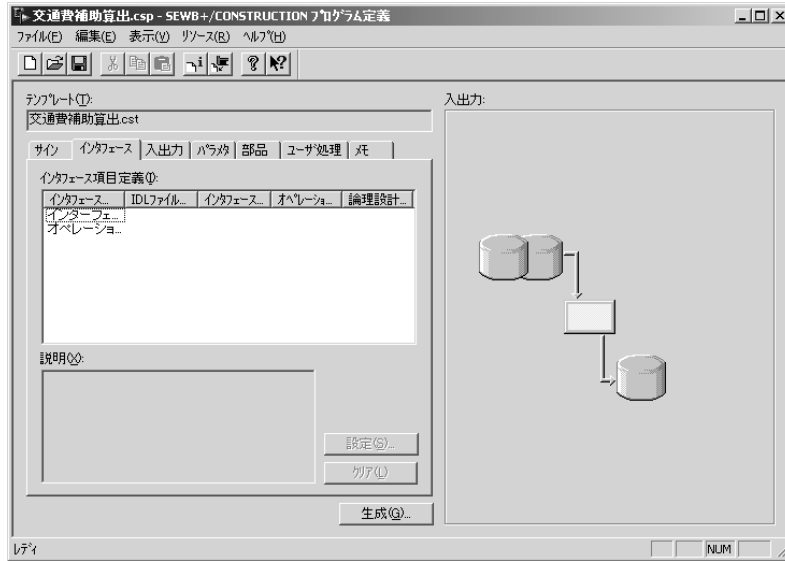


図 2.3-29 CONSTRUCTION 定義例 2 (インターフェースタブ)

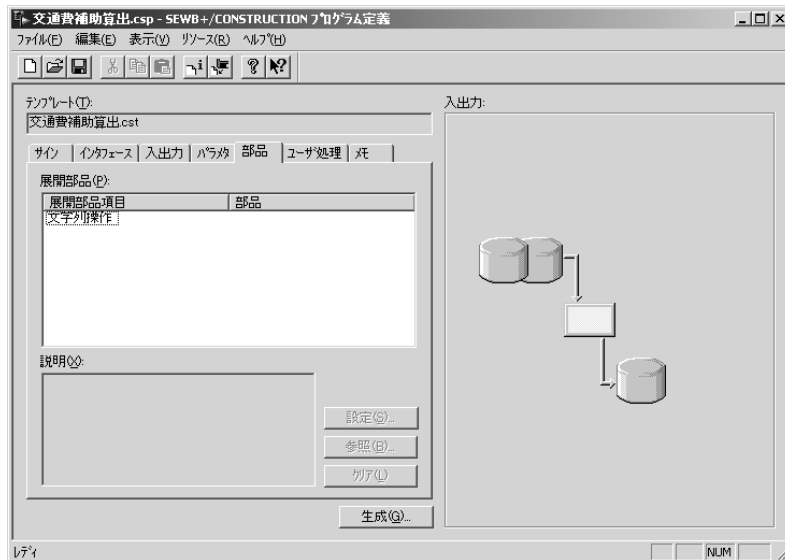


図 2.3-30 CONSTRUCTION 定義例 2 (部品タブ)

(b) REPORT MANAGER設定画面

SEWB+/REPORT MANAGER ドキュメント作成支援

印刷設定

サブシステム名(S) 出金管理

ヘッダ(H)

フッタ(F)

用紙サイズ(Z) A4横

国語別(K) 日本語

部数(B) 1

言語区分(L) COBOL又は

印刷区分(T) EUR

プログラム処理概要図

標準印刷(N) 追加コーディング(O)

XML(Q) チェック/編集条件表(E)

インターフェース(P) メモ(M)

部品(G)

ユーザ処理編成(U)

プレビュー(V)

情報取得(J)

CSVファイル格納先指定

参照(R)...

ファイル選択

ファイル名	フォルダ名
交通費補助算出.c...	E*OSYS#

追加(A)

削除(D)

印刷(P) CSV出力(W) 終了(X)

図 2.3-31 REPORT MANAGER メイン画面

2.3.2 サンプルデータによる非標準印刷例

非標準印刷の印刷例を示します。

(1) 非標準印刷例

以下のサンプルによる印刷結果について例をあげて説明します。

- ・ 非標準印刷
- ・ ユーザ処理・メモ印刷を行う。
- ・ ユーザ処理有り（集計処理_U0C に 3 5 行の追加コーディング）
- ・ メモ記述無し
- ・ 入出力項目数 2
- ・ サブシステム名指定「出金管理」

(a) CONSTRUCTION定義

CONSTRUCTION 定義例は図 2.3-1～図 2.3-11（メモを除く）と同様です。

(b) REPORT MANAGER実行

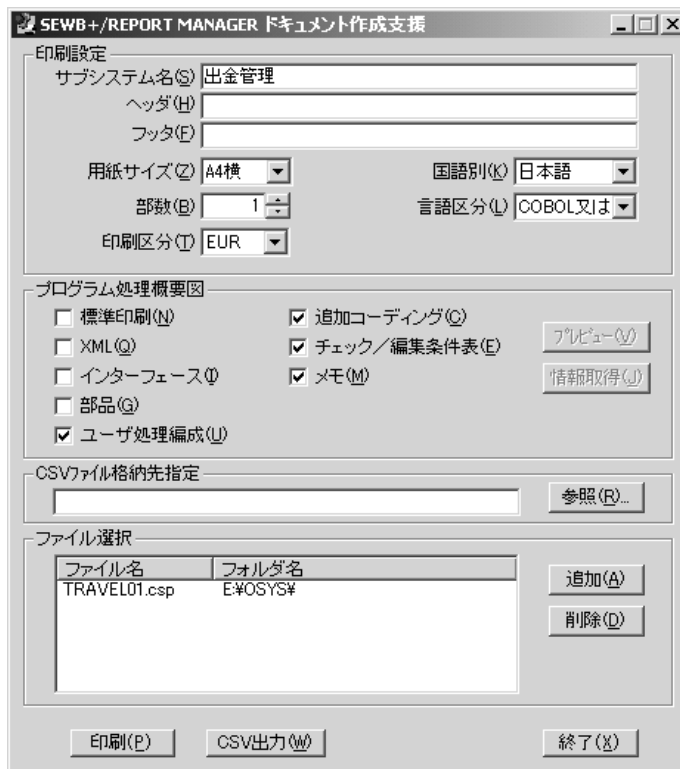


図 2.3-34 REPORT MANAGER メイン画面

2. プログラム処理概要図

(c) 印刷結果

ワークシート		プログラム処理概要図		作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1																																																
サブシステム名		プログラム名称		承認		2005/ 8/29																																																	
出金管理		経費集計		TRAVEL01	英語 日本語	テンプレートの名称	ページ数																																																
処理概念図		<pre> graph TD A[RISINF1.csd] --> B[TRAVEL01 経費集計] B --> C[KRISINF1.csd] </pre>						<p>概要</p> <p>経費申請情報ファイルを集計し、個人別経費支給ファイルを作成する。</p>																																															
<p>入出力定義</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>入出力項目</th> <th>種別</th> <th>ID</th> <th>ファイル名</th> <th>コメント</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>入力ファイル</td> <td>FILE</td> <td>I</td> <td>RISINF1.csd</td> <td>RISINF1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外部処理名</td> <td>アクセスモード</td> <td></td> <td>読取部</td> <td>集計キー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SYSTEM</td> <td>S</td> <td></td> <td>RISIN-</td> <td>SHOW-CD</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>入出力項目</td> <td>種別</td> <td>O</td> <td>ファイル名</td> <td>コメント</td> </tr> <tr> <td></td> <td>出力ファイル</td> <td>FILE</td> <td>O</td> <td>KRISINF1.csd</td> <td>KRISINF1</td> </tr> <tr> <td></td> <td>外部処理名</td> <td>アクセスモード</td> <td></td> <td>読取部</td> <td>集計キー</td> </tr> <tr> <td></td> <td>SYSTEM</td> <td>S</td> <td></td> <td>KRISIN-</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>								項番	入出力項目	種別	ID	ファイル名	コメント	1	入力ファイル	FILE	I	RISINF1.csd	RISINF1		外部処理名	アクセスモード		読取部	集計キー		SYSTEM	S		RISIN-	SHOW-CD	2	入出力項目	種別	O	ファイル名	コメント		出力ファイル	FILE	O	KRISINF1.csd	KRISINF1		外部処理名	アクセスモード		読取部	集計キー		SYSTEM	S		KRISIN-	
項番	入出力項目	種別	ID	ファイル名	コメント																																																		
1	入力ファイル	FILE	I	RISINF1.csd	RISINF1																																																		
	外部処理名	アクセスモード		読取部	集計キー																																																		
	SYSTEM	S		RISIN-	SHOW-CD																																																		
2	入出力項目	種別	O	ファイル名	コメント																																																		
	出力ファイル	FILE	O	KRISINF1.csd	KRISINF1																																																		
	外部処理名	アクセスモード		読取部	集計キー																																																		
	SYSTEM	S		KRISIN-																																																			
<p>パラメタ</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項番</th> <th>指示項目</th> <th>値</th> <th>説明</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>プログラム種別</td> <td>経費集計</td> <td>プログラムの種別を記述する。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>プログラムID</td> <td>TRAVEL01</td> <td>プログラムのIDを記述する。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>プログラム名前プレフィックス</td> <td>T</td> <td>プログラムの名前プレフィックスを記述する。</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>プログラムの名前</td> <td>経費集計処理</td> <td>プログラムの名前を記述する。</td> </tr> </tbody> </table>								項番	指示項目	値	説明	1	プログラム種別	経費集計	プログラムの種別を記述する。	2	プログラムID	TRAVEL01	プログラムのIDを記述する。	3	プログラム名前プレフィックス	T	プログラムの名前プレフィックスを記述する。	4	プログラムの名前	経費集計処理	プログラムの名前を記述する。																												
項番	指示項目	値	説明																																																				
1	プログラム種別	経費集計	プログラムの種別を記述する。																																																				
2	プログラムID	TRAVEL01	プログラムのIDを記述する。																																																				
3	プログラム名前プレフィックス	T	プログラムの名前プレフィックスを記述する。																																																				
4	プログラムの名前	経費集計処理	プログラムの名前を記述する。																																																				

(次頁に続く)

図 2.3-35 プログラム処理概要図印刷結果 3

ワークシート		プログラム処理概要図		作成	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 2				
		(TRAVEL01)		承認		2005/ 8/29					
<p>ユーザ処理</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>ユーザ処理編成</th> <th>追加コーディング</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> <ul style="list-style-type: none"> □作業領域 UOC >メイン処理 <ul style="list-style-type: none"> >準備処理 <ul style="list-style-type: none"> □準備処理_UOC >入力処理 <ul style="list-style-type: none"> >レコード集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> □集計前処理_UOC <ul style="list-style-type: none"> >集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> >集計処理 <ul style="list-style-type: none"> □集計処理前_UOC <ul style="list-style-type: none"> ■集計処理_UOC </td> <td> <pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE MOVE 'ERR' TO KAIMA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' MOVE 'EZ011' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-1 TO 0-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-MM-1 TO 0-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-1 TO 0-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE </pre> </td> </tr> </tbody> </table>								ユーザ処理編成	追加コーディング	<ul style="list-style-type: none"> □作業領域 UOC >メイン処理 <ul style="list-style-type: none"> >準備処理 <ul style="list-style-type: none"> □準備処理_UOC >入力処理 <ul style="list-style-type: none"> >レコード集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> □集計前処理_UOC <ul style="list-style-type: none"> >集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> >集計処理 <ul style="list-style-type: none"> □集計処理前_UOC <ul style="list-style-type: none"> ■集計処理_UOC 	<pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE MOVE 'ERR' TO KAIMA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' MOVE 'EZ011' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-1 TO 0-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-MM-1 TO 0-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-1 TO 0-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE </pre>
ユーザ処理編成	追加コーディング										
<ul style="list-style-type: none"> □作業領域 UOC >メイン処理 <ul style="list-style-type: none"> >準備処理 <ul style="list-style-type: none"> □準備処理_UOC >入力処理 <ul style="list-style-type: none"> >レコード集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> □集計前処理_UOC <ul style="list-style-type: none"> >集計処理コントロール <ul style="list-style-type: none"> >集計処理 <ul style="list-style-type: none"> □集計処理前_UOC <ul style="list-style-type: none"> ■集計処理_UOC 	<pre> IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE MOVE 'ERR' TO KAIMA-ERR-FLG MOVE 'NOKI-KAIS-YY-WA' MOVE 'EZ011' TO ERR-ITEM(ERR-INF-COUNT) END-IF END-IF MOVE M-NOKI-SYRY-YY-WA-1 TO 0-WA-YY MOVE M-NOKI-SYRY-MM-1 TO 0-WA-MM MOVE M-NOKI-SYRY-DD-1 TO 0-WA-DD IF 0-RTN-CD = 'OK' THEN CONTINUE ELSE ADD 1 TO ERR-INF-COUNT IF ERR-INF-COUNT > C-ERR-ITEM-MAX THEN CONTINUE ELSE </pre>										

(次頁に続く)

図 2.3-36 追加コーディング情報印刷結果 3

3 データ定義仕様書

REPORT MANAGER は、CONSTRUCTION が作成したデータ定義ファイルを基に、データ定義の印刷を行います。

この章では、REPORT MANAGER を用いてデータ定義仕様書の印刷を行う際の操作手順及び印刷方式について説明します。

3.1 操作手順

3.2 印刷方式

3.3 印刷例

3.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてデータ定義仕様書の印刷を行う操作の手順を説明します。

3.1.1 操作の流れ

データ定義仕様書の印刷を行う操作の流れを図 3.1-1に示します。

REPORT MANAGER の印刷設定画面で設定したデータ定義ファイルの情報を印刷します。

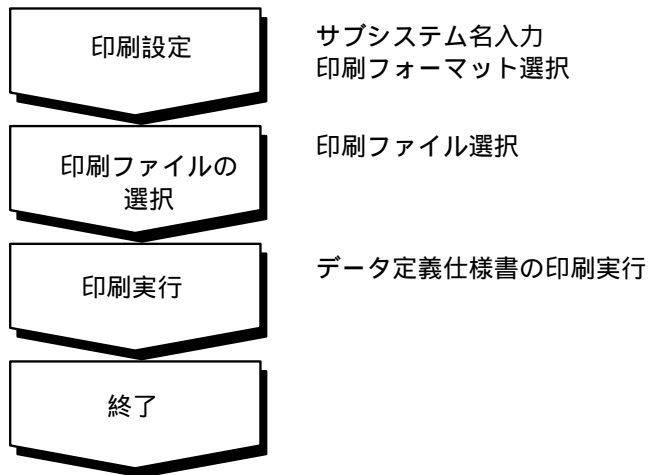


図 3.1-1 データ定義仕様書印刷の操作の流れ

3.1.2 操作方法

(1) REPORT MANAGER の起動

REPORT MANAGER はスタートメニューもしくはフォルダのアイコンから起動します。
 スタートメニューもしくはフォルダ中のアイコンをダブルクリックして起動すると、
 REPORT MANAGER メイン画面が表示されます。

(2) 印刷設定

設定画面はプログラム処理概要図の印刷設定画面と同じです。
 ここでサブシステム名の設定や印刷フォーマットの設定を行います。

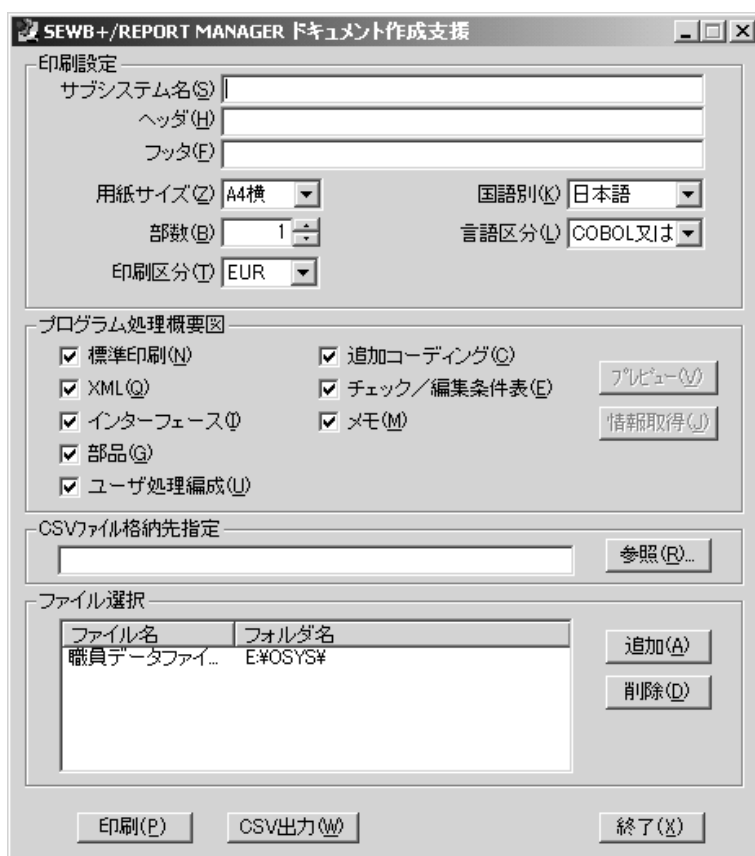


図 3.1-2 REPORT MANAGER メイン画面

3 . データ定義仕様書

- ・サブシステム名，ヘッダ・フッタ
サブシステム名，ヘッダ・フッタを入力して下さい。本入力欄に入力した名称がそのままデータ定義仕様書に出力されます。ヘッダ・フッタはデータ定義仕様書の左上・右下にそれぞれ印刷されます。
- ・用紙サイズ，部数
用紙サイズ，印刷部数を設定して下さい。
- ・印刷区分
データ定義は EUR の印刷となります。選択することはできません。
- ・国語別，言語区分
設定した国語別，言語区分に基づいたデータ項目の情報を印刷します。

(3) 印刷ファイルの選択

印刷対象のデータ定義ファイルを選択します。印刷対象は複数選択することができます。その際、プログラム定義ファイルとデータ定義ファイルなどを混合して選択、印刷することができます。ただし、プログラム処理概要図のチェックボックスはデータ定義仕様書には反映されませんので御注意下さい。

3.2 印刷方式

CONSTRUCTION のデータ定義で定義した情報を印刷します。

入出力情報の名称やキー項目等の定義情報とレコード構造を合わせて印刷しているのでデータ定義で定義した情報を一目で把握することができます。

(1) 出力内容

図 3.2-1にデータ定義仕様書の印刷結果を示します。

ワークシート		データ定義仕様書				作成承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P.1	
サブシステム名			名称			データ定義ファイル名				
国語種別	言語種別	定義種別	ファイル名			ファイル編成				
日本語	COBOL又はDOOCOBOL	ファイル	SHOKIN-FILE			期編成				
項番	標準名称	レベル	データ項目名	タイプ	桁数	小数	反復	辞書	位置	サブ属性
1	職員データ	1	SHOKIN-DATE						1	
2	職員区分	2	SHOKIN-GRP						1	
3	職員氏名	2	SHOKIN-NAME						1	
4	住所コード	2	KYUJYO-INFO CD						1	
5	住所区分	2	KYUJYO-AREA						1	
6	所属労働組別	2	SHOKIN-LABOR-CLASS						1	
7	基本給	2	KYUJYO-BASE						1	
8	調整手当	2	SHOKIN-TEATE						1	

図 3.2-1 データ定義仕様書印刷結果

- ・概要
作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。承認者は常に空白となります。
- ・データ定義情報
 - (a) サブシステム名，国語種別，言語種別
印刷設定画面で設定したサブシステム名，国語別，言語区分をそれぞれサブシステム名，国語種別，言語種別として印刷します。
 - (b) 各種定義情報
データ定義の種類により定義内容は変わります。各種定義情報の定義内容を表 3.2-1に示します。

3 . データ定義仕様書

表 3.2-1 各種定義情報

データ定義	定義種別	定義内容	レコード構造
ファイル情報	File	ファイル名, ファイル編成	最上位結合項目 または レコード定義
RDB情報	RDB	表名称	
DAM情報	DAM	DAM名称, 入出力ブロックサイズ	
TAM情報	TAM	テーブル名称, キー定義	
RPC入力パラメタ情報	RPC入力パラメタ		
RPC応答領域情報	RPC応答領域		
メッセージ情報	メッセージ		
ユーザジャーナル情報	ユーザジャーナル	コード	
メッセージログ情報	メッセージログ		
共通作業領域情報	共通作業領域		

(c) レコード構造

指定した最上位結合項目またはレコード定義の構成を一覧として印刷します。

印刷設定画面にて設定した言語区分に基づき REPOSITORY の言語別詳細属性の標準名称, データ項目名, タイプ, 桁数, 小数, 反復, サブ属性を構成図として印刷します。

標準名称は, 最上位結合項目またはレコード定義でデータ項目辞書を参照しているデータ項目は REPOSITORY より取得し, それ以外のデータ項目はデータ定義ファイルより取得します。データ定義ファイルより取得する場合, 印刷設定画面で設定した国語種別は反映されず, 「日本語」の標準名称を取得します。

レベルは最上位結合項目の場合はデータ定義の生成時のレベル番号で定義した通りにレベルを付加し, レコード定義の場合はレコード定義で設定したレベルをそのまま出力します。

位置はタイプ, 桁数により算出します。再定義した項目が存在しない場合は位置には「*」を表示します。

辞書, サブ属性で表示される内容を表 3.2-2, 表 3.2-3に示します。

表 3.2-2 辞書の表示内容

定義内容	最上位結合項目	レコード定義
リポジトリを参照しているデータ項目	参照項目	参照項目
上記データ項目の構成項目	参照項目	構成項目
レコード定義で追加したデータ項目		空白

表 3.2-3 サブ属性の表示内容

項番	サブ属性項目	サブ属性	
		区分	詳細
1	編集文字列	Z	指定値
2	初期値	V	
3	指標名 ^{*1}	I	
4	可変反復回数項目名 ^{*1}	D	
5	可変反復回数最小値 ^{*1}	O	
6	アドレス名 ^{*1}	A	
7	再定義名 ^{*1}	R	
8	EXTERNAL 句 ^{*1}	E	EXT
9	SYNC 句 ^{*1}		SYNC
10	JUST 句 ^{*1}		JUST
11	BLANK WHEN ZERO 句 ^{*1}		BLANK

(*1) : レコード構造にレコード定義ファイルを指定している場合に出力します。

3.3 印刷例

この節では，REPORT MANAGER によるデータ定義仕様書の印刷例を示します。

(1) REPORT MANAGER メイン画面

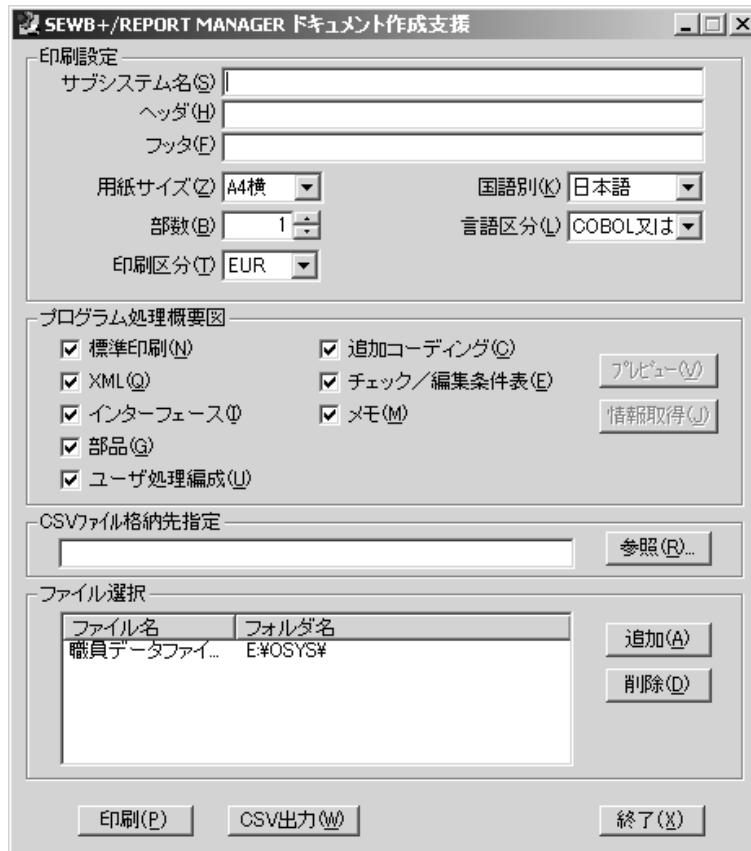


図 3.3-1 REPORT MANAGER メイン画面

(2) 印刷対象データ定義ファイル

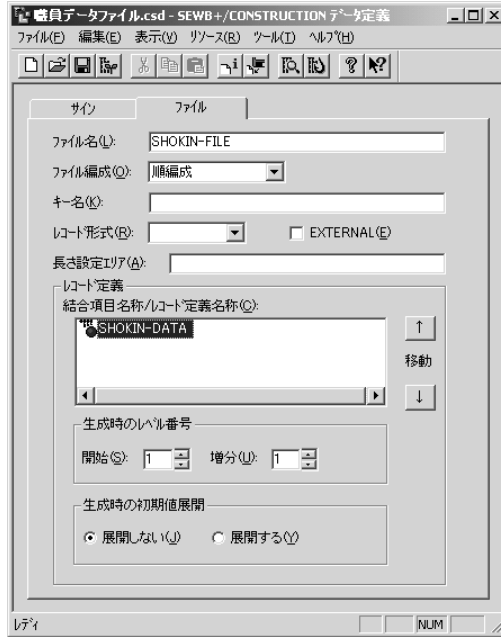


図 3.3-2 データ定義ファイル

(3) 印刷結果

ワークシート		データ定義仕様書			作成 承認	(株) 日立製作所	印刷日付	P. 1	
サブシステム名				名称			データ定義ファイル名		
国語種別	言語種別	定義種別	ファイル名	職員データ		職員データファイル.csd			
日本語	COBOL又はDOOCOBOL	ファイル	SHOKIN-FILE	ファイル名		階編成	ファイル編成	レコード長	
項番	標準名称	レベル	データ項目名	桁数	小数	反復	録書	位置	サブ属性
1	職員データ	1	SHOKIN-DATA	9	0	1	1	1	
2	職員番号	2	SHOKIN-NO	9	0	1	1	1	
3	職員氏名	3	SHOKIN-NAME	50	0	1	1	1	
4	勤務地コード	4	KUJIKUJIDOC	9	0	1	1	1	
5	勤務地名称	5	KUJIKUJINAME	9	0	1	1	1	
6	所属内勤部署名	6	SENGI-BAW-JIKAN	9	0	1	1	1	
7	氏名	7	KUJIKUJINAME	9	0	1	1	1	
8	勤務地	8	SHOKIN-DO	9	0	1	1	1	

注: 欄内: 編集文字列(D), 初期値(V), 欄番号(I), 可変反復回数(0), 可変反復回数(0), 可変反復回数(0), アドレス名(A), 再定義名(R), EXTERNAL(OBT) (J) (SYN) (SYN) (BLANK) (W) (BLANK) (0) (0)

図 3.3-3 データ定義仕様書印刷結果

4 レコード定義仕様書

REPORT MANAGER は、RECORD DEFINER が作成したレコード定義ファイルを基に、レコード定義の印刷を行います。

この章では、REPORT MANAGER を用いてレコード定義仕様書の印刷を行う際の手順及び印刷方式について説明します。

4.1 操作手順

4.2 印刷方式

4.3 印刷例

4.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてレコード定義仕様書の印刷を行う操作の手順を説明します。

4.1.1 操作の流れ

レコード定義仕様書の印刷を行う操作の流れを図 4.1-1に示します。

REPORT MANAGER の印刷設定画面で設定したレコード定義ファイルの情報を印刷します。

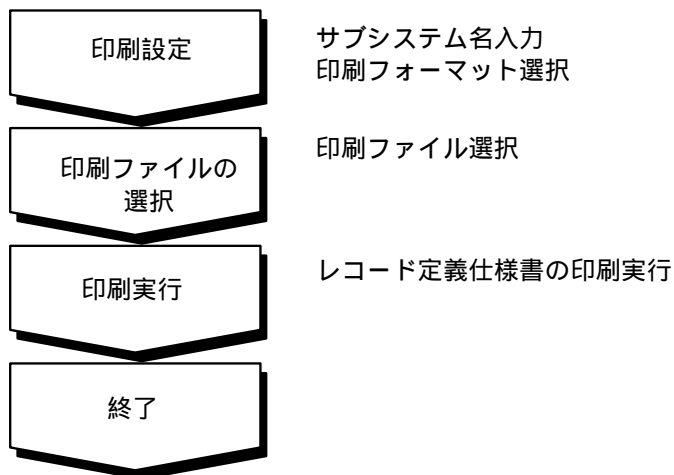


図 4.1-1 レコード定義仕様書印刷の操作の流れ

4.1.2 操作方法

(1) REPORT MANAGER の起動

REPORT MANAGER はスタートメニューもしくはフォルダのアイコンから起動します。
 スタートメニューもしくはフォルダ中のアイコンをダブルクリックして起動すると、
 REPORT MANAGER メイン画面が表示されます。

(2) 印刷設定

設定画面はプログラム処理概要図の印刷設定画面と同じです。
 ここでサブシステム名の設定や印刷フォーマットの設定を行います。

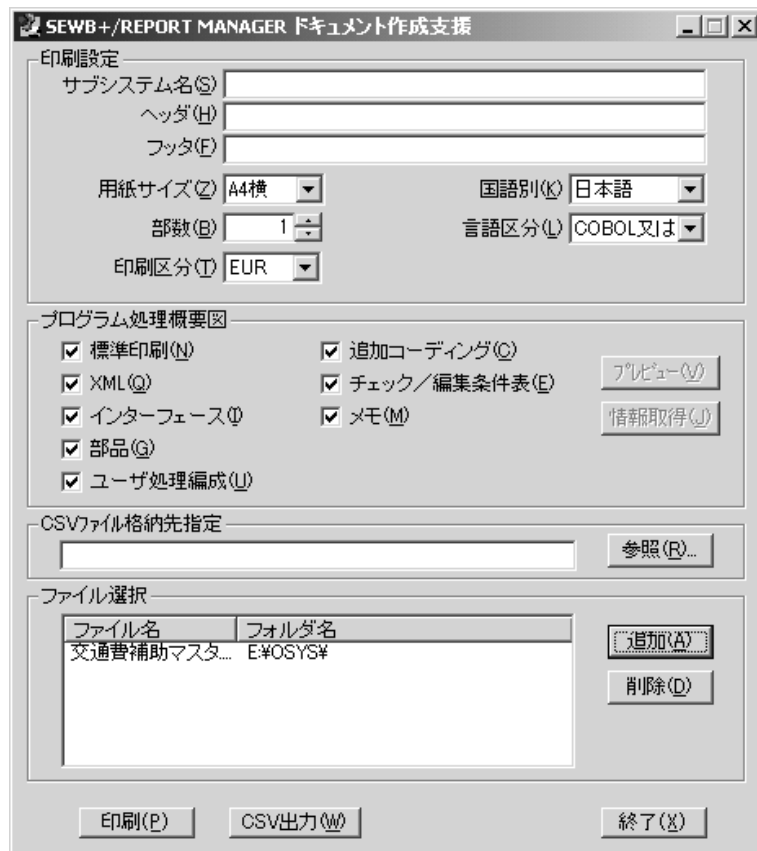


図 4.1-2 REPORT MANAGER メイン画面

4 . レコード定義仕様書

- ・サブシステム名，ヘッダ・フッタ
サブシステム名，ヘッダ・フッタを入力して下さい。本入力欄に入力した名称がそのままレコード定義仕様書に出力されます。ヘッダ・フッタはレコード定義仕様書の左上・右下にそれぞれ印刷されます。
- ・用紙サイズ，部数
用紙サイズ，印刷部数を設定して下さい。
- ・印刷区分
レコード定義は EUR の印刷となります。選択することはできません。
- ・国語別，言語区分
設定した国語別，言語区分に基づいたデータ項目の情報を印刷します。

(3) 印刷ファイルの選択

印刷対象のレコード定義ファイルを選択します。印刷対象は複数選択することができます。その際，プログラム定義ファイルとレコード定義ファイルなどを混合して選択，印刷することができます。ただし，プログラム処理概要図のチェックボックスはレコード定義仕様書には反映されませんので御注意下さい。

4.2 印刷方式

RECORD DEFINER で定義した情報を印刷します。

レコード構造の構成情報を一覧として印刷しているため、定義した情報を一目で把握することができます。

(1) 出力内容

図 4.2-1にレコード定義仕様書の印刷結果を示します。

ワークシート		レコード定義仕様書							作成	印刷日付	P. 1
		国語種別		言語種別		レコード定義ファイル名			承認	2005/ 9/ 6	
サブシステム名		日本語		COBOL又は2000COBOL		交通費補助システム			c.cob		レコード長
		データ項目名		タグ	桁数	小数	反復	始位置	位置	143	
項番	標準名称	レベル	データ項目名	タグ	桁数	小数	反復	始位置	位置	サブ属性	
1	姓書申請コード	1	ESTRFORM	1	9			1	9		参照項目
2	所属コード	2	SEORG_CD	2	9			10	18		参照項目
3	姓	3	NAME	3	2			19	20		参照項目
4	姓	4	NAME	4	2			21	22		参照項目
5	姓	5	NAME	5	2			23	24		参照項目
6	姓	6	NAME	6	2			25	26		参照項目
7	姓	7	NAME	7	2			27	28		参照項目
8	姓	8	NAME	8	2			29	30		参照項目
9	姓	9	NAME	9	2			31	32		参照項目
10	姓	10	NAME	10	2			33	34		参照項目
11	姓	11	NAME	11	2			35	36		参照項目
12	姓	12	NAME	12	2			37	38		参照項目
13	姓	13	NAME	13	2			39	40		参照項目
14	姓	14	NAME	14	2			41	42		参照項目
15	姓	15	NAME	15	2			43	44		参照項目
16	姓	16	NAME	16	2			45	46		参照項目
17	姓	17	NAME	17	2			47	48		参照項目
18	姓	18	NAME	18	2			49	50		参照項目
19	姓	19	NAME	19	2			51	52		参照項目
20	姓	20	NAME	20	2			53	54		参照項目
21	姓	21	NAME	21	2			55	56		参照項目
22	姓	22	NAME	22	2			57	58		参照項目
23	姓	23	NAME	23	2			59	60		参照項目
24	姓	24	NAME	24	2			61	62		参照項目
25	姓	25	NAME	25	2			63	64		参照項目
26	姓	26	NAME	26	2			65	66		参照項目
27	姓	27	NAME	27	2			67	68		参照項目
28	姓	28	NAME	28	2			69	70		参照項目
29	姓	29	NAME	29	2			71	72		参照項目
30	姓	30	NAME	30	2			73	74		参照項目
31	姓	31	NAME	31	2			75	76		参照項目
32	姓	32	NAME	32	2			77	78		参照項目
33	姓	33	NAME	33	2			79	80		参照項目
34	姓	34	NAME	34	2			81	82		参照項目
35	姓	35	NAME	35	2			83	84		参照項目
36	姓	36	NAME	36	2			85	86		参照項目
37	姓	37	NAME	37	2			87	88		参照項目
38	姓	38	NAME	38	2			89	90		参照項目
39	姓	39	NAME	39	2			91	92		参照項目
40	姓	40	NAME	40	2			93	94		参照項目
41	姓	41	NAME	41	2			95	96		参照項目
42	姓	42	NAME	42	2			97	98		参照項目
43	姓	43	NAME	43	2			99	100		参照項目
44	姓	44	NAME	44	2			101	102		参照項目
45	姓	45	NAME	45	2			103	104		参照項目
46	姓	46	NAME	46	2			105	106		参照項目
47	姓	47	NAME	47	2			107	108		参照項目
48	姓	48	NAME	48	2			109	110		参照項目
49	姓	49	NAME	49	2			111	112		参照項目
50	姓	50	NAME	50	2			113	114		参照項目
51	姓	51	NAME	51	2			115	116		参照項目
52	姓	52	NAME	52	2			117	118		参照項目
53	姓	53	NAME	53	2			119	120		参照項目
54	姓	54	NAME	54	2			121	122		参照項目
55	姓	55	NAME	55	2			123	124		参照項目
56	姓	56	NAME	56	2			125	126		参照項目
57	姓	57	NAME	57	2			127	128		参照項目
58	姓	58	NAME	58	2			129	130		参照項目
59	姓	59	NAME	59	2			131	132		参照項目
60	姓	60	NAME	60	2			133	134		参照項目
61	姓	61	NAME	61	2			135	136		参照項目
62	姓	62	NAME	62	2			137	138		参照項目
63	姓	63	NAME	63	2			139	140		参照項目
64	姓	64	NAME	64	2			141	142		参照項目
65	姓	65	NAME	65	2			143	144		参照項目

図 4.2-1 レコード定義仕様書印刷結果

- ・概要
 - 作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。承認者は常に空白となります。
- ・レコード定義情報
 - (a) サブシステム名，国語種別，言語種別
 - 印刷設定画面で設定したサブシステム名，国語別，言語区分をそれぞれサブシステム名，国語種別，言語種別として印刷します。

4 . レコード定義仕様書

(b) レコード構造

RECORD DEFINER で定義したレコード構造の構成を一覧として印刷します。

印刷設定画面にて設定した言語区分に基づき REPOSITORY の言語別詳細属性の標準名称、レベル、データ項目名、タイプ、桁数、小数、反復、サブ属性が構成図として印刷されます。

標準名称は、データ項目辞書を参照しているデータ項目は REPOSITORY より取得し、それ以外のデータ項目はレコード定義ファイルより取得します。レコード定義ファイルより取得する場合、印刷設定画面で設定した国語種別は反映されず、「日本語」の標準名称を取得します。

位置はタイプ、桁数により算出します。再定義した項目が存在しない場合は位置には「*」を表示します。

辞書、サブ属性に表示される内容はレコード構造にレコード定義を指定した場合のデータ定義仕様書と同様です。

4.3 印刷例

この節では、REPORT MANAGER によるレコード定義仕様書の印刷例を示します。

(1) REPORT MANAGER メイン画面

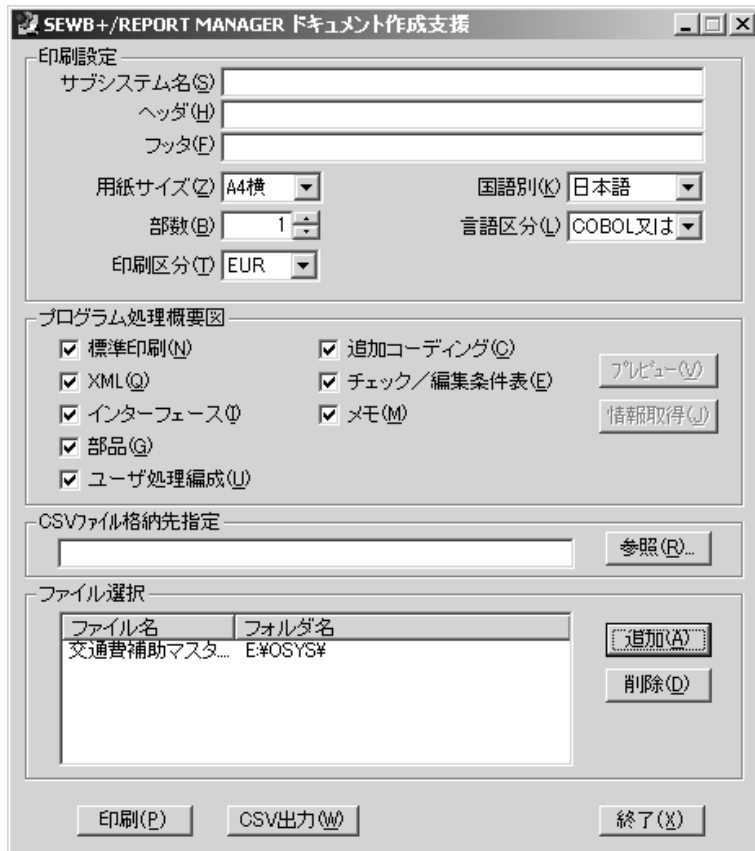


図 4.3-1 REPORT MANAGER メイン画面

4. レコード定義仕様書

(2) 印刷対象レコード定義ファイル



図 4.3-2 レコード定義ファイル

(3) 印刷結果

ワークシート		レコード定義仕様書				作成	印刷日付	P. 1		
						承認	2005 / 9 / 6			
サブシステム名		国語種別	言語種別	レコード定義ファイル名		レコード長				
		日本語	COBOL又はOOCOBOL	交通費補助システム.csc		143				
項番	標準名称	タイプ	データ項目名	タイプ	桁数	小数	反復	録書	位置	サブ属性
1	旅費申請コード	1	ESTM008							参照項目
2	所属コード	2	SHOOK-CD	X	6				1	構成項目
3	款	2	KAN	X	2				2	構成項目
4	項	2	KOU	X	2				3	構成項目
5	目	2	MOKU	X	2				4	構成項目
6	節	2	SETU	X	2				5	構成項目
7	細節	2	SAISETU	X	2				6	構成項目
8	説明	2	SETUMEI	X	2				7	構成項目
9	科目名称	2	KANAK-NAME	X	60				8	構成項目
10	見様額	2	NTMK-GK	9	13				9	構成項目
11	査定額1	2	STI-GK-1	9	13				10	構成項目
12	査定額2	2	STI-GK-2	9	13				11	構成項目
13	査定額3	2	STI-GK-3	9	13				12	構成項目
14	査定額4	2	STI-GK-4	9	13				13	構成項目

図 4.3-3 レコード定義仕様書印刷結果

5 コード表

REPORT MANAGER は、CODE-DESIGN が作成したコード定義ファイルを基に、コード表の印刷を行います。

この章では、REPORT MANAGER を用いてコード表の印刷を行う際の操作手順及び印刷方式について説明します。

5.1 操作手順

5.2 印刷方式

5.3 印刷例

5.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてコード表の印刷を行う操作の手順を説明します。

5.1.1 操作の流れ

コード表の印刷を行う操作の流れを図 5.1-1に示します。

REPORT MANAGER の印刷設定画面で設定したコード定義ファイルの情報を印刷します。

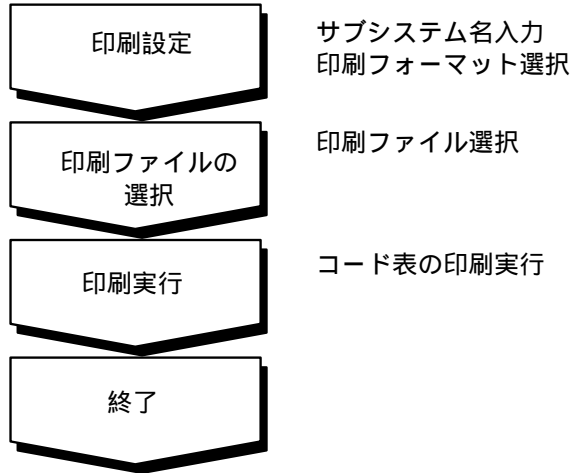


図 5.1-1 コード表印刷の操作の流れ

5.1.2 操作方法

(1) REPORT MANAGER の起動

REPORT MANAGER はスタートメニューもしくはフォルダのアイコンから起動します。
 スタートメニューもしくはフォルダ中のアイコンをダブルクリックして起動すると、
 REPORT MANAGER メイン画面が表示されます。

(2) 印刷設定

設定画面はプログラム処理概要図やデータ定義仕様書の印刷設定画面と同じです。
 ここで対象コード表ファイルや印刷フォーマットの設定を行います。

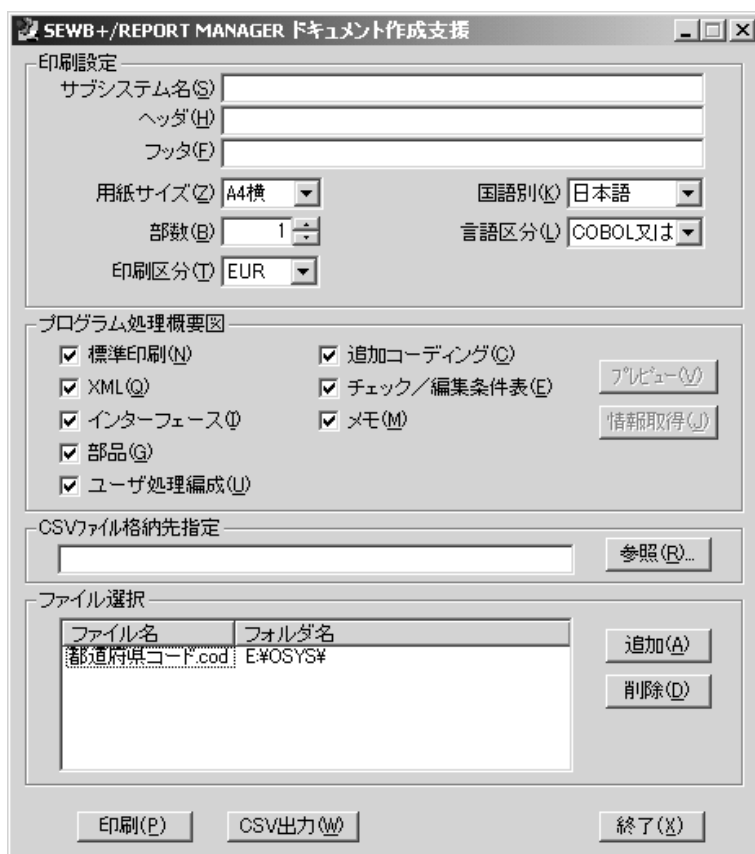


図 5.1-2 REPORT MANAGER メイン画面

5 . コード表

- ・ヘッダ・フッタ
ヘッダ・フッタを入力して下さい。本入力欄に入力した名称がそのままコード表の左上・右下にそれぞれ印刷されます。サブシステム名は入力しても反映されませんのでご注意ください。
- ・用紙サイズ，部数
用紙サイズ，印刷部数を設定して下さい。画面上では用紙サイズが横となっていますが，印刷は縦になります。
- ・印刷区分
コード表は EUR による印刷が C S V ファイルの出力となります。EXCEL での印刷は対応していません。
- ・国語別，言語区分
設定に関わらず，国語別を「日本語」，言語区分を「COBOL」で印刷します。

(3) 印刷ファイルの選択

印刷対象のコード表ファイルを選択します。印刷対象は複数選択することができます。その際，プログラム定義ファイルとデータ定義ファイル，コード表ファイルを混合して選択，印刷することができます。ただし，プログラム処理概要図のチェックボックスはコード表には反映されませんので御注意下さい。

5.2 印刷方式

CODE-DESIGN で定義した情報を印刷します。

コードテーブル名称や、生成するサブルーチン名称をコード表の定義情報とあわせて印刷しているので、定義した情報を一目で把握することができます。

(1) 印刷条件の設定を行う

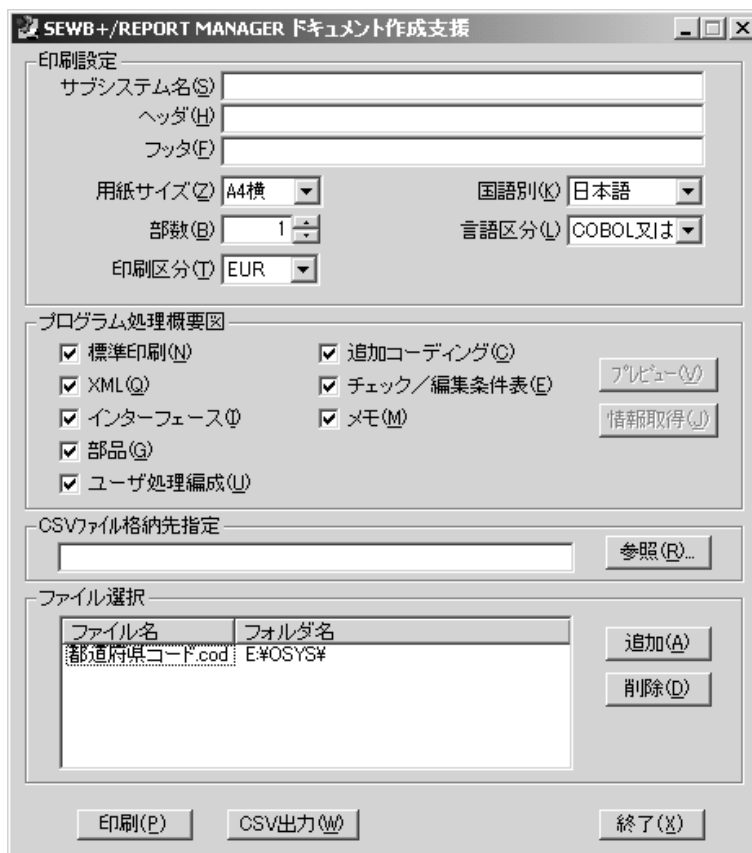


図 5.2-1 印刷条件設定画面

- ・用紙サイズ・印刷部数
用紙サイズ・印刷部数を設定します。用紙サイズはA 4 縦・B 4 縦・A 3 縦から選択できます。画面上ではA 4 横・B 4 横・A 3 横の中から選択します。
- ・出力方法
コード表を印刷するか、CSVファイルに出力するかを選択します。CSVファイルに出力する場合、格納先も設定する必要があります。

5 . コード表

(2) 印刷

印刷条件設定画面で「印刷」を選択して実行すると、定義したコード表が印刷されます。印刷フォーマットは固定キー形式で定義したコード表に対応するものと、可変キー形式で定義したコード表に対応するものの2種類を提供しています。

CODE-DESIGN で定義する時に生成条件として設定したキー項目の形式に従い、印刷します。

(a) 固定キー形式

1 番最初に定義した項目をキーとするコード表を印刷する場合に使用します。

ワークシート		コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P. 1/6
				承認			2005年 8月31日	
コードテーブル日本語名称	都道府県コードテーブル		コメント					
コードテーブル記号名称	TDFKTBL		都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。					
サブテーブル日本語名称	都道府県コード変換サブテーブル							
サブテーブル記号名称	TDFKSUB							
インタフェース日本語名称	都道府県コード変換インタフェース							
インタフェース記号名称	TDFKINF							
	1			2				
日本語項目名	都道府県コード			都道府県名				
記号項目名	TDFK-CD			TDFK-NN				
データ種別	X			N				
データ長	2			5				
1	01		北海道					
2	02		青森県					
3	03		岩手県					
4	04		宮城県					
5	05		秋田県					
6	06		山形県					
7	07		福島県					
8	08		茨城県					
9	09		栃木県					
10	10		群馬県					
11	11		埼玉県					
12	12		千葉県					
13	13		東京都					
14	14		神奈川県					
15	15		新潟県					
16	16		富山県					
17	17		石川県					
18	18		福井県					
19	19		山梨県					
20	20		長野県					
21	21		岐阜県					
22	22		静岡県					
23	23		愛知県					
24	24		三重県					
25	25		滋賀県					
26	26		京都府					
27	27		大阪府					
28	28		兵庫県					
29	29		奈良県					
30	30		和歌山県					

図 5.2-2 固定キー形式

1) 見出し

名称指定画面で定義した生成ソースの名称及びコメントが出力されます。コード変換サブルーチン・インタフェーステーブル・コードテーブルのそれぞれ記号名称と日本語名称が出力されます。

2) 定義情報

コード表編集画面で定義した形で出力されます。2項目 / 頁単位に表示され、1項目の項目には必ずキー項目の情報が表示されます。また1頁目には30行のデータが出力され、それ以降は2頁目以降に出力されます。2頁目以降はコードテーブルの名称のみが見出しとして出力されます。

(b) 可変キー形式

コード変換サブルーチン実行時にインタフェースに設定された値の項目をキーとするコード表を印刷する場合に使用します。

ワークシート		コード表		作成	日立 太郎	印刷日付	P. 1/4
				承認		2005年 8月31日	
コードテーブル日本語名称	都道府県コードテーブル	コメント					
コードテーブル記号名称	TDFKTBL	都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。					
コードテーブル日本語名称	都道府県コード変換テーブル						
コードテーブル記号名称	TDFKSUB						
コードテーブル日本語名称	都道府県コード変換テーブル						
コードテーブル記号名称	TDFKINF						
	1	2	3				
日本語項目名	都道府県コード	都道府県名	県庁所在地コード				
記号項目名	TDFK-CD	TDFK-NM	KNTY-CD				
フィールド	X	N	X				
フィールド数	2	5	5				
1	01	北海道	01100				
2	02	青森県	02201				
3	03	岩手県	03201				
4	04	宮城県	04100				
5	05	秋田県	05201				
6	06	山形県	06201				
7	07	福島県	07201				
8	08	茨城県	08201				
9	09	栃木県	09201				
10	10	群馬県	10201				
11	11	埼玉県	11201				
12	12	千葉県	12100				
13	13	東京都	13104				
14	14	神奈川県	14100				
15	15	新潟県	15201				
16	16	富山県	16201				
17	17	石川県	17201				
18	18	福井県	18201				
19	19	山梨県	19201				
20	20	長野県	20201				
21	21	岐阜県	21201				
22	22	静岡県	22201				
23	23	愛知県	23100				
24	24	三重県	24201				
25	25	滋賀県	25201				
26	26	京都府	26100				
27	27	大阪府	27100				
28	28	兵庫県	28100				
29	29	奈良県	29201				
30	30	和歌山県	30201				

図 5.2-3 可変キー形式

1) 見出し

固定キー形式と同様に、名称指定画面で定義した生成ソースの名称及びコメントが出力されます。コード変換サブルーチン・インタフェーステーブル・コードテーブルのそれぞれ記号名称と日本語名称が出力されます。

2) 定義情報

コード表編集画面で定義した形で出力されます。3項目/頁単位に表示されます。また1頁目には30行のデータが出力され、それ以降は2頁目以降に出力されます。2頁目以降はコードテーブルの名称のみが見出しとして出力されます。

5.3 印刷例

CODE-DESIGN で定義したコード表と，そのコード表を固定キー形式，可変キー形式で印刷した例を示します。

(1) CODE-DESIGN で定義したコード表

都道府県コードテーブル.cod - SEWB+/CODE-DESIGN

ファイル(F) 編集(E) 挿入(I) 設定(O) ヘルプ(H)

名称指定(N) コード表編集(C)

テーブル名称: 都道府県コードテーブル

	1	2	3	4
日本語項目名	都道府県コ	都道府県名	県庁所在地	県庁所在地
記号項目名	TDFK-CD	TDFK-NM	KNTY-CD	KNTY-NM
データ型	X	N	X	N
データ長	2	5	5	5
1	01	北海道	01100	札幌市
2	02	青森県	02201	青森市
3	03	岩手県	03201	盛岡市
4	04	宮城県	04100	仙台市
5	05	秋田県	05201	秋田市
6	06	山形県	06201	山形市
7	07	福島県	07201	福島市

説明:コード表を定義してください。 CAPS 2005/08/31 11:50

図 5.3-1 CODE-DESIGN で定義したコード表

(2) 固定キー形式印刷例

P . 1

ワークシート		コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P	1/6	
				承認			2005年 8月31日			
トド付#日本語名称	都道府県コードトド付#			コメント						
トド付#記号名称	TDFKTEL			都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。						
付#日本語名称	都道府県コード変換付#付									
付#記号名称	TDFKSUB									
付#日本語名称	都道府県コード変換付#付									
付#記号名称	TDFKINF									
		1		2						
日本語項目名	都道府県コード			都道府県名						
記号項目名	TDFK-CD			TDFK-NM						
付#付#	X			N						
付#表	2			5						
1	01	北海道								
2	02	青森県								
3	03	岩手県								
4	04	宮城県								
5	05	秋田県								
6	06	山形県								
7	07	福島県								
8	08	茨城県								
9	09	栃木県								
10	10	群馬県								
11	11	埼玉県								
12	12	千葉県								
13	13	東京都								
14	14	神奈川県								
15	15	新潟県								
16	16	富山県								
17	17	石川県								
18	18	福井県								
19	19	山梨県								
20	20	長野県								
21	21	岐阜県								
22	22	静岡県								
23	23	愛知県								
24	24	三重県								
25	25	滋賀県								
26	26	京都府								
27	27	大阪府								
28	28	兵庫県								
29	29	奈良県								
30	30	和歌山県								

P . 3

ワークシート		コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P	3/6	
				承認			2005年 8月31日			
トド付#日本語名称	都道府県コードトド付#			コメント						
トド付#記号名称	TDFKTEL			都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。						
付#日本語名称	都道府県コード変換付#付									
付#記号名称	TDFKSUB									
付#日本語名称	都道府県コード変換付#付									
付#記号名称	TDFKINF									
		1		3						
日本語項目名	都道府県コード			県庁所在地コード						
記号項目名	TDFK-CD			KNFY-CD						
付#付#	X			X						
付#表	2			5						
1	01	01100								
2	02	02201								
3	03	03201								
4	04	04100								
5	05	05201								
6	06	06201								
7	07	07201								
8	08	08201								
9	09	09201								
10	10	10201								
11	11	11201								
12	12	12100								
13	13	13104								
14	14	14100								
15	15	15201								
16	16	16201								
17	17	17201								
18	18	18201								
19	19	19201								
20	20	20201								
21	21	21201								
22	22	22201								
23	23	23100								
24	24	24201								
25	25	25201								
26	26	26100								
27	27	27100								
28	28	28100								
29	29	29201								
30	30	30201								

P . 2

ワークシート		コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P	2/6	
		(都道府県コードトド付#)		承認			2005年 8月31日			
		1		2						
日本語項目名	都道府県コード			都道府県名						
記号項目名	TDFK-CD			TDFK-NM						
付#付#	X			N						
付#表	2			5						
31	31	鳥取県								
32	32	島根県								
33	33	岡山県								
34	34	広島県								
35	35	山口県								
36	36	徳島県								
37	37	香川県								
38	38	愛媛県								
39	39	高知県								
40	40	福岡県								
41	41	佐賀県								
42	42	長崎県								
43	43	熊本県								
44	44	大分県								
45	45	宮崎県								
46	46	鹿児島県								
47	47	沖縄県								

P . 4

ワークシート		コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P	4/6	
		(都道府県コードトド付#)		承認			2005年 8月31日			
		1		3						
日本語項目名	都道府県コード			県庁所在地コード						
記号項目名	TDFK-CD			KNFY-CD						
付#付#	X			X						
付#表	2			5						
31	31	31201								
32	32	32201								
33	33	33201								
34	34	34100								
35	35	35201								
36	36	36201								
37	37	37201								
38	38	38201								
39	39	39201								
40	40	40100								
41	41	41201								
42	42	42201								
43	43	43201								
44	44	44201								
45	45	45201								
46	46	46201								
47	47	47201								

図 5.3-2 コード表 (固定キー形式) 印刷例

5.コード表

(3) 可変キー形式印刷例

P. 1

ワークシート	コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P. 1/4
	(都道府県コードトナブル)		承認			2005年 8月31日	
トナブル4日本語名称	都道府県コードトナブル		コメント				
トナブル4記号名称	TDFKTBL		都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。				
7桁の日本語名称	都道府県コード 変換7桁の						
7桁の記号名称	TDFKSUB						
10桁の日本語名称	都道府県コード 変換10桁の						
10桁の記号名称	TDFKINF						
日本語項目名	1	2	3				
都道府県コード	都道府県名	都道府県名	県庁所在地コード				
記号項目名	TDFK-CD	TDFK-NM	KNTY-CD				
1→桁長	X	N	X				
1→桁長	2	5	5				
1	01	北海道	01100				
2	02	青森県	02201				
3	03	岩手県	03201				
4	04	宮城県	04100				
5	05	秋田県	05201				
6	06	山形県	06201				
7	07	福島県	07201				
8	08	茨城県	08201				
9	09	栃木県	09201				
10	10	群馬県	10201				
11	11	埼玉県	11201				
12	12	千葉県	12100				
13	13	東京都	13104				
14	14	神奈川県	14100				
15	15	新潟県	15201				
16	16	富山県	16201				
17	17	石川県	17201				
18	18	福井県	18201				
19	19	山梨県	19201				
20	20	長野県	20201				
21	21	岐阜県	21201				
22	22	静岡県	22201				
23	23	愛知県	23100				
24	24	三重県	24201				
25	25	滋賀県	25201				
26	26	京都府	26100				
27	27	大阪府	27100				
28	28	兵庫県	28100				
29	29	奈良県	29201				
30	30	和歌山県	30201				

P. 3

ワークシート	コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P. 3/4
	(都道府県コードトナブル)		承認			2005年 8月31日	
トナブル4日本語名称	都道府県コードトナブル		コメント				
トナブル4記号名称	TDFKTBL		都道府県コードを入力し、対応する都道府県名と都道府県庁所在地を取得する。				
7桁の日本語名称	都道府県コード 変換7桁の						
7桁の記号名称	TDFKSUB						
10桁の日本語名称	都道府県コード 変換10桁の						
10桁の記号名称	TDFKINF						
日本語項目名	4						
都道府県名	県庁所在地						
記号項目名	KNTY-NM						
1→桁長	N						
1→桁長	5						
1	札幌市						
2	青森市						
3	盛岡市						
4	仙台市						
5	秋田市						
6	山形市						
7	福島市						
8	水戸市						
9	宇都宮市						
10	前橋市						
11	浦和市						
12	千葉市						
13	東京都						
14	横浜市						
15	新潟市						
16	富山市						
17	金沢市						
18	福井市						
19	甲府市						
20	長野市						
21	岐阜市						
22	静岡市						
23	名古屋市						
24	津市						
25	大津市						
26	京都市						
27	大阪市						
28	神戸市						
29	奈良市						
30	和歌山市						

P. 2

ワークシート	コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P. 2/4
	(都道府県コードトナブル)		承認			2005年 8月31日	
日本語項目名	1	2	3				
都道府県コード	都道府県名	都道府県名	県庁所在地コード				
記号項目名	TDFK-CD	TDFK-NM	KNTY-CD				
1→桁長	X	N	X				
1→桁長	2	5	5				
31	31	鳥取県	31201				
32	32	島根県	32201				
33	33	岡山県	33201				
34	34	広島県	34100				
35	35	山口県	35201				
36	36	徳島県	36201				
37	37	香川県	37201				
38	38	愛媛県	38201				
39	39	高知県	39201				
40	40	福岡県	40100				
41	41	佐賀県	41201				
42	42	長崎県	42201				
43	43	熊本県	43201				
44	44	大分県	44201				
45	45	宮崎県	45201				
46	46	鹿児島県	46201				
47	47	沖縄県	47201				

P. 4

ワークシート	コード表		作成	日立	太郎	印刷日付	P. 4/4
	(都道府県コードトナブル)		承認			2005年 8月31日	
日本語項目名	4						
都道府県名	県庁所在地						
記号項目名	KNTY-NM						
1→桁長	N						
1→桁長	5						
31	鳥取市						
32	松江市						
33	岡山市						
34	広島市						
35	山口市						
36	徳島市						
37	高松市						
38	松山市						
39	高崎市						
40	福岡市						
41	佐賀市						
42	長崎市						
43	熊本市						
44	大分市						
45	宮崎市						
46	鹿児島市						
47	那覇市						

図 5.3-3 コード表 (可変キー形式) 印刷例

6 論理設計図

REPORT MANAGER は、CS-DESIGN が作成した論理設計図ファイルを基に、論理設計図情報の印刷を行います。

この章では、REPORT MANAGER を用いて論理設計図情報の印刷を行う際の操作手順及び印刷方式について説明します。

6.1 操作手順

6.2 印刷方式

6.3 印刷例

6.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いて論理設計図情報の印刷を行う操作の手順を説明します。

6.1.1 操作の流れ

論理設計図情報の印刷を行う操作の流れを図 6.1-1に示します。

REPORT MANAGER の印刷設定画面で設定した論理設計図ファイルの情報を印刷します。

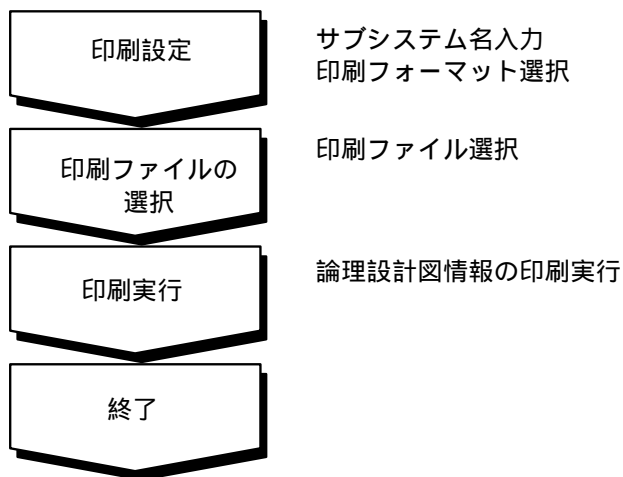


図 6.1-1 論理設計図情報印刷の操作の流れ

6.1.2 操作方法

(1) REPORT MANAGER の起動

REPORT MANAGER はスタートメニューもしくはフォルダのアイコンから起動します。
 スタートメニューもしくはフォルダ中のアイコンをダブルクリックして起動すると、
 REPORT MANAGER メイン画面が表示されます。

(2) 印刷設定

設定画面は、プログラム処理概要図やデータ定義仕様書の印刷設定画面と同じです。
 ここで印刷フォーマットの設定を行います。

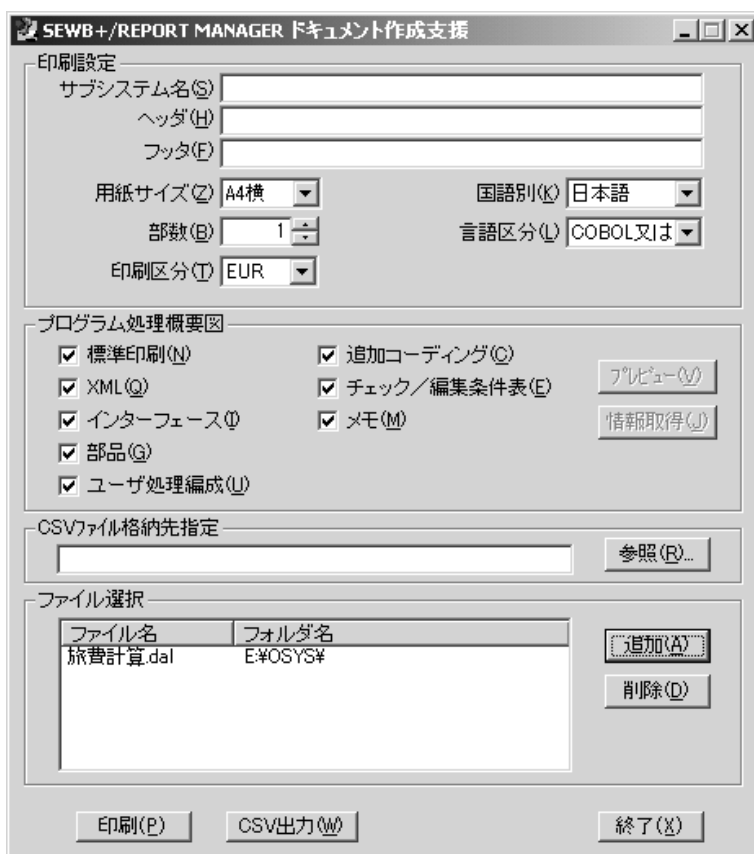


図 6.1-2 REPORT MANAGER メイン画面

6 . 論理設計図

- ・ヘッダ・フッタ
ヘッダ・フッタを入力して下さい。本入力欄に入力した名称がそのまま論理設計図情報の左上・右下にそれぞれ印刷されます。サブシステム名は入力しても反映されませんのでご注意ください。
- ・用紙サイズ, 部数
用紙サイズ, 印刷部数を設定して下さい。
- ・印刷区分
論理設計図情報は EUR による印刷か C S V ファイルの出力となります。EXCEL での印刷は対応していません。
- ・国語別, 言語区分
設定に関わらず, 国語別を「日本語」, 言語区分を「COBOL」で印刷します。

(3) 印刷ファイルの選択

印刷対象の論理設計図ファイルを選択します。印刷対象は複数選択することができます。その際、プログラム定義ファイルとデータ定義ファイル、論理設計図ファイルを混合して選択、印刷することができます。ただし、プログラム処理概要図のチェックボックスは論理設計図の印刷には反映されませんので御注意下さい。

(4) 論理設計図情報の印刷設定

印刷条件設定画面で「印刷」を選択して実行すると、論理設計図情報の印刷設定画面が表示されます。印刷設定画面では、論理設計図から印刷するドキュメントの種類と、印刷フォーマットの種類を選択します。



図 6.1-3 論理設計図情報 印刷設定画面

- ・ 出力範囲
印刷するドキュメントの種類を選択します。
- ・ 標準フォーマットで出力
CS-DESIGN で用意している標準フォーマットを使用して印刷を行います。
- ・ ユーザフォーマットで出力
ユーザが作成したフォーマットで印刷を行う場合には、「参照」を選択して、EUR で作成したレポートファイルを選択します。

6.2 印刷方式

CS-DESIGN で定義した論理設計図情報を印刷します。

論理設計図内のオブジェクト定義情報とオペレーション詳細情報について詳細な情報を印刷しているので、定義した情報を一目で把握することができます。

(1)出力内容

(a)オブジェクト定義情報

オブジェクト定義の情報の印刷結果を図 6.2-1に示します。REPORT MANAGER では、論理設計図に作成された全てのオブジェクトに対する定義情報を、オブジェクト毎に印刷します。オブジェクト定義情報の詳細については、「SEWB+/ CS-DESIGN ユーザーズガイド」を参照してください。

ワークシート		オブジェクト定義情報		作成	印刷日付
				承認	2005/ 8/31
オブジェクト番号	オブジェクト名			オブジェクト日本語名	
00001	ExpensesDB				旅費DB
インタフェース名	ExpensesDB				
インタフェース日本語名	旅費DB				
ベースインタフェース					
IDLファイル名	FareDB.idl				
属性	属性名		日本語名	型	モード
	NAME	氏名	string <50>	必須	
	DEPT	部署名	string <50>	必須	
	DEPNO	部署ID	integer <4>	必須	
	DEPTIME	出勤時間	integer <4>	必須	
	ARRNO	出張回数	integer <4>	必須	
	ARRTIME	出張時間	integer <4>	必須	
	EXPENSES	出張費	unsigned long	必須	
	TRIPNO	出張ID	string <50>	必須	
	BUSINESS	出張種別	string <50>	必須	
	オペレーション	オペレーション			日本語名
long DAACOUNT(ARRTIME, ar, ARRTIME, ARRNO, ar, ARRNO, DEPTIME, ar, DEPTIME, DEPNO, ar, DEPNO), string					日当計算
long TOTALACCOUNT(string <50> NAME, unsigned long ALLOW, unsigned long EXPENSES)				合計計算	
サブシステム由来	呼び出し元オブジェクト	呼び出し先オブジェクト		コメント	
	番号	オブジェクト名	番号	オブジェクト名	

図 6.2-1 オブジェクト定義情報

1) 概要

オブジェクトのオブジェクト番号、オブジェクト名、オブジェクト日本語名を印刷します。

2) インターフェース情報

オブジェクトのインターフェース名、インターフェース日本語名、ベースインターフェース名、IDLファイル名を印刷します。

- 3) 属性
オブジェクトに定義されている属性名，属性の日本語名，型，モードを印刷します。
- 4) オペレーション
オブジェクトに定義されているオペレーション，オペレーションの日本語名を印刷します。
- 5) オブジェクト関連
印刷対象オブジェクトの呼び出し元オブジェクトの番号とオブジェクト名，呼び出し先オブジェクトの番号とオブジェクト名を印刷します。
- 6) コメント
オブジェクトのコメントを印刷します。

6 . 論理設計図

(b)オペレーション詳細情報

オペレーション詳細情報の印刷結果を図 6.2-2に示します。REPORT MANAGER では、論理設計図に作成されたオブジェクトにオペレーション情報が定義されていた場合、全てのオペレーションについてオペレーション毎に詳細情報を印刷します。オペレーション詳細情報の詳細については、「SEWB+/CS-DESIGN ユーザーズガイド」を参照してください。

ワークシート	オペレーション詳細情報			作成承認	印刷日付	P. 1
オペレーション	long	DAMOUNT	(ARRTIME_ar ARRTIME, ARRYMD_ar ARRYMD, DEPTIME_ar DEPTIME, DEPYMD_string (50) TRIPPT)		2005/ 8/31	
定義オブジェクト番号	00001	定義オブジェクト名	ExpensesDB			
オペレーション名	DAMOUNT					
日本語名	日当計算					
戻り値の型	long					
引数	名称	日本語名	型	入出力		
	ARRTIME	到着時刻	ARRTIME_ar	in		
	ARRYMD	到着日	ARRYMD_ar	in		
	DEPTIME	出発時刻	DEPTIME_ar	in		
	DEPYMD	出発日	DEPYMD_ar	in		
	TRIPPT	出発先	string (50)	in		
コメント	日当を計算する。 ただし最大1万円まで。					
リクエストコンテキスト	プロパティ名			コメント		

図 6.2-2 オペレーション詳細情報

- 1) 概要
オペレーション、定義オブジェクト番号、定義オブジェクト名、オペレーション名、日本語名、戻り値の型を印刷します。
- 2) 引数
オペレーションに定義されている引数の名称、日本語名、型、入出力を印刷します。
- 3) コメント
オペレーションのコメントを印刷します。
- 4) ユーザ例外
オペレーションに定義されているユーザ例外を印刷します。
- 5) リクエストコンテキスト
プロパティ名、コメントを印刷します。

6.3 印刷例

CS-DESIGN で定義した論理設計図情報と、その論理設計図情報から印刷したオブジェクト定義情報と、オペレーション詳細情報を印刷した例を示します。

(1)CS-DESIGN で定義した論理設計図情報

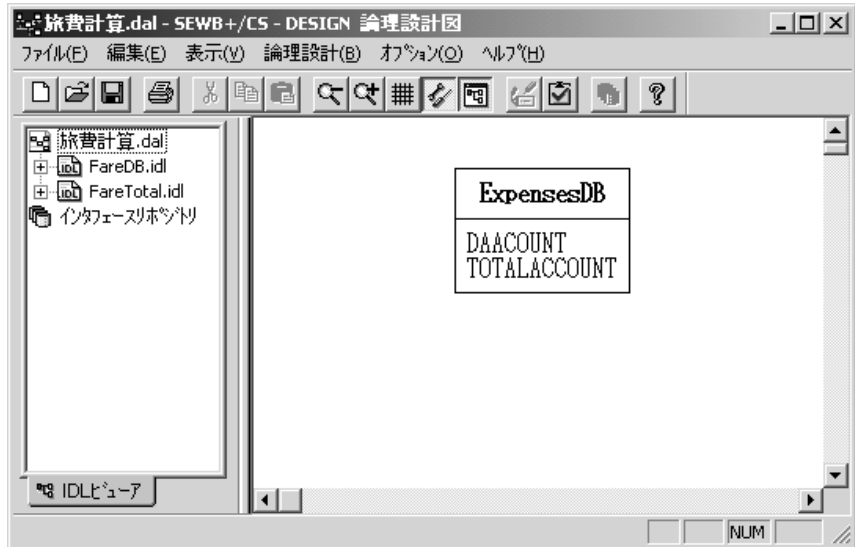


図 6.3-1 CS-DESIGN で定義した論理設計図

ワークシート	オペレーション詳細情報			作成 承認	印刷日付	P. 2
オペレーション	long TOTALACCOUNT(string<50> NAME, unsigned long DALLOW, unsigned long EXPENSES)					
定義オブジェクト番号	00001	定義オブジェクト名	ExpensesDB			
オペレーション名	TOTALACCOUNT					
日本語名	合計計算					
戻り値の型	long					
引 取	NAME	名称	日本語名	型	入出力	
	DALLOW	氏名		string 50	in	
	EXPENSES	住所		unsigned long	in	
		電話番号		unsigned long	in	
ア ド レ ス	照費の合計を計算する。			ユーザ 別		
	プロパティ名	コメント				
リ ク エ ス ト						
ク エ リ ー						
ア プ ド ア ク ト						

図 6.3-4 オペレーション詳細情報 印刷例 2

7 インパクトレポート

REPORT MANAGER は、REPOSITORY-BROWSER が提供する関連ブラウザで表示するオブジェクト間の関連情報を、インパクトレポートとして印刷します。
この章では、REPORT MANAGER を用いてインパクトレポートの印刷を行う手順および印刷方式について説明します。

7.1 操作手順

7.2 印刷方式

7.3 印刷例

7.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてインパクトレポートの印刷を行う操作の手順を説明します。

7.1.1 操作の流れ

インパクトレポートの印刷を行う操作の流れを図 7.1-1に示します。

REPOSITORY-BROWSER の関連ブラウザにて表示したオブジェクトの関連情報を印刷します。

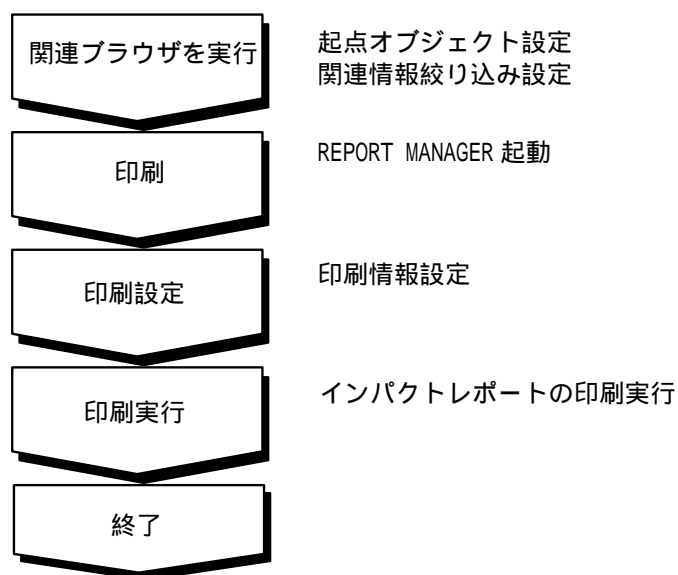


図 7.1-1 インパクトレポート印刷の操作の流れ

7.1.2 操作方法

(1) REPOSITORY-BROWSER の関連ブラウザ実行

(a) 起点オブジェクトの選択

REPOSITORY-BROWSER 上から起点オブジェクトを選択し、関連ブラウザを起動します。

(b) 関連の絞り込み

関連ブラウザウィンドウが表示されます。絞り込み条件の設定を行なうことができますが、インパクトレポートの出力結果には反映されません。

(c) 表示

表示ボタンを実行することにより、画面上に関連図が表示されます。

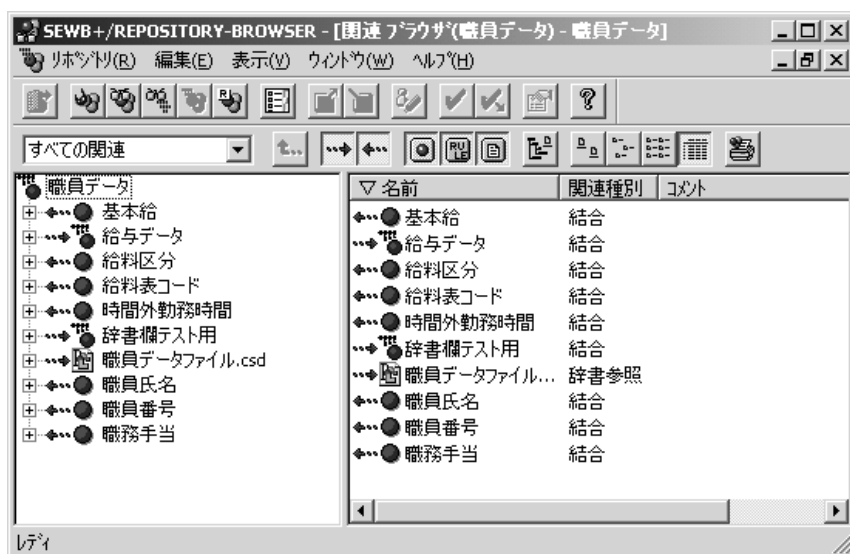


図 7.1-2 関連ブラウザ画面

(2) 印刷

関連ブラウザ画面上の「インパクトレポート」を実行します。REPORT MANAGER が起動され、印刷設定画面が表示されます。

(3) 印刷設定

ヘッダ・フッタや印刷フォーマットの設定を行います。起点オブジェクト名称とオブジェクト種別は関連ブラウザ画面で設定した情報が表示されます。

7. インパクトレポート

(a) ヘッダ・フッタ

ヘッダ・フッタ情報を入力して下さい。インパクトレポートの左上と右下にそれぞれヘッダ・フッタとして印刷されます。

(b) 用紙サイズ, 印刷部数, 出力方法

用紙サイズ・印刷部数, 出力方法を設定して下さい。

図 7.1-3 インパクトレポート印刷設定画面

(4) 印刷実行

印刷設定画面にて「印刷」実行をします。

ワークシート	インパクトレポート		作成 承認	印刷日付 2005/08/31	P. 1	
インパクト起点オブジェクト	SYOKIN-DATA		表示方向	すべて		
インパクト起点詳細情報	予算		表示頻度種別	すべて		
インパクト起点種別	データ項目		オブジェクト種別	すべて		
更新日時	2005/02/23 19:16:10					
順番	方向	階層表示	影響対象名称	種別	影響対象詳細情報	関連種別
1	●		SYOKIN-DATA	データ項目	予算	
2	→	F00	KVUYO-DATA	データ項目	予算	結合
3	→	F00	BEST_JISYO	データ項目	予算	結合
4	→	F00	BEST_JISYO	データ項目	予算	結合
5	→	L00	職員データファイル.esd	ドキュメント	予算詳細設計書Vデータ仕様書	詳書参照
1	●		SYOKIN-DATA	データ項目	予算	
2	→	F00	IKNGI-KNM-JIKAN	データ項目	予算	結合
3	→	F00	KYUHO-KYU	データ項目	予算	結合
4	→	F00	KYUHO-KIN	データ項目	予算	結合
5	→	F00	KYUHO-KIN-CD	データ項目	予算	結合
6	→	F00	SHRM-TEATE	データ項目	予算	結合
7	→	F00	SHOKIN-NAME	データ項目	予算	結合
8	→	L00	SHOKIN-NO	データ項目	予算	結合

図 7.1-4 インパクトレポート印刷例

7.2 印刷方式

REPOSITORY-BROWSER の関連ブラウザで表示された画面イメージで印刷します。

リポジトリ内の関連情報をツリー形式で20階層まで出力しており、階層表示も図式化しているため、関連が分かりやすいインパクトレポートを見ることができます。

(1) 出力内容

図 7.2-1にインパクトレポートの出力結果を示します。

ワークシート	インパクトレポート				作成	印刷日付	P. 1
					承認	2005/08/31	
インパクト起点オブジェクト	SVOKIN-DATA				表示方向	すべて	
インパクト起点詳細情報	予算				表示関連種別	すべて	
インパクト起点種別	データ項目				オブジェクト種別	すべて	
更新日時	2005/02/23 19:16:10						
項目	方向	階層表示	影響対象名称	種別	影響対象詳細情報	関連種別	
1	●		SVOKIN-DATA	データ項目	予算		
2	→	F0	KUUYO-DATA	データ項目	予算	結合	
3	→	L0	FEST_JISYO	データ項目	予算	結合	
4	→	F0	FEST_JISYO	データ項目	予算	結合	
5	→	L0	職員データファイル.esd	ドキュメント	予算詳細設計書Vデータ仕様書	併書参照	
6	●		SVOKIN-DATA	データ項目	予算		
7	→	F0	BINGI-KSM-TRON	データ項目	予算	結合	
8	→	F0	KUUYO-KU	データ項目	予算	結合	
9	→	F0	KUUYO-HYO-CD	データ項目	予算	結合	
10	→	F0	KUUYO-KIN	データ項目	予算	結合	
11	→	F0	SHRM-TEATE	データ項目	予算	結合	
12	→	F0	SHOWIN-NAME	データ項目	予算	結合	
13	→	L0	SHOWIN-NO	データ項目	予算	結合	

図 7.2-1 インパクトレポート出力結果

7. インパクトレポート

(a) 概要

作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ，フッタを印刷します。作成者，承認者は空白となります。

(b) 関連絞り込み情報

出力した関連情報の絞り込み条件を出力します。

1) 起点オブジェクト情報

- ・インパクト起点オブジェクト ... 起点となるオブジェクト名称
- ・インパクト起点詳細情報 ... リポジトリへの格納先
- ・インパクト起点種別 ... 起点オブジェクトの種別
- ・更新日時 ... 起点オブジェクトの更新日時

2) 表示方向

常にすべて（関連先・関連元）の方向について出力します。

3) 表示関連種別

常にすべての種別の関連について出力します。

4) オブジェクト種別

常にすべての種別の関連するオブジェクトについて出力します。

(c) 関連情報

1) 方向

- ：関連先
- ：関連元

2) 階層表示

数字が階層を示します。起点オブジェクトに対する関連情報を20階層まで印刷します。階層は9階層までをツリーイメージで表示し、10階層以降は親となるオブジェクトの項番をオブジェクトの左側に表示します。20階層より深い関連があった場合、「*」を出力します。

3) 影響対象名称

関連オブジェクト名称

4) 種別

関連オブジェクトの種別

5) 影響対象詳細情報

- ・関連オブジェクトがデータ項目の場合 ... 関連オブジェクトの属するフォルダ名称
- ・関連オブジェクトがドキュメントの場合 ... 格納先フォルダ名称

6) 関連種別

上位階層オブジェクトとの関連種別

(2) インパクトレポートと REPOSITORY-BROWSER 「関連ブラウザ」との対応

インパクトレポートと REPOSITORY-BROWSER との対応を表 7.2-1に示します。

表 7.2-1 インパクトレポートと REPOSITORY-BROWSER 「関連ブラウザ」との対応

項番	項目	インパクトレポート 項目名	REPOSITORY-BROWSER 「関連ブラウザ」項目名		備考
			画面構成	項目名	
1	大見出し	作成	-	-	空白
2		承認	-	-	空白
3		印刷日付	-	-	システム日付
4		P.	-	-	1からの昇順
5	起点オブジェクト	インパクト 起点オブジェクト	絞り込み条件	起点オブジェクト	
6		インパクト起点詳細情報	-	-	リポジトリにおける格納先
7		インパクト起点種別	-	-	リポジトリより取得
8		更新日時	-	-	リポジトリより取得
9	絞り込み条件	表示方向	絞り込み条件	表示方向	常に「すべて」
10		表示関連種別	絞り込み条件	表示関連種別	常に「すべて」
11		オブジェクト種別	絞り込み条件	オブジェクト種別	常に「すべて」
12	関連情報	方向	関連図	-	
13		階層表示	関連図	-	
14		影響対象名称	関連図	-	
15		種別	-	-	リポジトリより取得
16		影響対象詳細情報	-	-	リポジトリにおける格納先
17		関連種別	関連の属性	種別	

7.3 印刷例

この節では、REPORT MANAGER によるインパクトレポートの印刷例を示します。

(1) REPOSITORY-BROWSER「関連ブラウザ」表示

以下のサンプルによる印刷結果について例をあげて説明します。

- ・ 起点オブジェクト : 職員データ
- ・ 表示方向 : すべて
- ・ 表示関連種別 : すべて
- ・ オブジェクト種別 : すべて

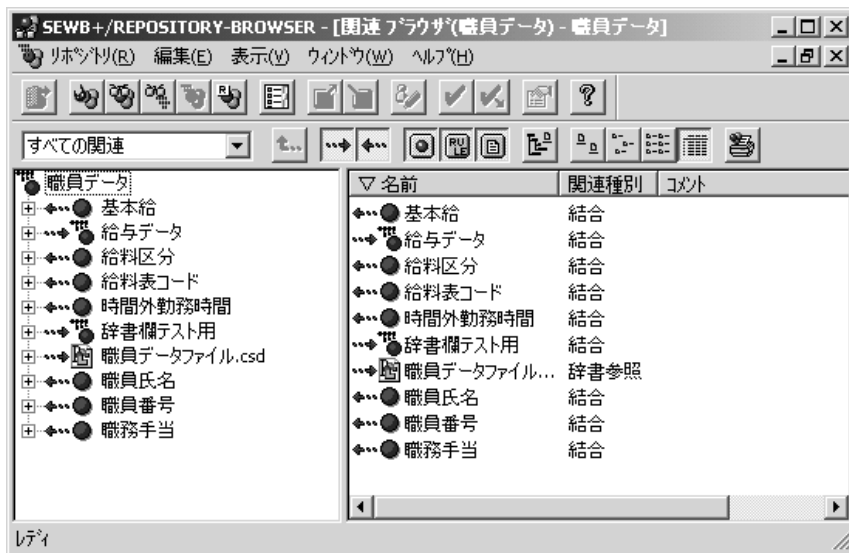


図 7.3-1 関連ブラウザ表示例

(2) REPORT MANAGER 実行

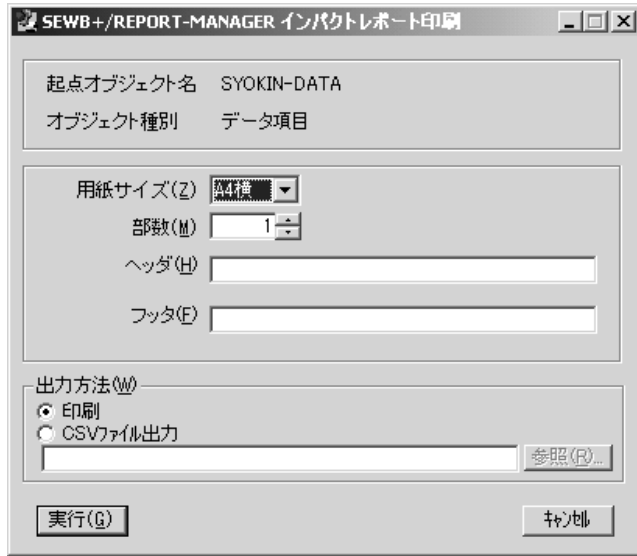


図 7.3-2 インパクトレポート印刷設定画面

(3) 印刷結果

ワークシート		インパクトレポート			作成	印刷日付	P. 1
インパクト起点オブジェクト		SYOKIN-DATA	作成			2005/08/31	
インパクト起点詳細情報		予算	承認		表示方向	すべて	
インパクト起点種別		データ項目			表示関連種別	すべて	
更新日時		2005/02/23 19:16:10			オブジェクト種別	すべて	
項番	方向	階層表示	影響対象名称	種別	影響対象詳細情報	関連種別	
1	●		SYOKIN-DATA	データ項目	予算		
2	→	F0	KYUJO-DATA	データ項目	予算	結合	
3	→	F1	TEST-TJSYO	データ項目	予算	結合	
4	→	F2	TEST-TJSYO	データ項目	予算	結合	
5	→	F3	編成データファイル.cad	ドキュメント	予算詳細設計表データ仕納書	関係参照	
1	●		SYOKIN-DATA	データ項目	予算		
2	→	F0	IKNGI-KM-JIKAN	データ項目	予算	結合	
3	→	F1	KIHON-KU	データ項目	予算	結合	
4	→	F2	KYURYO-HYO-CD	データ項目	予算	結合	
5	→	F3	KYURYO-KIN	データ項目	予算	結合	
6	→	F4	SHOM-TEATE	データ項目	予算	結合	
7	→	F5	SHOKIN-NAME	データ項目	予算	結合	
8	→	F6	SHOKIN-NO	データ項目	予算	結合	

図 7.3-3 インパクトレポート印刷例

8 リポジトリ登録情報

REPORT MANAGER は、リポジトリに登録されているデータ項目辞書・業務ルール・ドキュメントの情報を印刷します。

この章では、REPORT MANAGER を用いて、リポジトリに登録された各種情報の印刷を行う操作の手順および印刷方式について説明します。

8.1 操作手順

8.2 印刷方式

8.3 印刷例

8.1 操作手順

この節では、REPORT MANAGER を用いてリポジトリに登録された各種情報の印刷を行う操作の手順を説明します。

8.1.1 操作の流れ

操作の流れを図 8.1-1に示します。

REPOSITORY-BROWSER で対象となるオブジェクトを指定して、REPORT MANAGER を起動します。データ項目辞書・業務ルール・ドキュメント情報を印刷します。

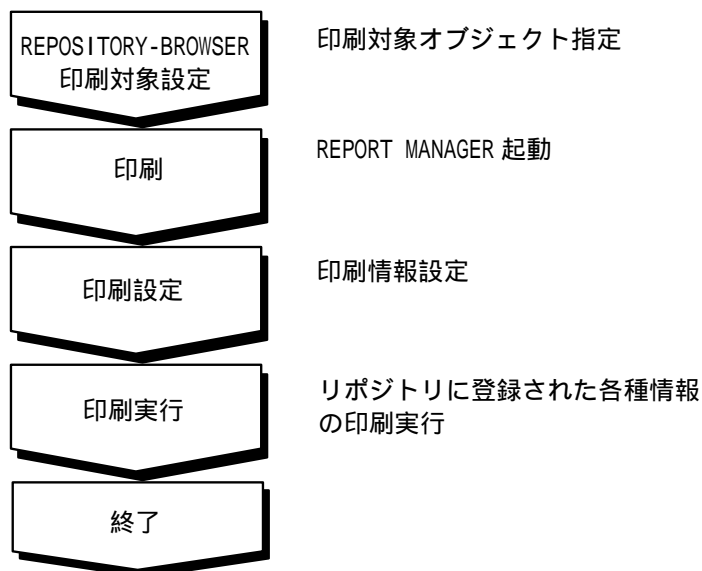


図 8.1-1 リポジトリ登録情報印刷の操作の流れ




8.1.2 操作方法

(1) 印刷対象指定

REPOSITORY-BROWSER の画面より印刷対象とするオブジェクトを指定します。フォルダや管理アイコンを選択すると、そこに属するすべてのオブジェクトが印刷対象となります。

また、複数のオブジェクトを指定することもできます。指定できるオブジェクトとオブジェクトに対して印刷可能な帳票を表 8.1-1に示します。

表 8.1-1 印刷対象となるオブジェクト一覧

項番	オブジェクト	アイコン	印刷対象	印刷帳票						
				データ項目一覧表	データ項目仕様書	結合項目構成一覧表	レコードレイアウト	業務ルール一覧表	業務ルール仕様書	ドキュメント一覧表
1	データ項目	●	指定したデータ項目、もしくは継承している下位のデータ項目全て							
2	データ項目管理アイコン		データ項目管理アイコンの下に属するデータ項目全て							
3	業務ルール		指定した業務ルール							
4	業務ルール管理アイコン		業務ルール管理アイコンの下に属する業務ルール全て							
5	辞書フォルダアイコン		辞書フォルダに属するデータ項目と業務ルール全て							
6	ルートドキュメントフォルダ		最上位のドキュメントフォルダであり、このフォルダに属するドキュメント情報全て							
7	ドキュメントフォルダ		指定したドキュメントフォルダに属するドキュメント情報全て							

リポジトリに登録された情報を印刷するときには、REPOSITORY-BROWSER の画面で印刷したいアイコンを選択します。

図 8.1-2に示す REPOSITORY-BROWSER の画面で指定できるオブジェクトを以下に示します。

- (a) 「予算」ルートドキュメントフォルダおよびそれに属する「テストデータ」「プログラム」などのドキュメントフォルダ
- (b) 「標準」「予算」辞書フォルダおよびそれに属するオブジェクト全て

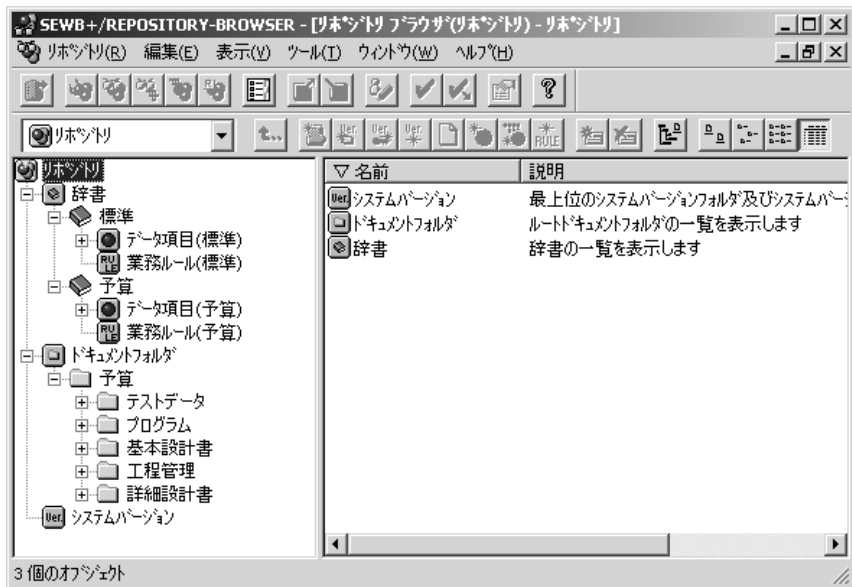


図 8.1-2 REPOSITORY-BROWSER 画面例

(2) 印刷

REPOSITORY-BROWSER の画面上で、印刷対象となるオブジェクトを選択した後、「REPORT MANAGER より印刷」を実行します。REPORT MANAGER が起動され、印刷設定画面が表示されます。

リポジトリ内に各国語別に定義可能な情報については、REPOSITORY-BROWSER のメニューバー[表示]-[オプション]の[名称の指定]の設定内容に従って印刷されます。この設定が「データ項目名と業務ルール名」の場合、標準名称の国語別には「日本語」を選択します。

(3) 印刷設定

印刷対象の絞り込みや印刷情報の設定を行います。

図 8.1-3 REPORT MANAGER 印刷設定画面

(a) 印刷設定

REPOSITORY-BROWSER で指定した印刷対象オブジェクトの名称と種別が表示されます。ユーザが入力することはできません。

(b) 形式

印刷する帳票が一覧表か仕様書か結合項目一覧表かを選択します。全て選択することも可能です。

1) 一覧表

指定されたオブジェクトの種別に合わせて一覧表を印刷します。辞書データ項目・データ項目管理・辞書フォルダはデータ項目一覧表を、業務ルール・業務ルール管理は業務ルール一覧表を、ルートドキュメントフォルダ・ドキュメントフォルダはドキュメント一覧表を出力します。

2) 仕様書

指定されたオブジェクトの種別に合わせて仕様書を印刷します。「対象言語」で選択した言語別情報を対象とします。データ項目は継承関係を持つことができますが、「階層」で、「最下層印刷」を選択すると継承関係のある下位項目までが印刷対象になります。また、「選択対象のみ」を選択すると、選択されたオブジェクト（データ項目）のみが印刷対象になります。

3) 結合項目一覧表

指定されたオブジェクトが結合項目である場合のみ結合項目の構成一覧が印刷されます。結合項目が存在しない場合、何も印刷されません。

4) レコードレイアウト

RECORD EDITOR の印刷機能を用いてレコードレイアウトを印刷します。指定されたオブジェクトが結合項目である場合のみ印刷対象となります。

(c) ヘッダ・フッタ

ヘッダ・フッタ情報を入力します。各種ドキュメントの左上と右下にそれぞれヘッダ・フッタとして印刷されます。

(d) 用紙サイズ・印刷部数

用紙サイズ・印刷部数を設定します。

(e) 出力方法

指定したオブジェクトの出力方法を設定します。

「印刷」を指定すると、次節に示す形式で各印刷が実行されます。

REPORT MANAGER で提供するフォーマットをカスタマイズしたい時や、データの編集を行いたい時は「CSV ファイル出力」を選択して下さい。各 CSV ファイルのフォーマットは付録 A に記述していますので参照下さい。

レコードレイアウトについては、「印刷」のみの対象となりますので御注意下さい。

8.2 印刷方式

リポジトリ登録情報の印刷機能としてデータ項目・業務ルールそれぞれの仕様書および一覧表、結合項目構成一覧表、レコードレイアウト、ドキュメント一覧表の7種類の帳票をサポートしています。

8.2.1 データ項目一覧表

データ項目辞書に登録されている辞書情報の一覧を印刷します。

REPOSITORY-BROWSER では、ツリーに表示する名称を「データ項目名」と各国語別の「標準名称」とで選択して表示できます。印刷する国語別は、この設定内容に従います。

階層は10階層までツリー形式で表示し、11階層以降はその親となるデータ項目の項番を示しています。結合項目は分類に「結合データ」と表示し、項目構成は一覧には印刷されません。

(1) データ項目名の名称によるデータ項目一覧

REPOSITORY-BROWSER の表示オプションで「データ項目名」を設定した場合、画面に表示されたツリービューの情報を印刷します。

ワークシート		データ項目一覧表					作成	印刷日付	P. 1
辞書フォルダ名		子辞						承認	2005/ 8/31
項目	名前	分類	桁数	小数部桁数	精度	標準名称	フリガナ	更新日時	
1	ESTM000	結合データ				結合申請コード	トクゾクシヨウコド	2005/02/23 09:48:23	
2	ANSEL-ENM-LIAB	正数データ	5			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 16:18:27	
3	ANSEL-NAME	結合データ	600			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
4	AN	結合データ	10			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
5	ANL	結合データ	10			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
6	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
7	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
8	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
9	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
10	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
11	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
12	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
13	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
14	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
15	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
16	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
17	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
18	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
19	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
20	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
21	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
22	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
23	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
24	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
25	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
26	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
27	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
28	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
29	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	
30	ANL-INT	結合データ	30			邦語外債取替債	トクゾクガクキ	2005/02/21 17:21:14	

図 8.2-1 データ項目名によるデータ項目一覧表例

- 1) 概要
作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。
作成者，承認者は常に空白となります。
- 2) 辞書フォルダ名・国語別
指定したオブジェクトが属する辞書フォルダ名と REPOSITORY-BROWSER の表示形式で設定した国語別が印刷されます。表示方法に「データ項目名」を設定している場合は，「日本語」が仮定されます。
- 3) 名前
REPOSITORY-BROWSER のツリービューで表示された情報が印刷されます。継承関係は 10 階層までをツリーイメージで表示し，11 階層以降は親となるデータ項目の順番をデータ項目の左側に表示します。
- 4) 基本属性（分類・桁数・小数部桁数・反復回数・標準名称・フリガナ）
REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集の基本属性画面，およびソース生成属性の基本属性画面で設定した情報を印刷します。結合項目の分類は，データ項目一覧表には「結合データ」として印刷されます。
- 5) 更新日時
印刷対象データ項目の最終更新日時を印刷します。

(2) 標準名称によるデータ項目一覧

REPOSITORY-BROWSER の表示方法の設定で，「標準名称」を設定した場合のツリービューの表示と同等の情報を印刷します。

ワークシート		データ項目一覧表				作成	印刷日付	P. 1		
承認						承認	2005/ 8/31			
辞書フォルダ名	予算	名前	分類	桁数	小数部桁数	標準名称	データ項目名	国語別	フリガナ	更新日時
1	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
2	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
3	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
4	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
5	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
6	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
7	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
8	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
9	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
10	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
11	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
12	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
13	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
14	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
15	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
16	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
17	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
18	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
19	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
20	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
21	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
22	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
23	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
24	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
25	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
26	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
27	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
28	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
29	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
30	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
31	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
32	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
33	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
34	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
35	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
36	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
37	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
38	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
39	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
40	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
41	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
42	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
43	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
44	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
45	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
46	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
47	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
48	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
49	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14
50	●	辞書名	辞書名	99		辞書名	辞書名	日本語	フリガナ	2005/02/23 17:23:14

図 8.2-2 標準名称によるデータ項目一覧表例

8.2.2 データ項目仕様書

REPOSITORY-BROWSER で登録したデータ項目の内容を印刷します。

データ項目の属性の継承の有無は継承欄の「 」の有無で表しています。

付加情報とコメントについては1ページに入りきらない場合、改頁を行います。

図 8.2-3にデータ項目仕様書の印刷結果を示します。

ワークシート	データ項目仕様書		作成	印刷日付	P. 1
			承認	2006/ 8/31	
基本属性	データ項目名	SRKLN-30			
	継承フォルダ名	子集			
	親データ項目名				
	データ項目種別	組項目			
	言語別	日本語			
	標準名称	職員番号			
	フリガナ	カクワシヨウ			
	分類	変種文字列データ			
	桁数	8			
	小数部桁数				
反復回数					
対象言語	COBOL又はJOCOBOL				
言語別詳細属性	名前				
	タイプ	K 英数字項目			
付加情報	フリガナ				
	フィールド1			コメント	
	フィールド2				
	フィールド3				
	フィールド4				
	フィールド5				
	フィールド6				
	フィールド7				
	フィールド8				
	フィールド9				
	フィールド10				
	フィールド11				
	フィールド12				
	フィールド13				
	フィールド14				
	フィールド15				
	フィールド16				
	フィールド17				
	フィールド18				
	フィールド19				
	フィールド20				

図 8.2-3 データ項目仕様書例

1) 概要

作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。

作成者，承認者は常に空白となります。

2) 基本属性

REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集の基本属性画面，およびソース生成属性画面の基本属性で設定した情報を印刷します。印刷する内容を表 8.1-1に示します。

表 8.2-1 データ項目仕様書の印刷内容

項番	対象	内容
1	データ項目名	印刷対象データ項目名
2	辞書フォルダ名	データ項目が属する辞書フォルダ名
3	親データ項目名	データ項目の継承先親データ項目名
4	データ項目種別	データ項目の種別
5	国語別	REPOSITORY-BROWSERの[表示]-[オプション]で指定した国語
6	標準名称	指定した国語の標準名称
7	フリガナ	フリガナ
8	分類	分類
9	桁数	桁数
10	小数部桁数	小数部桁数
11	反復回数	反復回数

3) 言語別詳細属性

REPORT MANAGER の印刷指定画面で指定した言語別の詳細属性が印刷されます。対象言語・名前・タイプ・フリー定義（または取りうる値）・編集文字列・初期値・フィールドの情報です。

4) 付加情報

REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集の基本属性画面で設定したフィールドとコメントを印刷します。

8.2.3 結合項目構成一覧表

指定された結合項目の構成を一覧表として印刷します。

下位の結合項目に対する構成も含めて、設定画面で指定した言語の言語別詳細属性をツリー形式で表示しています。レベルは10レベルまで表示し、11レベル以降はその上位項目となるデータ項目の項番を示します。

図 8.2-4に結合項目構成一覧表の印刷結果を示します。

ワークシート		結合項目構成一覧表				作成	印刷日付		P.1
辞書フォルダ 予算		結合項目名 SYOKIN-DATA				承認	2005/8/31		
						最上位	国語	日本語	言語 SYOKUEN110000604
基本情報									
項番	データ項目名	標準名称	桁数	小数	反復	名前	タイプ	編集文字列	更新日時
1	SYOKIN-DATA	結合データ							2005/02/23 19:16:10
2	● SYOKIN-NO	結合番号					X		2005/02/23 11:23:09
3	● SYOKIN-NO	結合番号					X		2005/02/23 11:23:11
4	● SYOKIN-NO	結合番号					X		2005/02/23 11:23:09
5	● SYOKIN-NO	結合番号					X		2005/02/23 11:23:10
6	● JANGI-KOME-JIKAN	期間内動額印刷					X		2005/02/23 19:18:27
7	● JANGI-KOME-JIKAN	期間内動額印刷					X		2005/02/23 11:23:10
8	● SYOKIN-STATE	結合状態					X		2005/02/23 11:23:10

図 8.2-4 結合項目構成一覧表

1) 概要

作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。

作成者，承認者は常に空白となります。

2) 辞書フォルダ名・結合項目名・国語・言語

指定した結合項目が属する辞書フォルダ名，印刷対象である結合項目名が印刷されます。また，国語は REPOSITORY-BROWSER の表示方法で設定した国語別，言語は印刷設定画面で設定した対象言語が印刷されます。表示方法に「データ項目名」を設定している場合は，「日本語」が仮定されます。

3) 基本情報(データ項目名，標準名称，桁数，小数，反復)

REPOSITORY-BROWSER のデータ項目編集の基本属性画面，およびソース生成属性の基本属性画面で設定した情報を印刷します。

4) 言語別情報(名前，タイプ，編集文字列)

REPOSITORY-BROWSER のソース生成属性の言語別詳細属性で設定した名前，タイプ，編集文字列などを印刷します。

5) 更新日時

印刷対象となるデータ項目の最終更新日時を印刷します。

8.リポジトリ登録情報

8.2.4 レコードレイアウト

RECORD EDITOR を起動し、指定した結合項目の構成をレコードのレイアウトイメージで印刷します。レコードレイアウトはCSV出力をサポートしていませんので印刷のみの実行となります。

図 8.2-5にレコードレイアウトの印刷結果を示します。

The screenshot shows a printout of a record layout. At the top, there is a header area with 'ワークシート' on the left and 'レコードレイアウト' in the center. On the right side of the header, there is a small table with '印刷' and '印刷日' (005/8/3) and '1'. Below the header, there is a section labeled 'SYNONYM DATA'. The main content is a table with two columns: '項目名' (Item Name) and '項目構成' (Item Structure). The '項目名' column contains the text 'ORIGINATOR' and the '項目構成' column contains the text 'ORIGINATOR'. The table is enclosed in a double-line border.

図 8.2-5 レコードレイアウト

1) 概要

作成者、承認者、印刷日付、頁数、ヘッダ・フッタを印刷します。

作成者、承認者は常に空白となります。

2) レコードレイアウト

結合項目の構成をレコードのレイアウトイメージで印刷します。

RECORD EDITOR で画面上に展開するレコードレイアウトと同じ形式になります。詳細は「RECORD EDITOR 取扱説明書」を参照して下さい。

8.2.5 業務ルール一覧表

リポジトリに登録されている業務ルールの一覧を印刷します。

REPOSITORY-BROWSER では、ツリーに表示する名称を「業務ルール名」と各国語別の「標準名称」とで選択して表示できます。印刷する国語別は、この設定内容に従います。

(1) 業務ルール名の名称による業務ルール一覧

REPOSITORY-BROWSER の表示方法の設定で「業務ルール名」を設定した場合の例を示します。

ワークシート		業務ルール一覧表			作成	印刷日付		P. 1
辞書フォルダ名	予算				承認	2005/ 8/31		
項番	名前	標準名称	国語別	適用データ項目	適用	更新日時		
1	金額 (正) チェック (数字文字列チェック)	金額 (正) チェック (数字文字列チェック)	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:56		
2	金額 (正) 範囲検索	金額 (正) 範囲検索	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:49		
3	金額 (正) 数字文字列 - 範囲検索	金額 (正) 数字文字列 - 範囲検索	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:52		
4	金額チェック (数字文字列チェック)	金額チェック (数字文字列チェック)	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:50		
5	金額範囲検索	金額範囲検索	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:55		
6	金額範囲数字列 - 範囲検索	金額範囲数字列 - 範囲検索	国語別	金額	入力	2005/02/23 17:20:49		
7	数字文字列 (数字文字列チェック)	数字文字列 (数字文字列チェック)	国語別	数字	入力	2005/02/23 17:20:56		
8	数字文字列 - 範囲検索	数字文字列 - 範囲検索	国語別	数字	入力	2005/02/23 17:20:51		

図 8.2-6 業務ルール名による業務ルール一覧表例

1) 概要

作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。

作成者，承認者は常に空白となります。

2) 辞書フォルダ名・国語別

指定したオブジェクトが属する辞書フォルダ名と REPOSITORY-BROWSER の表示方法で設定した国語別が印刷されます。表示方法に「業務ルール名」を設定している場合は、「日本語」が仮定されます。

3) 名前・標準名称

表示方法が「業務ルール名」の場合は業務ルール名・標準名称が順に展開され、「標準名称」の場合は標準名称・業務ルール名の順に印刷されます。

8.2.7 ドキュメント一覧表

ドキュメントフォルダに登録しているドキュメントの詳細情報を、一覧表として印刷します。 がフォルダを、 がドキュメントを表しています。

ワークシート		ドキュメント一覧表				作成	印刷日付	P. 1
フォルダ名	予算	名前	バージョン名	ドキュメント種別	所有者	更新日時	コメント	
1		名前						72322100
2		名前						
3		名前						
4		名前						
5		名前						
6		名前						
7		名前						
8		名前						
9		名前						
10		名前						
11		名前						
12		名前						
13		名前						
14		名前						
15		名前						
16		名前						
17		名前						
18		名前						
19		名前						
20		名前						
21		名前						
22		名前						
23		名前						
24		名前						
25		名前						
26		名前						
27		名前						
28		名前						
29		名前						
30		名前						
31		名前						
32		名前						
33		名前						
34		名前						
35		名前						
36		名前						
37		名前						
38		名前						
39		名前						
40		名前						

図 8.2-9 ドキュメント一覧表

- 1) 概要
作成者，承認者，印刷日付，頁数，ヘッダ・フッタを印刷します。
作成者，承認者は常に空白となります。
- 2) フォルダ名
指定したオブジェクトが属するドキュメントフォルダ名が印刷されます。
- 3) ドキュメント種別
REPOSITORY-BROWSER でドキュメントフォルダを選択した時のリストビューの情報を印刷します。

表 8.2-3 ドキュメント一覧表内容

項番	対象	内容
1	名前	階層表示にて印刷する。10階層までツリー表示し、11階層以降は左側に上位ドキュメントフォルダの項番を表示する。
2	バージョン名	ドキュメントのバージョン名
3	ドキュメント種別	リポジトリに登録したドキュメント種別。ドキュメントフォルダに対しては何も表示しない。
4	所有者	ドキュメントの所有者
5	更新日時	ドキュメントの更新日時 (*1)
6	コメント	コメント

(*1) : REPOSITORY-BROWSER では、ドキュメントの更新日時を「チェック日時」と「ファイルの更新日時」とを選択して表示できます。印刷する更新日時は、この設定内容に従います。

8. リポジトリ登録情報

(2) データ項目仕様書

ワークシート	データ項目仕様書		作成	印刷日付	P. 1
			承認	2005/ 8/31	
基本属性	データ項目名	SYOKIN-NO			
	辞書フォルダ名	言葉			
	データ項目種別	組項目			
	国語別	日本語			
	標準名称	組立番号			
	フリガナ				
	分類	英数字文字列データ			
	桁数	8			
	小数部桁数	1			
	反復回数				
言語別詳細属性	別家言語	COBOL又はOOOCCOOL			
	名前				
	タイプ	X 英数字項目			
	フリー定義又は取りうる値				
	編集文字列				
	初期値				
	フリガナ				
	フィールド1		コメント		
	フィールド2				
	フィールド3				

図 8.3-2 データ項目仕様書印刷例

(3) 結合項目構成一覧表

ワークシート	結合項目構成一覧表					作成	印刷日付	P. 1	
						承認	2005/ 8/31		
辞書フォルダ	言葉	結合項目名	SYOKIN-DATA	最上位	国語	日本語	言語	SYBOL又はOOOCCOOL	
項目	データ項目名	基本情報	標準名称	桁数	小数	反復	名前	言語別情報	更新日時
1	SYOKIN-DATA	項目データ							2005/02/23 19:16:10
2	SYOKIN-NO	組立番号							2005/02/23 17:28:09
3	SYOKIN-NAME	組立名称							2005/02/23 17:28:11
4	SYOKIN-PRICE	組立価格							2005/02/23 17:28:09
5	SYOKIN-REV	組立区分							2005/02/23 17:28:10
6	JISX01-KANJI	組立カナ							2005/02/23 19:18:27
7	JISX01-KANJI	組立カナ							2005/02/23 17:28:10
8	SYOKIN-PLATE	組立文字							2005/02/23 17:28:10
9	SYOKIN-PLATE	組立文字							2005/02/23 17:28:10

図 8.3-3 結合項目構成一覧表印刷例

8.リポトリ登録情報

(6) 業務ルール仕様書

ワークシート		業務ルール仕様書		作成	印刷日付	P.1
				承認	2005/ 8/31	
属性	業務ルール名	金額数字文字列→数値変換				
	結合フォルダ名	名前				
	国語別	日本語				
	標準名称	金額数字文字列→数値変換				
	ラリア					
コメント	入力された数字文字列の金額を数値に変換する。 *All Rights Reserved, Copyright (C) 1996,1997 Hitachi, Ltd.					
フィールド1						
フィールド2						
フィールド3						
ルールスクリプト		データ項目				
記述言語		LREQ文(2000000)				
@@if (@@not Fimed(LXRCIA10))		業務ルール種別	抽出			
@@set @LX_SFFX01 = "";		適用データ項目	キーワード			
@@if (! (LXRCIA10 eq '1'))		ENGR	ENGR	入力		
@@set @作業領域_MERGE <<		ENGR	ENGR-D	出力		
COPY LXRCIA10 PREFIXING A10-						
@@end;						
@@set @LXRCIA10 = '1';						
@@end;						
@@else						
@@set @LX_SFFX01 = "##RULECOUNT";						
@@set @作業領域_MERGE <<						
COPY LXRCIA10 PREFIXING A10-						
SUFFIXING @LX_SFFX01..						
@@end;						
* 金額数字文字列→数値変換						
MOVE @ENGR						
CALL 'LXRP1A10' USING A10-1-STR-M@LX_SFFX01						
MOVE A10-0-NUM@LX_SFFX01						
TO @ENGR-0.						

図 8.3-6 業務ルール仕様書印刷例

(7) ドキュメント一覧表

ワークシート		ドキュメント一覧表			作成	印刷日付	P.1
					承認	2005/ 8/31	
フォルダ名	予算	名前	ページ名	ドキュメント種別	所有者	更新日時	コメント
1	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
2	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
3	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
4	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
5	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
6	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
7	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
8	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
9	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
10	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
11	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
12	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
13	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
14	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
15	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
16	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
17	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
18	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
19	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
20	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
21	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
22	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
23	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
24	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
25	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
26	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
27	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
28	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
29	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
30	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
31	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
32	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
33	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
34	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
35	●	予算				2005/08/10 10:00:00	
36	●	予算				2005/08/10 10:00:00	

図 8.3-7 ドキュメント一覧表印刷例

付 録

付録 A CSV 出力形式

付録 B CSV ファイル出力時のファイル名称基準

付録 C コマンドライン起動パラメータ一覧

付録 D EUR ファイル名称

付録 E エラーログファイル

付録 A CSV 出力形式

印刷設定画面で CSV 出力を指定した場合、帳票は印刷されずに印刷情報を格納した CSV ファイルを出力します。

それぞれの帳票の CSV ファイルのフォーマットを示します。

A.1 プログラム処理概要図

(1) 表紙

	その他情報	概要	データ画像	画像のファイル名	矢印画像
1	ページ番号	概要1	データ上1	上名称1	矢印上1
2	"その他"+n+"ファイル"	概要2	データ上2	上名称2	矢印上2
3	"以下入出力項目参照"	概要3	データ上3	上名称3	矢印上3
4	"その他"+n+"ファイル"	概要4	データ上4	上名称4	矢印上4
5	"以下入出力項目参照"	概要5	データ上5	上名称5	矢印上5
6	"以降別紙参照"	概要6	データ下1	下名称1	矢印下1
7	"以降別紙参照"	概要7	データ下2	下名称2	矢印下2
8	"(次頁に続く)"	概要8	データ下3	下名称3	矢印下3
9		概要9	データ下4	下名称4	矢印下4
10		概要10	データ下5	下名称5	矢印下5
11		概要11	データ右	右名称	矢印右
12		概要12			
13		概要13			
14		概要14			
15		概要15			

(下段に続く)

入出力定義情報								
項番	入出力項目	種別	IO	ファイル名	コピー句	外部装置名	アクセスモード	
1	項番1	入出力項目1	種別1	IO1	ファイル名1	コピー句1	外部装置名1	アクセスモード1
2	項番2	入出力項目2	種別2	IO2	ファイル名2	コピー句2	外部装置名2	アクセスモード2
3	項番3	入出力項目3	種別3	IO3	ファイル名3	コピー句3	外部装置名3	アクセスモード3
4	項番4	入出力項目4	種別4	IO4	ファイル名4	コピー句4	外部装置名4	アクセスモード4
5	項番5	入出力項目5	種別5	IO5	ファイル名5	コピー句5	外部装置名5	アクセスモード5
6	項番6	入出力項目6	種別6	IO6	ファイル名6	コピー句6	外部装置名6	アクセスモード6
7	項番7	入出力項目7	種別7	IO7	ファイル名7	コピー句7	外部装置名7	アクセスモード7

(下段に続く)

入出力定義情報			パラメタ定義情報				
接頭語	接尾語	キー	項番	表示項目	値	説明	
1	接頭語1	接尾語1	キー1	項番1	表示項目1	値1	説明1
2	接頭語2	接尾語2	キー2	項番2	表示項目2	値2	説明2
3	接頭語3	接尾語3	キー3	項番3	表示項目3	値3	説明3
4	接頭語4	接尾語4	キー4	項番4	表示項目4	値4	説明4
5	接頭語5	接尾語5	キー5	項番5	表示項目5	値5	説明5
6	接頭語6	接尾語6	キー6				
7	接頭語7	接尾語7	キー7				

- ・入出力定義情報の8行目以降は別紙ファイルに出力します。
- ・パラメタ定義情報の6行目以降は別紙ファイルに出力します。

(2) XML 定義

	XML定義名	XMLファイル名	項番	指示項目	値	指示項目	値	その他の情報
1	XML定義名	XMLファイル名	項番1	指示項目1	値1	指示項目1	値1	ページ番号
2			項番2	指示項目2	値2	指示項目2	値2	
3			項番3	指示項目3	値3	指示項目3	値3	
4			項番4	指示項目4	値4	指示項目4	値4	
				...				
29			項番29	指示項目29	値29	指示項目29	値29	“(次頁に続く)”

- ・ 1 ページの最大行数は 29 行です。

(3) インターフェース定義

	インターフェース項目名	インターフェース名	オペレーション名	論理設計図ファイル名
1	インターフェース項目名	インターフェース名	オペレーション名	論理設計図ファイル名
2				
3				
4				
...				
22				

(下段に続く)

	IDL ファイル	オブジェクト名	タイトル1	値1	タイトル2
1	IDL ファイル名	オブジェクト名	"日本語名" ¹ または "モジュール" ⁴	オペレーションの日本語名 ¹ またはモジュール名 ² または空白 ³	"戻り値の型" ¹ または"日本語名" ⁴
2					
3					
4					
...					
22					

(下段に続く)

	値2	タイトル3	値3	項番
1	戻り値の型 ¹ またはインターフェースの日本語名 ² または空白 ³	"コメント" ¹ または"ベースインターフェース" ⁴	コメント ¹ またはベースインターフェース名 ² または空白 ³	項番 1
2				項番 2
3				項番 3
4				項番 4
...				
22				項番 22

(下段に続く)

	指示項目	値	指示項目	値	その他の情報
1	指示項目 1	値 1	指示項目 1	値 1	ページ番号
2	指示項目 2	値 2	指示項目 2	値 2	
3	指示項目 3	値 3	指示項目 3	値 3	
4	指示項目 4	値 4	指示項目 4	値 4	
...					
22	指示項目 22	値 22	指示項目 22	値 22	"(次頁に続く)"

- (*1) インターフェース項目が「オペレーション」の場合
- (*2) インターフェース項目が「インターフェース」の場合
- (*3) インターフェース項目が「IDL」の場合
- (*4) インターフェース項目が「インターフェース」または「IDL」の場合
- (*5) 1 ページの最大行数は 22 行です。

(4) 部品定義

	項番	展開部品名	コメント	部品ファイル名	プロシジャ名
1	項番1	展開部品名1	コメント1	部品ファイル名1	プロシジャ名1
2	項番2	展開部品名2	コメント2	部品ファイル名2	プロシジャ名2
3	項番3	展開部品名3	コメント3	部品ファイル名3	プロシジャ名3
4	項番4	展開部品名4	コメント4	部品ファイル名4	プロシジャ名4
			...		
37	項番37	展開部品名37	コメント37	部品ファイル名37	プロシジャ名37

(下段に続く)

	引数	値	その他情報
1	引数1	値1	ページ番号
2	引数2	値2	
3	引数3	値3	
4	引数4	値4	
			...
37	引数37	値37	“(次頁に続く)”

- ・ 1 ページの最大行数は37行です。

(5) ユーザ処理編成

	ユーザ処理編成	追加コーディング	その他情報
1	ユーザ処理編成 1	追加コーディング1	ページ番号
2	ユーザ処理編成 2	追加コーディング2	
3	ユーザ処理編成 3	追加コーディング3	
4	ユーザ処理編成 4	追加コーディング4	
		...	
38	ユーザ処理編成 38	追加コーディング38	“(次頁に続く)”

- 1 ページの最大行数は 38 行です。

(6) チェック / 編集条件表

入力項目						
項番	標準名称	入力項目名	タイプ A	タイプ B	長さ	
1	項番1	標準名称1	入力項目名1	タイプ A1	タイプ B 1	長さ1
2	項番2	標準名称2	入力項目名2	タイプ A2	タイプ B 2	長さ2
3	項番3	標準名称3	入力項目名3	タイプ A3	タイプ B 3	長さ3
4	項番4	標準名称4	入力項目名4	タイプ A4	タイプ B 4	長さ4
.						
19	項番19	標準名称19	入力項目名19	タイプ A19	タイプ B 19	長さ19

(下段に続く)

出力項目						
業務ルール名称	標準名称	出力項目名	タイプ A	タイプ B	長さ	
1	業務ルール名称1	標準名称1	出力項目名1	タイプ A1	タイプ B 1	長さ1
2	業務ルール名称2	標準名称2	出力項目名2	タイプ A2	タイプ B 2	長さ2
3	業務ルール名称3	標準名称3	出力項目名3	タイプ A3	タイプ B 3	長さ3
4	業務ルール名称4	標準名称4	出力項目名4	タイプ A4	タイプ B 4	長さ4
.						
19	業務ルール名称19	標準名称19	出力項目名19	タイプ A19	タイプ B 19	長さ19

(下段に続く)

セクション名	その他情報
1	ページ番号
2	
3	
4	
.	
19	“(次頁に続く)”

・ 1 ページの最大行数は 19 行です。

・ 長さ (入力) / 長さ (出力)

”けた数, 小数部けた数”のようにカンマ区切りで出力します。このときのけた数には、小数部けた数が含まれます。

・ タイプ A / タイプ B

REPORT MANAGER の印刷設定画面で指定した言語区分が「COBOL 又は 00COBOL」かつタイプがフリー定義の場合にタイプ A へ設定します。それ以外の場合にはタイプ B へ設定します。

(7) メモ

	メモ	その他情報
1	メモ 1	ページ番号
2	メモ 2	
3	メモ 3	
4	メモ 4	
		...
39	メモ 39	“(次頁に続く)”

- 1 ページの最大行数は 39 行です。

(8) 別紙

	その他情報	項番	入出力定義情報				
			入力項目名	種別	IO	コピー句	外部装置名
1	ページ番号	項番1	入力項目名1	種別1	IO1	コピー句1	外部装置名1
2		項番2	入力項目名2	種別2	IO2	コピー句2	外部装置名2
3		項番3	入力項目名3	種別3	IO3	コピー句3	外部装置名3
4		項番4	入力項目名4	種別4	IO4	コピー句4	外部装置名4
...							
16	“(次頁に続く)”	項番16	入力項目名16	種別16	IO16	コピー句16	外部装置名16

(下段に続く)

入出力定義情報				パラメタ定義情報				
アクセスモード	接頭語	接尾語	キー	項番	指示項目	値	説明	
1	アクセスモード1	接頭語1	接尾語1	キー1	項番1	指示項目1	値1	説明1
2	アクセスモード2	接頭語2	接尾語2	キー2	項番2	指示項目2	値2	説明2
3	アクセスモード3	接頭語3	接尾語3	キー3	項番3	指示項目3	値3	説明3
4	アクセスモード4	接頭語4	接尾語4	キー4	項番4	指示項目4	値4	説明4
...								
16	アクセスモード16	接頭語16	接尾語16	キー16	項番16	指示項目16	値16	説明16

- ・1ページの最大行数は16行です。

(9) 表紙（非標準印刷）

	その他情報	概要	データ画像	画像のファイル名	矢印画像
1	ページ番号	概要 1	データ上 1	上名称 1	矢印上 1
2	“その他” + n + “ファイル”	概要 2	データ上 2	上名称 2	矢印上 2
3	“以下入出力項目参照”	概要 3	データ上 3	上名称 3	矢印上 3
4	“その他” + n + “ファイル”	概要 4	データ上 4	上名称 4	矢印上 4
5	“以下入出力項目参照”	概要 5	データ上 5	上名称 5	矢印上 5
6	“以降別紙参照”	概要 6	データ下 1	下名称 1	矢印下 1
7	“以降別紙参照”	概要 7	データ下 2	下名称 2	矢印下 2
8	“次頁に続く”	概要 8	データ下 3	下名称 3	矢印下 3
9		概要 9	データ下 4	下名称 4	矢印下 4
10		概要 10	データ下 5	下名称 5	矢印下 5
11		概要 11	データ右	右名称	右矢印
12		概要 12			
13		概要 13			
14		概要 14			
15		概要 15			

(下段に続く)

項番	列A	列B	列C	列D	列E
1	見出しA 1	見出しB 1	見出しC 1	見出しD 1	見出しE 1
2	項番 1 入出力項目 A 1	入出力項目 B 1	入出力項目 C 1	入出力項目 D 1	入出力項目 E 1
3	見出しA 2	見出しB 2	見出しC 2	見出しD 2	見出しE 2
4	項番 2 入出力項目 A 2	入出力項目 B 2	入出力項目 C 2	入出力項目 D 2	入出力項目 E 2
5	見出しA 3	見出しB 3	見出しC 3	見出しD 3	見出しE 3
6	項番 3 入出力項目 A 3	入出力項目 B 3	入出力項目 C 3	入出力項目 D 3	入出力項目 E 3
7	見出しA 4	見出しB 4	見出しC 4	見出しD 4	見出しE 4
8	項番 4 入出力項目 A 4	入出力項目 B 4	入出力項目 C 4	入出力項目 D 4	入出力項目 E 4

(下段に続く)

項番	指示項目	値	説明
1	項番 1 指示項目 1	値 1	説明 1
2	項番 2 指示項目 2	値 2	説明 2
3	項番 3 指示項目 3	値 3	説明 3
4	項番 4 指示項目 4	値 4	説明 4
5	項番 5 指示項目 5	値 5	説明 5
6	項番 6 指示項目 6	値 6	説明 6
7	項番 7 指示項目 7	値 7	説明 7
8	項番 8 指示項目 8	値 8	説明 8

(10) 別紙(非標準印刷)

入出力定義情報					
その他情報	項番	列A	列B	列C	列D
1	ページ番号	見出しA 1	見出しB 1	見出しC 1	見出しD 1
2	項番 1	入出力項目 A 1	入出力項目 B 1	入出力項目 C 1	入出力項目 D 1
3		見出しA 2	見出しB 2	見出しC 2	見出しD 2
4	項番 2	入出力項目 A 2	入出力項目 B 2	入出力項目 C 2	入出力項目 D 2
5		見出しA 3	見出しB 3	見出しC 3	見出しD 3
6	項番 3	入出力項目 A 3	入出力項目 B 3	入出力項目 C 3	入出力項目 D 3
7		見出しA 4	見出しB 4	見出しC 4	見出しD 4
8	項番 4	入出力項目 A 4	入出力項目 B 4	入出力項目 C 4	入出力項目 D 4
...					
17		見出しA 9	見出しB 9	見出しC 9	見出しD 9
18	項番 9	入出力項目 A 9	入出力項目 B 9	入出力項目 C 9	入出力項目 D 9

(下段に続く)

入出力定義情報		パラメタ定義情報		
列E	項番	指示項目	値	説明
1	見出しE 1	指示項目 1	値 1	説明 1
2	入出力項目 E 1	指示項目 2	値 2	説明 2
3	見出しE 2	指示項目 3	値 3	説明 3
4	入出力項目 E 2	指示項目 4	値 4	説明 4
5	見出しE 3	指示項目 5	値 5	説明 5
6	入出力項目 E 3	指示項目 6	値 6	説明 6
7	見出しE 4	指示項目 7	値 7	説明 7
8	入出力項目 E 4	指示項目 8	値 8	説明 8
...				
17	見出しE 9	指示項目 17	値 17	説明 17
18	入出力項目 E 9	指示項目 18	値 18	説明 18

- ・ 1 ページの最大行数は、入出力定義情報・パラメタ定義情報ともに 18 行です。

A.2 データ定義仕様書

	項番	標準名称	レベル	データ項目	タイプA	タイプB	
1	項番 1	標準名称 1	レベル 1	データ項目 1	タイプA 1	タイプB 1	(下段に続く)
2	項番 2	標準名称 2	レベル 2	データ項目 2	タイプA 2	タイプB 2	
3	項番 3	標準名称 3	レベル 3	データ項目 3	タイプA 3	タイプB 3	
4	項番 4	標準名称 4	レベル 4	データ項目 4	タイプA 4	タイプB 4	
			...				
34	項番 34	標準名称 34	レベル 34	データ項目 34	タイプA 34	タイプB 34	

	桁数	小数部桁数	反復回数	辞書	位置	区分	
1	桁数 1	小数部桁数 1	反復回数 1	辞書 1	位置 1	区分 1	(下段に続く)
2	桁数 2	小数部桁数 2	反復回数 2	辞書 2	位置 2	区分 2	
3	桁数 3	小数部桁数 3	反復回数 3	辞書 3	位置 3	区分 3	
4	桁数 4	小数部桁数 4	反復回数 4	辞書 4	位置 4	区分 4	
			...				
34	桁数 34	小数部桁数 34	反復回数 34	辞書 34	位置 34	区分 34	

	サブ属性	その他情報
1	文字列 1	
2	文字列 2	
3	文字列 3	
4	文字列 4	
34	文字列 34	“次頁に続く”

- 1 ページの最大出力行数は 3 4 行です。

A.3 レコード定義仕様書

項番	標準名称	レベル	データ項目	タイプA	タイプB	
1	項番 1	標準名称 1	レベル 1	データ項目 1	タイプ A 1	タイプ B 1
2	項番 2	標準名称 2	レベル 2	データ項目 2	タイプ A 2	タイプ B 2
3	項番 3	標準名称 3	レベル 3	データ項目 3	タイプ A 3	タイプ B 3
4	項番 4	標準名称 4	レベル 4	データ項目 4	タイプ A 4	タイプ B 4
...						
36	項番 36	標準名称 36	レベル 36	データ項目 36	タイプ A 36	タイプ B 36

(下段に続く)

桁数	小数部桁数	反復回数	辞書	位置	区分	
1	桁数 1	小数部桁数 1	反復回数 1	辞書 1	位置 1	区分 1
2	桁数 2	小数部桁数 2	反復回数 2	辞書 2	位置 2	区分 2
3	桁数 3	小数部桁数 3	反復回数 3	辞書 3	位置 3	区分 3
4	桁数 4	小数部桁数 4	反復回数 4	辞書 4	位置 4	区分 4
...						
36	桁数 36	小数部桁数 36	反復回数 36	辞書 36	位置 36	区分 36

(下段に続く)

サブ属性	その他情報
1	文字列 1
2	文字列 2
3	文字列 3
4	文字列 4
...	
36	文字列 36

- ・ 1 ページの最大出力行数は 3 6 行です。

A.4 コード表

定義項目	対応するデータ1	対応するデータ2		対応するデータ10
AUTHOR	作者			
TBL-NAME-JP	コードテーブル日本語名			
TBL-NAME	コードテーブル記号名			
SUB-NAME-JP	サブルーチン日本語名			
SUB-NAME	サブルーチン記号名			
INT-NAME-JP	インタフェース日本語名			
INT-NAME	インタフェース記号名			
COMMENT	コメント1行目			
	コメント2行目			
	:			
	コメントn行目			
CODE-DATA	1	2	...	10
日本語項目名	日本語名称1	日本語名称2		日本語名称10
記号項目名	記号名称1	記号名称2		記号名称10
データタイプ	データタイプ1	データタイプ2		データタイプ10
データ長	データ長	データ長		データ長
1	データ1行1列め	データ1行2列め		データ1行10列め
2	データ2行1列め	データ2行2列め		データ2行10列め
:	:	:		:
1000	データ1000行1列め	データ1000行2列め		データ1000行10列め

A.5 論理設計図

(1) オブジェクト定義

1	“オブジェクト番号”	“オブジェクト名”	“オブジェクト日本語名”	“インタフェース名”	“スコープ付インタフェース名”
2	オブジェクト番号 1	オブジェクト名 1	オブジェクト日本語名 1	インタフェース名 1	スコープ付インタフェース名 1 (下段に続く)
3	オブジェクト番号 2	オブジェクト名 2	オブジェクト日本語名 2	インタフェース名 2	スコープ付インタフェース名 2
:	:	:	:	:	:

1	“インタフェース日本語名”	“ベースインタフェース”	“スコープ付ベースインタフェース”	“IDL ファイル名”
2	インタフェース日本語名 1	ベースインタフェース 1	スコープ付ベースインタフェース 1	IDL ファイル名 1 (下段に続く)
3	インタフェース日本語名 2	ベースインタフェース 2	スコープ付ベースインタフェース 2	IDL ファイル名 2
:	:	:	:	:

1	“モジュール名”	“属性名”	“属性日本語名”	“属性型”	“スコープ付属性型”	“属性モード”
2	モジュール名 1	属性名 1	属性日本語名 1	属性型 1	スコープ付属性型 1	属性モード 1
3	モジュール名 2	属性名 2	属性日本語名 2	属性型 2	スコープ付属性型 2	属性モード 2 (下段に続く)
:	:	:	:	:	:	:

1	“オペレーション”	“オペレーション日本語名”	“呼び出し元オブジェクト番号”	“呼び出し元オブジェクト名”	“呼び出し先オブジェクト番号”
2	オペレーション 1	オペレーション日本語名 1	呼び出し元オブジェクト番号 1	呼び出し元オブジェクト名 1	呼び出し先オブジェクト番号 1 (下段に続く)
3	オペレーション 2	オペレーション日本語名 2	呼び出し元オブジェクト番号 2	呼び出し元オブジェクト名 2	呼び出し先オブジェクト番号 2
:	:	:	:	:	:

1	“呼び出し先オブジェクト名”	“コメント”	“ヘッダ”	“フッタ”
2	呼び出し先オブジェクト名 1	コメント 1	ヘッダ 1	フッタ 1
3	呼び出し先オブジェクト名 2	コメント 2	ヘッダ 2	フッタ 2
:	:	:	:	:

- ・オブジェクト番号が改ページのキーとなります。
- ・詳細については「SEWB+/CS-DESIGN ユーザーズガイド」を参照してください。

(2) オペレーション詳細情報

1	“オペレーション”	“オペレーション名”	“オペレーション日本語名”	“コメント”	(下段に続く)
2	オペレーション 1	オペレーション名 1	オペレーション日本語名 1	コメント 1	
3	オペレーション 2	オペレーション名 2	オペレーション日本語名 2	コメント 2	
:	:	:	:	:	

1	“戻り値の型”	“スコープ付戻り値の型”	“引数名”	“引数日本語名”	(下段に続く)
2	戻り値の型 1	スコープ付戻り値の型 1	引数名 1	引数日本語名 1	
3	戻り値の型 2	スコープ付戻り値の型 2	引数名 2	引数日本語名 2	
:	:	:	:	:	

1	“入出力”	“引数型”	“スコープ付引数型”	“ユーザ例外”	“スコープ付ユーザ例外”	(下段に続く)
2	入出力 1	引数型 1	スコープ付引数型 1	ユーザ例外 1	スコープ付ユーザ例外 1	
3	入出力 2	引数型 2	スコープ付引数型 2	ユーザ例外 2	スコープ付ユーザ例外 2	
:	:	:	:	:	:	

1	“リクエストコンテキスト名”	“リクエストコンテキストコメント”	“オブジェクト番号”	(下段に続く)
2	リクエストコンテキスト名 1	リクエストコンテキストコメント 1	オブジェクト番号 1	
3	リクエストコンテキスト名 2	リクエストコンテキストコメント 2	オブジェクト番号 2	
:	:	:	:	

1	“オブジェクト名”	“ヘッダ”	“フッタ”
2	オブジェクト名 1	ヘッダ 1	フッタ 1
3	オブジェクト名 2	ヘッダ 2	フッタ 2
:	:	:	:

- ・ オペレーション，またはオブジェクト番号が改ページのキーとなります。
- ・ 詳細については「SEWB+/CS-DESIGN ユーザーズガイド」を参照してください。

A.6 データ項目一覧表

項番	名前	分類	桁数	小数部桁数	反復回数	標準名称	フリガナ
----	----	----	----	-------	------	------	------

(下段に続く)

更新日時	辞書フォルダ名
------	---------

(次頁に続く)

・ 項番

データ項目数を示す1からの連番です。

・ 名前, 標準名称, フリガナ

REPOSITORY-BROWSERの表示形式の設定により, 以下のように出力します。

REPOSITORY-BROWSERの表示形式	「名前」欄	「標準名称」欄	「フリガナ」欄
データ項目名と業務ルール名	データ項目名	標準名称(日本語)	フリガナ(日本語)
標準名称(日本語)	標準名称(日本語)	データ項目名	フリガナ(日本語)
標準名称(英語)	標準名称(英語)	データ項目名	空白
標準名称(国語区分3)	標準名称(国語区分3)	データ項目名	フリガナ(国語区分3)
標準名称(国語区分4)	標準名称(国語区分4)	データ項目名	フリガナ(国語区分4)

・ 分類・桁数, 小数部桁数, 反復回数

データ項目のそれぞれの属性を出力します。

・ 更新日時

データ項目の更新日時を「YY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で出力します。

・ 辞書フォルダ名

データ項目が存在する辞書フォルダを示します。1行目にのみ出力されます。

・ (次頁に続く)

EURによる印刷時に, 改頁処理に使用しているフィールドです。

・ 「名前」欄の表示方法

「●」+半角スペース+単項目名」または「■+半角スペース+結合項目名」の形式で出力します。

階層1～階層10までは「|」「└」「┌」を使用して階層を表示します。

階層11以降は「(親データ項目の項番) + - +●or■+名前」で表示します。

出力例:	項番	名前
	1	レベル1
	2	レベル2
	3	レベル3
	4	レベル4
	5	レベル5
	6	レベル6
	7	レベル7
	8	レベル8
	9	レベル9
	10	レベル10
	11	(10) - レベル11
	:	:

A.7 データ項目仕様書

1	データ項目名継承フラグ ¹	データ項目名 ³	フィールド1名称	フィールド1継承フラグ	フィールド1		(次頁に 続く)
2		辞書フォルダ名	フィールド2名称	フィールド2継承フラグ	フィールド2	コメント ²	
3		親データ項目名	フィールド3名称	フィールド3継承フラグ	フィールド3	コメント ²	
4		データ項目種別	フィールド4名称	フィールド4継承フラグ	フィールド4	コメント ²	
5		国語別	フィールド5名称	フィールド5継承フラグ	フィールド5	コメント ²	
6	標準名称継承フラグ ¹	標準名称 ²	フィールド6名称	フィールド6継承フラグ	フィールド6	コメント ²	
7	フリガナ継承フラグ ¹	フリガナ ²	フィールド7名称	フィールド7継承フラグ	フィールド7	コメント ²	
8	分類継承フラグ	分類	フィールド8名称	フィールド8継承フラグ	フィールド8	コメント ²	
9	桁数継承フラグ	桁数	フィールド9名称	フィールド9継承フラグ	フィールド9	コメント ²	
10	小数部桁数継承フラグ	小数部桁数	フィールド10名称	フィールド10継承フラグ	フィールド10	コメント ²	
11	反復回数継承フラグ	反復回数	フィールド11名称	フィールド11継承フラグ	フィールド11	コメント ²	
12		対象言語	フィールド12名称	フィールド12継承フラグ	フィールド12	コメント ²	
13	言語別名称継承フラグ ¹	言語別名称 ¹	フィールド13名称	フィールド13継承フラグ	フィールド13	コメント ²	
14	言語別タイプ継承フラグ ¹	言語別タイプ ¹	フィールド14名称	フィールド14継承フラグ	フィールド14	コメント ²	
15		言語別タイプフリ-定義 ¹	フィールド15名称	フィールド15継承フラグ	フィールド15	コメント ²	
16	編集文字列継承フラグ ¹	編集文字列 ¹	フィールド16名称	フィールド16継承フラグ	フィールド16	コメント ²	
17	初期値継承フラグ ¹	初期値 ¹	フィールド17名称	フィールド17継承フラグ	フィールド17	コメント ²	
18	言語別フィールド継承フラグ ¹	言語別フィールド ¹	フィールド18名称	フィールド18継承フラグ	フィールド18	コメント ²	
19			フィールド19名称	フィールド19継承フラグ	フィールド19	コメント ²	
20			フィールド20名称	フィールド20継承フラグ	フィールド20	コメント ²	

・各継承フラグ
継承する場合「○」、継承しない場合空欄が出力されます。

・フィールド1～20

通常1フィールド1行で表示します。フィールド内容が55バイトを超える場合、55バイト以降は次の行に出力します。この場合、フィールド名称も次の行に出力されます。

・コメント

改行までの文字列をそれぞれの行に出力します。

・(次頁に続く)

EURによる印刷時に、改頁処理に使用しているフィールドです。

(*1) REPORT MANAGER の印刷設定画面で指定した言語別に従い出力されます。

(*2) REPOSITORY-BROWSER の表示形式の設定により、以下のように出力します。「データ項目名」が設定されている場合、「標準名称」欄には「標準名称(日本語)」が出力されます。

(*3) 21行目、60行目、99行目、(以降39行毎)に同一内容が出力されます。

A.8 結合項目構成一覧表

項番	データ項目名	標準名称	桁数	小数部桁数	反復回数	名前	
1	項番 1	データ項目名 1	標準名称 1	桁数 1	小数部桁数 1	反復回数 1	名前 1
2	項番 2	データ項目名 2	標準名称 2	桁数 2	小数部桁数 2	反復回数 2	名前 2
3	項番 3	データ項目名 3	標準名称 3	桁数 3	小数部桁数 3	反復回数 3	名前 3
4	項番 4	データ項目名 4	標準名称 4	桁数 4	小数部桁数 4	反復回数 4	名前 4

(下段に続く)

37	項番 37	データ項目名 37	標準名称 37	桁数 37	小数部桁数 37	反復回数 37	名前 37
----	-------	-----------	---------	-------	----------	---------	-------

	タイプ A	タイプ B	編集文字列	更新日時	その他情報
1	タイプ A1	タイプ B 1	編集文字列 1	更新日時 1	
2	タイプ A2	タイプ B 2	編集文字列 2	更新日時 2	
3	タイプ A3	タイプ B 3	編集文字列 3	更新日時 3	
4	タイプ A4	タイプ B 4	編集文字列 4	更新日時 4	

37	タイプ A 37	タイプ B 37	編集文字列 37	更新日時 37	“次頁に続く”
----	----------	----------	----------	---------	---------

・ 1 ページの最大出力行数は 37 行です。

・ タイプ A / タイプ B

REPORT MANAGER の印刷設定画面で指定した言語区分が「COBOL 又は OOCOBOL」かつタイプがフリー定義の場合にタイプ A へ設定します。それ以外の場合にはタイプ B へ設定します。

A.9 業務ルール一覧表

項番	名前	標準名称	更新日時	ルール種別	適用項目	適用条件
----	----	------	------	-------	------	------

(下段に続く)

辞書フォルダ名	(次頁に続く)
---------	---------

- ・ 項番
業務ルール数を示す 1 からの連番です。
- ・ 名前・標準名称
REPOSITORY-BROWSER の表示形式の設定により、以下のように出力します。

REPOSITORY-BROWSERの表示形式	CSV形式の「名前」欄	CSV形式の「標準名称」欄
データ項目名と業務ルール名	業務ルール名	標準名称(日本語)
標準名称(日本語)	標準名称(日本語)	業務ルール名
標準名称(英語)	標準名称(英語)	業務ルール名
標準名称(国語区分3)	標準名称(国語区分3)	業務ルール名
標準名称(国語区分4)	標準名称(国語区分4)	業務ルール名

- ・ 更新日時
業務ルールの更新日時を「YY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で出力します。
- ・ ルール種別
「専用」もしくは「共用」を出力します。
- ・ 適用項目
適用項目を出力します。 REPOSITORY-BROWSER の表示形式の設定に従います。

REPOSITORY-BROWSERの表示形式	CSV形式の「適用項目」欄
データ項目名と業務ルール名	データ項目名
標準名称(日本語)	適用するデータ項目の標準名称(日本語)
標準名称(英語)	適用するデータ項目の標準名称(英語)
標準名称(国語区分3)	適用するデータ項目の標準名称(国語区分3)
標準名称(国語区分4)	適用するデータ項目の標準名称(国語区分4)

- ・ 適用条件
「入力」「出力」「-」のいずれかを出力します。
- ・ 辞書フォルダ
業務ルールが存在する辞書フォルダを作成します。1行目にのみ出力されます。
- ・ (次頁に続く)
EUR による印刷時に、改頁処理に使用しているフィールドです。

A.10 業務ルール仕様書

1	業務ルール名 ³		ルールスクリプト ¹					(次頁に続く)
2	辞書フォルダ		:	項番1	適用データ項目1 ²	キーワード1	適用条件1	
3	業務ルール種別		:	項番2	適用データ項目2 ²	キーワード2	適用条件2	
4	国語別 ²		:	項番3	適用データ項目3 ²	キーワード3	適用条件3	
5	標準名称 ²		:	:	:	:	:	
6	フリガナ ²		:	:	:	:	:	
7	コメント ²		:	:	:	:	:	
8	コメント ²		:	:	:	:	:	
9	コメント ²		:	:	:	:	:	
10	コメント ²		:	:	:	:	:	
11	コメント ²		:	:	:	:	:	
12			:	:	:	:	:	
13	フィールド1 名称	フィールド1	:	:	:	:	:	
14	フィールド2 名称	フィールド2	:	:	:	:	:	
15	フィールド3 名称	フィールド3	:	:	:	:	:	
16	記述言語 ¹¹³		:	項番16	適用データ項目16 ²	キーワード16	適用条件16	
17			:	項番17	適用データ項目17 ²	キーワード17	適用条件17	
18			:	項番18	適用データ項目18 ²	キーワード18	適用条件18	
	:	:	:	:	:	:	:	
24			:	項番24	適用データ項目24 ²	キーワード24	適用条件24	

- ・ルールスクリプト

ルールスクリプト中の改行までの文字列を、それぞれの行に出力します。

定義されているルールスクリプトを全てを出力します。

ルールスクリプト中のタブコードは、8文字単位に伸長されます。

- ・コメント

改行までの文字列をそれぞれの行に出力します。

コメント中のタブコードは、8文字単位に伸長されます。

6行目以降は出力されません。

- ・項番

適用データ項目数を示す1からの連番です。

- ・適用データ項目、キーワード、適用条件

適用するデータ項目を出力します。REPOSITORY- BROWSER の表示形式の設定に依存します。

- ・(次頁に続く)

EURによる印刷時に、改頁処理に使用しているフィールドです。

(*1) REPORT MANAGER の印刷設定画面で指定した言語別に従い出力されます。

(*2) REPOSITORY-BROWSER の表示形式の設定に依存します。「業務ルール名」が設定されている場合、「標準名称」欄には「標準名称(日本語)」が出力されます。

(*3) 25行目, 65行目, 105行目, (以降40行毎)に同一内容が出力されます。

A.11 ドキュメント一覧表

項番	ドキュメント名	バージョン名	ドキュメント種別	所有者	更新日時	コメント
----	---------	--------	----------	-----	------	------

(下段に続く)

ドキュメントフォルダ名

(次頁に続く)

- ・ 項番
ドキュメント／ドキュメントフォルダ数を示す 1 からの連番です。
- ・ ドキュメント名, バージョン名, ドキュメント種別, 所有者, コメント
ドキュメント／ドキュメントフォルダのそれぞれの属性を出力します。
- ・ 更新日時
ドキュメント／ドキュメントフォルダの更新日時を「YY/MM/DD hh:mm:ss」の形式で出力します。
- ・ ドキュメントフォルダ名
一覧表に出力されたドキュメント／ドキュメントフォルダが存在する場所を示します。一行目のみ出力されます。
- ・ (次頁に続く)
EUR による印刷時に、改頁処理に使用しているフィールドです。
- ・ 「ドキュメント名」欄の表示方法
「●+半角スペース+ドキュメント名」または「■+半角スペース+ドキュメントフォルダ名」の形式で出力します。
階層 1～階層 10 までは「|」「├」「└」を使用して階層を表示します。
階層 11 以降は「(親ドキュメントフォルダの項番) + - +●or■+名前」で表示します。

出力例:

項番	名前
1	フォルダ1
2	フォルダ2
3	フォルダ3
4	フォルダ4
5	フォルダ5
6	フォルダ6
7	フォルダ7
8	フォルダ8
9	フォルダ9
10	フォルダ10
11	(10) - ドキュメント
:	:

A.12 インパクトレポート

(1) ユーザ定義データ

作成者	印刷日付	ヘッダ	フッタ	インパクト起点オブジェクト	インパクト起点詳細情報
-----	------	-----	-----	---------------	-------------

(下段に続く)

インパクト起点種別	更新日付	表示方向	表示関連種別	オブジェクト種別
-----------	------	------	--------	----------

(2) マッピングデータ

	項番	方向	階層表示	影響対象名称	種別	影響対象詳細情報
1	項番 1	方向 1	階層表示 1	影響対象名称 1	種別 1	影響対象詳細情報 1
2	項番 2	方向 2	階層表示 2	影響対象名称 2	種別 2	影響対象詳細情報 2
3	項番 3	方向 3	階層表示 3	影響対象名称 3	種別 3	影響対象詳細情報 3
4	項番 4	方向 4	階層表示 4	影響対象名称 4	種別 4	影響対象詳細情報 4
	:	:	:	:	:	:
28	項番 28	方向 28	階層表示 28	影響対象名称 28	種別 28	影響対象詳細情報 28

(下段に続く)

	関連種別	その他
1	関連種別 1	“(次頁に続く)”
2	関連種別 2	
3	関連種別 3	
4	関連種別 4	
	:	
28	関連種別 28	

・ 1 ページの最大出力行数は 28 行です。

・ 「階層表示」欄の表示方法

数字が階層を示します。

階層 1～階層 9 までは「|」「┆」「┌」を使用して階層を表示します。

階層 10～階層 20 までは「(親オブジェクトの項番)+数字」で表示します。

階層 21 以降は「*」を出力します。

出力例:

項番	階層表示
1	
2	
3	
4	
5	
6	
7	
8	
9	
10	
11	(10)
:	:
21	(20)
22	(21) *
:	:

付録 B CSV ファイル出力時のファイル名称基準

REPORT MANAGER で CSV ファイルを出力する場合のファイル名称基準を以下に示します。

(1) プログラム処理概要図 / データ定義仕様書印刷 / レコード定義仕様書印刷の CSV 名称基準

CSV ファイルの名称基準は以下のようになります。

$$\left. \begin{array}{l} \langle \text{プログラム定義ファイル名} \rangle \\ \text{又は} \langle \text{データ定義ファイル名} \rangle \\ \text{又は} \langle \text{レコード定義ファイル名} \rangle \\ \text{(拡張子除く)} \end{array} \right\} + \langle \text{接尾語} \rangle + ".csv"$$

各仕様書毎の接尾語の内容は以下の通りです。

項番	仕様書名	接尾語
1	プログラム処理概要図(見出し：共通)	_COM
2	プログラム処理概要図(表紙：明細)	_P1
3	プログラム処理概要図(XML：明細)	_XML
4	プログラム処理概要図(インターフェース定義：明細)	_IF
5	プログラム処理概要図(部品定義：明細)	_PRTS
6	プログラム処理概要図(ユーザ処理編成：明細)	_USR
7	プログラム処理概要図(チェック／編集条件表：明細)	_CHK
8	プログラム処理概要図(メモ：明細)	_MEM
9	プログラム処理概要図(別紙：明細)	_OTR
10	データ定義仕様書(見出し)	_DCOM
11	データ定義仕様書(明細)	_DMAP
12	レコード定義仕様書(見出し)	_RCOM
13	レコード定義仕様書(明細)	_RMAP

(例1) プログラム定義ファイル test1.csp の場合

- ・見出し test1_COM.csv
- ・表紙 test1_P1.csv
- ・XML 定義 test1_XML.csv
- ・インターフェース定義 test1_IF.csv
- ・部品定義 test1_PRTS.csv
- ・ユーザ処理編成 test1_USR.csv
- ・チェック／編集条件表 test1_CHK.csv
- ・メモ test1_MEM.csv
- ・別紙 test1_OTR.csv

(例2) データ定義ファイル test2.csd の場合

- ・データ定義仕様書(見出し) test2_DCOM.csv
- ・データ定義仕様書 test2_DMAP.csv

(例3) レコード定義ファイル test3.csc の場合

- ・データ定義仕様書(見出し) test3_RCOM.csv
- ・データ定義仕様書 test3_RMAP.csv

(2) リポジトリ情報印刷の CSV ファイル名称基準

ファイル名称基準は以下のようになります。

〈印刷対象オブジェクト〉 + 〈接尾語〉[+ 〈連番〉][+ "com" 又は 〈4桁連番〉] + ".csv"

各仕様書毎の接尾語の内容は以下の通りです。

項番	仕様書名	接尾語	ファイルの出力単位
1	ドキュメント一覧表	doctbl	仕様書単位
2	データ項目一覧表	itemtbl	仕様書単位
3	データ項目仕様書	item	データ項目単位
4	業務ルール一覧表	ruletbl	仕様書単位
5	業務ルール仕様書	rule	業務ルール単位
6	結合項目構成一覧表	comp	データ項目単位
7	インパクトレポート	impact	データ項目単位

リポジトリ情報印刷で CSV ファイルを出力する場合は、印刷対象となる REPOSITORY-BROWSER のオブジェクトの種類に応じて見出しファイルと明細ファイルの名称が変わります。

項番	仕様書名	印刷対象の種類	CSV ファイルの出力内容 H: 見出し/B: 明細
1	ドキュメント一覧表	ドキュメント	H: doctbl1_com.csv B: doctbl1.csv
2		ドキュメントフォルダ	H: doctbl1_com.csv, doctbl2_com.csv, ... B: doctbl1.csv, doctbl2.csv, ...
3	データ項目一覧表	データ項目	H: itemtbl1_com.csv B: itemtbl1.csv
4		辞書フォルダ	H: itemtbl1_com.csv B: itemtbl1.csv, itemtbl2.csv, ...
5	データ項目仕様書	データ項目	H: item_com.csv B: item1_0001.csv, item1_0002.csv, ...
6		辞書フォルダ	H: item_com.csv B: item1_0001.csv, item1_0002.csv, ... item2_0001.csv, item2_0002.csv,

(次頁へ続く)

(続き)

7	業務ルール一覧表	業務ルール	H: ruletbl1_com.csv B: ruletbl1.csv
8		辞書フォルダ	H: ruletbl1_com.csv, ruletbl2_com.csv, ... B: ruletbl1.csv, ruletbl2.csv, ...
9	業務ルール仕様書	業務ルール	H: rule_com.csv B: rule1_0001.csv, rule1_0002.csv, ...
10		辞書フォルダ	H: rule_com.csv B: rule1_0001.csv, rule1_0002.csv, ... rule2_0001.csv, rule2_0002.csv,
11	結合項目構成一覧表	データ項目	H: comp1_com.csv B: comp1_0001.csv, comp1_0002.csv, ...
12		辞書フォルダ	H: comp1_com.csv, comp2_com.csv, ... B: comp1_0001.csv, comp1_0002.csv, ... comp2_0001.csv, comp2_0002.csv, ...
13	インパクトレポート	データ項目	H: impact_com.csv B: impact.csv

(3) コード表情報ファイルの CSV ファイル名称基準

ファイル名称基準は以下のようになります。

〈コード表情報ファイル名(拡張子除く)〉 + “.csv”

(4) 論理設計図ファイルの CSV ファイル名称基準

ファイル名称基準は以下のようになります。

(a) オブジェクト定義情報

〈論理設計図ファイル名(拡張子除く)〉 + “_0B” + “.csv”

(b) オペレーション詳細情報

〈論理設計図ファイル名(拡張子除く)〉 + “_0P” + “.csv”

付録C コマンドライン起動パラメータ一覧

以下のパラメータをコマンドラインに指定することで、印刷時の設定内容などをプログラム起動時に指定することができます。

項番	スイッチ	スイッチの意味	デフォルト値
1	/W	設定画面を表示する(A)／非表示にする(N)	/W A
2	/S	サブシステム名(文字列指定)	(指定なし)
3	/I	用紙サイズ(A 4横(A4)/B 4横(B4)/A 3横(A3))	/I A4
4	/N	印刷部数(1~99の数値)	/N 1
5	/H	ヘッダ(文字列指定)	(指定なし)
6	/F	フッタ(文字列指定)	(指定なし)
7	/P	標準印刷(S)／非標準印刷(E)	/P S
8	/T	EURで印刷(E)／Excelで印刷(X)	/T E
9	/L	印刷対象ファイル。「 」で区切ったファイルのフルパスを指定する。	(指定なし)
10	/M	国語別情報(文字列指定)。リポジトリに指定した国語別が存在しなければエラー。	/M "日本語"
11	/K1	プログラム処理概要図のユーザ処理編成(追加コーディングなし)を印刷する(A)／印刷しない(N)	/K1 A
12	/K2	プログラム処理概要図のユーザ処理編成(追加コーディングなし)を印刷する(A)／印刷しない(N)	(指定なし)
13	/K3	プログラム処理概要図のチェック／編集条件表を印刷する(A)／印刷しない(N)	/K3 A
14	/K4	プログラム処理概要図のメモを印刷する(A)／印刷しない(N)	/K4 A
15	/K5	プログラム処理概要図の部品定義情報を印刷する(A)／印刷しない(N)	/K5 A
16	/K6	プログラム処理概要図のインターフェース定義情報を印刷する(A)／印刷しない(N)	/K6 A
17	/K7	プログラム処理概要図のXML情報を印刷する(A)／印刷しない(N)	/K7 A
18	/G	データ定義仕様書の言語区分(文字列指定)。リポジトリに指定した言語区分が存在しなければエラー。	/G "COBOL 又は OOCOBOL"
19	/C	CSVファイル格納先(文字列指定)。指定したパスが存在しなければエラー。	(指定なし)

付録D EUR ファイル名称

REPORT MANAGER が使用する EUR ファイルは以下の通りです。

項番	仕様書名	ファイル名
1	プログラム処理概要図(表紙)	pds1_XX. agr
2	〃 (別紙)	pds4_XX. agr
3	〃 (XML)	pds8_XX. agr
4	〃 (インターフェース)	pds7_XX. agr
5	〃 (部品)	pds6_XX. agr
6	〃 (ユーザ処理)	pds2_XX. agr
7	〃 (チェック/編集条件表)	pds5_XX. agr
8	〃 (メモ)	pds3_XX. agr
9	〃 非標準(表紙)	pds1n_XX. agr
10	〃 非標準(別紙)	pds4n_XX. agr
11	データ定義仕様書	dds_XX. agr
12	レコード定義仕様書	rds_XX. agr
13	ドキュメント一覧表	doctbl_XX. agr
14	データ項目一覧表	itemtbl_XX. agr
15	データ項目仕様書(1ページ目)	item1_XX. agr
16	データ項目仕様書(2ページ以降)	item2_XX. agr
17	業務ルール一覧表	ruletbl_XX. agr
18	業務ルール仕様書(1ページ目)	rule1_XX. agr
19	業務ルール仕様書(2ページ以降)	rule2_XX. agr
20	インパクトレポート	imp_XX. agr
21	結合項目構成一覧表	comp_XX. agr

ここで、ファイル名の末尾の XX には、用紙サイズを識別する区分(A3/B4/A4)が付与されます。

例 : item_a3. agr

付録 E エラーログファイル

REPORT MANAGER では、印刷処理実行時に DLL (Dynamic LinkLibrary) にて障害が発生した場合、エラーログファイルを出力します。

(1) ファイル名称

エラーログファイルのファイル名称は以下の通りです。

"error.log"

(2) ファイル格納先

エラーログファイルは以下の場所に格納しています。

REPORT MANAGER のインストールフォルダ

エラーログファイルの格納先は、デフォルトでは次のように設定されています。

システムドライブ:¥Program Files¥Hitachi¥Sewb+ Report Manager

(3) ログ形式

エラーログの形式は以下の通りです。

YYYY/MM/DD, HH:MM:SS, DLL=aaa, DLLERR=bbb, DLLMSG=ccc, APIERR=ddd, APIMSG=eee, OBJ=fff

aaa : DLL ファイル名

bbb : DLL のエラーID

ccc : DLL のエラーメッセージ

ddd : リポジトリ API 関数のエラーID*1

eee : リポジトリ API 関数のエラーメッセージ*1

fff : 資源名称*2

(*1) リポジトリ API 関数の使用時に、障害が発生した場合に出力します。

(*2) 内部処理で資源名称を取得済みの場合に出力します。

索引

C	
CSV 出力形式	148
CSV 名称基準	170
E	
EUR ファイル名称	175
あ	
インパクトレポート	117
CSV 出力形式	169
印刷実行	120
印刷設定	119
印刷内容	17
印刷方式	121
印刷例	124
関連「ブラウザ」との対応	123
起動	119
操作手順	118
特長	17
出力内容	121
エラーログファイル	176
か	
概要	1
関連の絞り込み	119
関連ブラウザ	118
起点オブジェクト	119
業務ルール一覧表	139
CSV 出力形式	166
印刷内容	22
印刷例	145
出力内容	139
特長	22
業務ルール仕様書	141
CSV 出力形式	167
印刷内容	23
印刷例	146
出力内容	141
特長	23
結合項目構成一覧表	137
CSV 出力形式	165
印刷内容	20
印刷例	144
出力内容	137
特長	20
コード表	95
CSV 出力形式	160
CSV 名称基準	173
印刷設定	97
印刷内容	14
印刷方式	99
印刷例	102
可変キー形式印刷	101
可変キー形式印刷例	104
起動	97
固定キー形式印刷	100
固定キー形式印刷例	103
操作手順	96
特長	14
ファイル選択	98
コマンド起動パラメタ	174
た	
データ項目一覧表	133
CSV 出力形式	163
印刷内容	18
印刷例	143
出力内容	133

索引

特長	18	Excelによる標準印刷	50
データ項目仕様書	135	印刷実行	32
CSV 出力形式	164	印刷設定	27
印刷内容	19	印刷内容	5
印刷例	144	印刷プレビュー	30
出力内容	135	印刷方式	35
特長	19	印刷例	54
データ定義仕様書	77	エラーダイアログ確認	33
CSV 出力形式	158	環境設定	34
CSV 名称基準	170	起動	27
印刷設定	79	情報取得	31
印刷内容	12	操作手順	26
印刷方式	81	特長	5
印刷例	84	ファイル選択	29
起動	79		
出力内容	81	ら	
操作手順	78	リポジトリ登録情報	127
特長	12	CSV 名称基準	171
ファイル選択	80	印刷設定	131
ドキュメント一覧表	142	印刷方式	133
CSV 出力形式	168	印刷例	143
印刷内容	24	起動	130
印刷例	146	操作手順	128
出力内容	142	レコード定義仕様書	87
特長	24	CSV 出力形式	159
		CSV 名称基準	170
は		印刷設定	89
プログラム処理概要図	25	印刷内容	13
BATCH-FRAMEWORK との対応	46	印刷方式	91
CONSTRUCTION , REPOSITORY との対応	44	印刷例	93
CSV 出力	33	起動	89
CSV 出力形式	148	出力内容	91
CSV 名称基準	170	操作手順	88
EURによる印刷	35	特長	13
EURによる非標準印刷	48	ファイル選択	90
EURによる標準印刷	35	レコードレイアウト	138
Excelによる印刷	50	印刷内容	21
Excelによる非標準印刷	53	印刷例	145

出力内容	138
特長	21
論理設計図	105
CSV 出力形式	161
CSV 名称基準	173
印刷設定	107
印刷内容	15
印刷方式	110
印刷例	113
オブジェクト定義情報印刷	110
オブジェクト定義情報印刷例	114
オペレーション詳細情報	112
オペレーション詳細情報	114
起動	107
操作手順	106
特長	15
ファイル選択	108
論理設計図情報の印刷設定	108